63-72
1200600227748
63
72

昭和四年五月開催

耕地主任官會議要錄

農林省農務局

始

63
72x.

國立國會
55. 9. -4
圖書館藏書

80W39659

耕地主任官會議要錄

目次

一 農林大臣訓示……一
一 農務局長指示……三
一 耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル注意ノ件……一〇
一 出席者……一八
一 諮問事項及協議事項……二一
一 議事經過……二三
一 諮問事項答申……二五
北海道……三一
青森縣……三三
岩手縣……三五
宮城縣……三六
秋田縣……三八
山形縣……四一
福島縣……四七
茨城縣……五〇
栃木縣……五六
群馬縣……五八
埼玉縣……六一
千葉縣……七〇
東京府……七三
神奈川縣……七四
新潟縣……七六
富山縣……七八
石川縣……八三
福井縣……八四
山梨縣……八七
長野縣……九〇
岐阜縣……九二
靜岡縣……九五
愛知縣……九八
三重縣……一〇〇

滋賀縣……一〇一
京都府……一〇三
大阪府……一〇四
兵庫縣……一〇六
奈良縣……一一〇
和歌山縣……一一三
鳥取縣……一一四
島根縣……一一八
岡山縣……一二〇
廣島縣……一二四
山口縣……一三一
德島縣……一三三
香川縣……一三四
愛媛縣……一三五
高知縣……一三六
福岡縣……一三九
佐賀縣……一四三
長崎縣……一四四
熊本縣……一四七
大分縣……一四九
宮崎縣……一五一
鹿兒島縣……一五五
沖繩縣……一五七

一 地方提出事項

第一 用排水主要工事國營ニ關スル件……一六五
第二 大規模開墾計畫ニ關スル件……一六六
第三 開墾助成ニ關スル件……一七〇
第四 土地利用計畫ニ關スル件……一七一
第五 開墾地移住及經營ニ關スル件……一七三
第六 用排水幹線改良事業ニ關スル件……一七四
第七 農業水利改良計畫ニ關スル件……一七七
第八 耕地整理ニ關スル件……一七八
第九 暗渠排水奬勵ニ關スル件……一八一
第十 事業資金ニ關スル件……一八一
第十一 農用機械ノ利用奬勵ニ關スル件……一八三
第十二 其ノ他ノ事項……一八四

耕地主任官會議要錄

農林大臣訓示

今回ハ各地方カラ態々御參集ノ上連日會議ヲセラレ詢ニ御苦勞ニ存シマス

昨年本會議ニ於テ耕地ノ擴張改良事業ハ人口食糧問題其ノ他ノ關係カラ重要ナ國策テアルカラ之ニ對シ相當徹底シタ國策ヲ立テタイト申シマシタカ夫々是カ計畫ヲ立テテ第五十六議會ニ提出シ幸ヒ其ノ協賛ヲ得タ次第テアリマス財務其ノ他ノ關係カラ固ヨリ十二分ノ事ハ出來マセンテシタカ然シ乍ラ夫々其ノ端緖ヲ開イテ置キマシタカラ年々之ニ肉ヲ添ヘテ行ケハ將來ハ相當徹底シタ施設ヲ爲シ得ル事トナルト思フノテアリマス

開墾助成法ノ改正ハ今回之ヲ企テマシタカ從來ノ如ク單ニ資本ニ對スル六分ノ利子ヲ補給スルノテハ形式上ノ助成テ實質上ノ效果カ少イカラ之ヲモウ少シ徹底シタイモノト思ヒ資本ノ一部ヲ補給スルコトニ改正シタ次第テアリマス

用排水主要工事國營ハ六箇年ニ百十五萬圓テアッテ豫算トシテハ少ナク本年ノ支出ハ僅カ十五萬圓ニ過キナイカ之モ同シク從來ハ大排水工事、大灌漑工事ヲ國家テ施行シタコトハナカッタノテアルカ今回之カ端緖ヲ開イタノテアッテ將來豫算ヲ增加シテ此ノ計畫ヲ更ニ大規模ニ行フコトト致シタイ此

ノ外新事業トシテハ暗渠排水事業ノ奬勵カ御座イマスカ之ハ事業ノ性質上數多クテモ箇々ノ事業トシテハ小ナルモノテアル只然シ乍ラ暗渠排水事業ハ我カ國ニ於テハ十分ニ一般的ニ其ノ價値ヲ認メテ居ナイ又從テ其ノ普及モシテ居ラナイ次第テアル然シ諸外國ニ於ケル數十年ノ經驗カラ見テモ非常ナ效果カアルカラ此ノ方面ニ國家ハ大ニ助長シテ見タイト思フ次第テ本年ハ二十數萬圓ニ過キナイカ今後其ノ緒ヲ擴大シテ行キタイト思フノテアリマス

是等ノ仕事ニ關シテハ其ノ計畫ヲ立テ其ノ緒ヲ開キ益々充實擴張シテモ其ノ效果カ擧カルカ否カハ實行上ノ問題テアッテ其ノ實行カ萬一巧ク行カヌトキハ事業ノ前途モ寔ニ心細イト言ハネハナラヌ實行上ニ於テ先ツ其ノ效果ヲ擧クルコトハ事業ヲ擴張シテ行ク上ニ於テ唯一ノ條件テアル故ニ諸君ニ對シテ特ニ御委囑致シタイコトハ是等ノ事業ヲ實際上ニ於テ效果ヲ擧ケラレタイコトテアル中央ニ於テハ大局ノ上カラ指導監督スルニ過キヌカラ實際上ノコトニ當ラレル地方々々ノ努力如何ニ依テ是等ノ事業ノ效果カ擧カルカ擧カラナイカカ分カレルノテアル此ノ意味テ諸君ノ責任ハ極メテ重大テアル又其ノ效果カ擧カレハ其ノ働キ榮モアルノテアルカラ何卒細心ノ注意ヲ拂ハレタイノテアリマス

此ノ外本年本會議ニ提出セラレル諸問題ニ付テモ諸君ハ實際上ノ經驗カラ判斷シテ忌憚ナキ意見ヲ述ヘラレタイノテアリマス終リニ當リテ重ネテ遠方カラ御參集ニナラレタ諸君ノ御苦勞ヲ謝スル次第テアリマス

農務局長指示

茲ニ地方耕地主任官會議ノ開催ニ當リ耕地ノ擴張改良事業ニ對スル本省ノ方針竝要望ニ付テハ大臣ヨリノ訓示アル筈ナルモ予ハ聊カ細目ニ亘リテ諸君ノ留意ヲ希望セムトス

一、用排水主要工事國營ニ關スル件

大規模ノ團地ニ對スル開墾事業ハ從來各種ノ方策ヲ以テスルモ實施困難ナル爲開墾ニ必要トスル用排水主要工事ヲ國營ニテ施行スルコトト成レリ

成立ノ豫算額ハ百十五萬圓ニシテ之ヲ六年度ニ別ケテ遂行スル豫定ナルヲ以テ固ヨリ各府縣多方面ノ滿足ヲ得ルコト困難ナリ然レトモ當初此ノ事業ノ衝ニ當ルモノハ協力一致シテ他日ノ大成ヲ期スル要アルハ勿論ナリ

固ヨリ根幹タルヘキ主要工事ハ國營ニテ行フモ殘餘ノ道水路網工事、開墾工事、本事業最終ノ要務タル水利竝農事ニ關スル管理經營ニ付テハ地方及民間ノ自發的努力ニ俟ツコト多大ナルヲ以テ當該府縣係官ハ特ニ此ノ點ニ留意シ十分中央トモ打合セノ上力ヲ之ニ致サレムコトヲ切望ス尙本省ニ於テ右主要工事國營ヲ開始スルニ至ル迄ニハ當該府縣ノ責務トシテ本省ト熟議ヲ遂クル事項多カルヘキヲ以テ此等ノ件ニ對シ本省ヨリ指示スルトキハ可成速ニ事務ノ進行ヲ圖ルニ努メラレ進テ事業區域自體ニ於テ耕地整理組合設立等開墾全般ノ實施上必要ナル處理ニ關シテハ特ニ地方廳ニ於テ十分ニナル指導ト監督トニ依リ圓滑ナル進展ヲ圖ラレムコトヲ望ム

二、開墾助成法ノ改正ニ關スル件

茲ニ改正法ノ内容ニ付聊カ説明スルトコロアラントス

（一）從前ハ利息補給ノ趣旨ナリシ爲助成期間ニ關スル規定ヲ置ク必要アリタルモ改正法ハ事業費元金ノ一部ヲ補給スルモノナルヲ以テ特ニ期間ニ關スル規定ノ必要ナク又助成金額モ相當改メラレタル次第ナルヲ以テ從テ法律第二條、同法施行規則第三條、第六條、第八條ヲ夫々改正セラレタリ即チ改正法ニ依レハ助成金ハ事業年度ヲ定メタルモノニアリテハ其ノ事業年度毎ニ其ノ他ノモノニアリテハ暦年毎ニ其ノ決算書ニ基キ事業ノ爲支出シタル金額ノ十分ノ四ヲ交付セラルルコトトナリタルナリ改正施行規則第七條ニ於テ事業費中ヨリ控除スヘキモノニ借入金ノ利息ヲ加ヘタルハ舊法ニ於テハ利息補給ノ趣旨ナリシヲ以テ特ニ之ヲ明カニスル必要ナカリシモ改正法ニ於テハ其ノ趣旨ヲ異ニスル爲特ニ注意ヲ促スノ要アルニ因ルモノナリ

（二）改正法施行前助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ明ニシ且此等ニ付テモ改正法施行後施行スル部分ノ事業ニ對シテハ改正法ニ依ル助成金ノ交付ヲ爲スコトヲ得セシメ以テ現ニ事業中途ニアル當業者ノ利便ヲ計ル爲附則第二項ヲ以テ之ヲ認ムルコトトナリタル次第ナリ

（三）施行規則第十一條中「助成金交付期間内ニ於テ」ヲ削リタルハ法律ノ改正ニ伴ヒ字句ノ整理ヲ爲シタルニ過キサルヲ以テ其ノ取扱方ニ付テハ從前ノ通トス

（四）改正法施行前助成金交付ノ指令ヲ受ケタルモノニシテ同法施行後ノ事業ニ付改正法ニ依ル助成金ヲ受ケムトスル者ハ本年十二月三十一日迄ニ申請書ヲ農林大臣ニ差出サシメ農林大臣ニ於テ適當ト認メタルトキハ指令書ヲ交付スルモノトシ之ニ對スル助成金ハ例之事業年度ヲ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マテト定メタル者ニ付テハ本四年八月三十一日迄ノ事業ニ對シテハ舊法ノ例ニ依ル助成金ヲ交付シ本年九月一日以後ノ事業ニ對シテハ改正法ニ依ル助成金ヲ交付スルコトトナシタリ改正施行規則第三項乃至第五項ノ規定ノ趣旨即チ之ナリ

次ニ法律改正ノ結果當業者ニ於テ受クル便益ヲ擧クレハ凡ソ左ノ如キモノアリ

（イ）事業資金ノ調達上ノ困難ヲ緩和シ事業經營ヲ容易ナラシムルコト

（ロ）毎年度ノ豫定事業ノ遂行ヲ確實ナラシメ所期ノ實績ヲ擧クルヲ得セシムルコト

（ハ）舊法ニ在リテハ工事期間ノ長短ニ依リ助成金額ニ相違ヲ生スル爲往々故ラニ長期ニ亘リ工事ヲ施行セムトスルノ傾向アリシモ改正法ニ於テハ工事期間ノ長短ハ助成金額ニ影響ナキヲ以テ其ノ弊ヲ除去シ得ヘク旁々事業ヲ促進セシムルヲ得ルコト

（ニ）舊法ニ在リテハ當初ニ於テ交付スル助成金少ナク且工事終了後四年ニ至ル長期間ニ亘リ助成金ヲ交付セラレタルモ新法ニ於テハ當初ヨリ支出事業費ノ四割ヲ交付シ且工事終了ノ翌年度ニ於テ交付ヲ了スルヲ以テ金利計算上有利ナルコト

（ホ）手續上ニ於テモ簡易トナリタルコト

右ノ如クナルヲ以テ各位ニ於テモ改正法ノ趣旨ヲ十分ニ普及セシメ以テ斯業ノ發達促進ヲ計ラレムコトヲ望ム

三、開墾助成特別取扱方ニ關スル件

改正前ノ開墾助成法ニ依リ助成金ノ交付ヲ受クル事業中已ムヲ得サル事由ニ依リ事業ノ遂行困難ニ陷リ一般取扱ノ例ニ依ル助成ヲ以テシテハ其ノ目的ヲ達成シ難シト認メラルルモノニ對シテハ本年三月十一日附農第三四七七〇號ヲ以テ特別取扱方ノ依命通牒ヲ發シタルカ右ニ關シテハ地方ニ於テモ相當特別補助ノ方法ヲ樹テラレ本省ト協力シテ目的ノ達成ニ努メラレムコトヲ望ム

四、開墾助成ノ指導監督ニ關スル件

開墾助成事業中往々成績良好ナラサルモノ其ノ他種々ノ問題ヲ惹起シタルモノ等少カラス此等ハ必シモ指導監督ノ不十分ナルニ基因スルモノトハ言フヲ得サルヘキモ從來ニ於ケル開墾助成ニ對スル地方ノ設備ハ未タ十分ナラサルノ感アリ政府ニ於テハ今回地方ニ開墾監督技師ヲ增置シ中央ニモ增員シ可及的之カ目的ノ達成ニ努メツツアル次第ナルヲ以テ地方ニ於テモ此ノ機會ニ於テ指導監督ノ機關ヲ整備シ萬遺漏ナキヲ期セラレタシ殊ニ開墾助成法律改正ノ結果ハ企業ノ勃興ヲ促進シ事業地區數ヲ增加スヘキヲ以テ益其ノ必要アリト認メラル

五、土地利用計畫ニ關スル件

土地利用計畫ヲ了シタル地區ハ三百十箇所ニシテ其ノ開發見込面積十四萬七千町歩ニ達ス之カ事業實施ノ機運ニ向ヒツツアルモノ近時次第ニ增加スルノ傾向ニアリト雖其ノ成績ハ未タ以テ滿足スル程度ニ至ラス此等工事未着手ノ原因中資金關係ニ依ルモノハ開墾助成法改正ノ結果從前ニ比シ事業ノ實施ヲ容易ナラシムルニ至リタルモノト認メラルルカ故ニ此等ニ對シテハ改正法ノ趣旨ヲ充分ニ徹底セシメ開發ノ促進ヲ圖ルノ外企業ノ障害トナルヘキ勞力及各種ノ權利關係等ノ諸問題ノ解決ニ付テモ一段ノ努力ヲ盡シ可成速ニ其ノ實施ヲ見ル樣留意セラレムコトヲ望ム

六、開墾地移住奬勵ニ關スル件

開墾地移住奬勵ハ開墾地ノ利用ヲ增進シ優良ナル新農村ノ創成ニ又農村人口分布狀態ヲ適切ナラシムル等ノ上ニ甚大ナル效果アルモノニシテ大正九年度以來移住者ノ家屋ニ對シ奬勵金ヲ交付シ昭和元年度ヨリハ移住家屋ノ外移住者ノ共同建造物ノ建築者ニ對シ奬勵金ヲ交付スル途ヲ拓キ而シテ昭和三年度迄ニ國庫補助金支出額百十四萬五千三百二十五圓補助家屋戶數六千六百三十二戶同共同建造物六十七棟ニ達シ其ノ效果顯著ニシテ之ニ對スル地方廳ノ要求モ逐年增加シ豫算ヲ超過スルノ狀況ナルヲ以テ昭和四年度ニ於テハ國庫豫算ヲ更ニ增額シテ四十七萬五千圓トナシ益本制度ノ充實ヲ圖リ尙進ンテハ之カ改正ヲ行ヒ移住者ノ土着安定ニ資セントスルノ方針ナルヲ以テ地方ニ於テモ一層之カ奬勵ニ努メラレムコトヲ望ム又移住奬勵上移住紹介手續及汽車、電車、汽船ノ運賃割引制度ノ利用方法ヲ周知セシメ本制度ノ實績ヲ擧ケラレムコトヲ望ム

七、用排水幹線改良事業ニ關スル件

（一）用排水幹線改良事業ニシテ地元負擔ニ屬スル事業費アル場合ニ於テ時ニ其ノ負擔步合ノ協定ニ時日ヲ費シ爲ニ工事着手著シク遲延スルモノアルハ遺憾トスルトコロナリ本件ハ各地方ノ要求ニ基キ其ノ緩急ヲ計リ年度初ニ於テ補助ノ決定ヲナスモノナルニ斯ノ如ク工事着手ノ遲延スルハ補助決定ノ趣旨ヲ沒却スルモノニシテ事業奬勵上遺憾トスルトコロナリ將來ハ事業企畫ノ際先以

テ地元負擔ニ關スル協定ヲ遂ケ豫定通工事ニ著手シ得ル樣注意セラレムコトヲ望ム

（二）用排水幹線改良工事ヲ請負ニ附シ施行スル場合ニ於テ請負者ノ技能及經驗ノ如何ハ工事ノ成果ニ影響スルコト至大ナルモノアリ萬一ニモ請負者カ斯種ノ工事ニ付技能及經驗ヲ缺クニ於テハ其ノ設計良好ナリト雖遂ニ失敗ノ虞ナキヲ保セサルヲ以テ請負者ノ選定ニ當リテハ特ニ十分ノ考慮ヲ拂ハレムコトヲ望ム

八、耕地整理ニ關スル件

市街地附近ノ耕地整理ニ關スル取扱方ニ付テハ從來機會アル毎ニ屢々注意ヲ促シタル所ナルモ尚耕地整理本來ノ目的ニ副ハス往々市街地ノ區劃整理ニ類スル事業ヲ行フモノアルハ甚遺憾トスル所ナリ之カ爲或ハ耕作者ノ作離レ問題ヨリ率テ小作爭議ヲ惹起セシメ或ハ整理後ノ土地ノ投機的價格ヲ利用シテ之カ宅地トシテ分讓スルモノ等ヲ生セシメ農業上ノ利用增進ニ反スル事實少カラス此等ハ事業者ノ故意又ハ不案內ニ基ク行爲ト認メラルルモ亦一面指導監督上一層ノ注意ヲ要スルモノアルヘシ玆ニ於テ各位ニ於テモ十分此ノ點ニ留意セラレ例之都市計畫區域內其ノ他市街附近ノ耕地整理ニ關シテハ其ノ認可申請ニ當リ嚴重ナル審査ヲ爲スハ勿論耕地整理及土地改良奬勵費規則ニ依ル國庫補助申請、開墾助成出願ノ進達ハ可及的之ヲ避ケラレ又府縣ニ於ケル施設ニ付テモ右ニ準セシメラルル等適當ナル方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

九、暗渠排水奬勵ニ關スル件

暗渠排水事業ニ對スル補助ハ本年度ノ新事業ニシテ本會議ニ省議決定ノ結果ヲ可成詳細ニ指示スル豫定ナリシモ未タ其ノ運ニ到リ難キハ遺憾トスルトコロナリ省議決定ノ上ハ詳細通牒スヘキモ玆ニハ止ムヲ得ス大綱ヲ說明スルニ止メントス

全國ニ於ケル暗渠排水事業ヲ施行スヘキ見込地ハ約三十五萬町步ニシテ從來ノ實績ニ照ラシ效果ノ極メテ顯著ナルヲ認ムルモ之ヲ實行スルニハ多額ノ事業費ヲ要スルヲ以テ進行遲々タル狀況ニ在リ仍テ今回新ニ豫算ヲ計上シテ工事費ニ對シ三割ノ補助ヲ行フコトトシ本年度ニ於テ豫算二十二萬五千六百圓ヲ計上セリ而シテ道府縣ノ本工事ニ對スル補助金決算額ニ對シ之ヲ道府縣ニ交付スルコトトシ其ノ支拂ヲ地方長官ニ委任スルノ取扱トナスコトヲ得ヘキ見込ニシテ道府縣ノ補助ナシト雖國庫補助ヲ爲スコトアルヘキ見込ナルモ道府縣ニ於テモ可成國庫補助金ノミナラス道府縣負擔ノ經費ヲ計上シテ國庫ト相俟テ事業奬勵ニ努メラレ一層良好ノ結果ヲ期待セラレムコトヲ望ム

十、耕地整理事業資金ニ關スル件

耕地整理事業資金トシテハ大藏省預金部ヨリ融通セラルル低利資金ハ最近ニ於テハ相當多額ニ供給セラレ且昨年度ヨリ預金部資金貸付規程改正セラレ三十箇年以內ノ償還期限ヲ必要トスルモノニアリテハ從來ニ比シ簡略ナル手續ニ依ルコトヲ得ルニ至リ其ノ他遞信省簡易生命保險積立金ノ運用竝ニ耕地債券ノ發行及生命保險會社ノ資金ヲ耕地整理事業ニ融通スルヲ得ル等ニ依リ相當金融緩和セラレタリト雖未タ之ヲ以テ十分ナリトスルヲ得サルヲ以テ今後猶相當ノ方策ヲ講シ資金ノ供給ヲ一層利便ナラシムル方法ニ付猶夫々考究中ナリ地方ニ於テモ資金融通ニ付テハ適當ニ指導セラレ其ノ圓滑ヲ期セラルルハ勿論資金ノ使用竝其ノ償還ニ就テハ今後一層ノ注意ヲ要スルモノト認メラルル

ニ付此ノ點ニ付テモ十分注意セラレムコトヲ望ム

十一、農用機械ノ利用奬勵ニ關スル件

昭和二年度ヨリ開所セル埼玉縣北足立郡横曾根村所在ノ農用機械管理所ハ各種農用機械類ノ格納、修理、陳列等ヲ行フ所ニシテ過去二年間ノ成績ニ徴スルニ豫期ノ目的ニ協ヒツツアリ今後益本施設ヲ利用セラレムコトヲ望ム

十二、地下水利用及地質調査ニ關スル件

地下水ノ利用竝排除及貯水池、隧道、水道、水路等ノ新設ニ際シ計畫ノ當初ヨリ地質調査ヲ精確ナラシメテ工事ノ完成ヲ期セラレタキコト又工事終了ノ前後ニ於テ不測ノ支障ヲ生シタルモノニ付テハ特ニ調査研究ヲ重ネテ支障ノ原因及眞相ヲ闡明ナラシメ工事ノ實績ヲ擧クルニ資セラムコトヲ望ム

以上諸君ノ留意ヲ請フヘキ要項ヲ陳述セリ思フニ耕地ノ擴張改良事業タル今後益多端ニシテ中央地方一致協力シテ鋭意其ノ事ニ當ラサルヘカラサルハ勿論ナルヲ以テ本會議ニ於テハ相互腹蔵ナク意見ヲ開陳シ十分ナル攻究ヲ遂ケ以テ事業ノ奬勵ニ貢獻セラレムコトヲ望ム

耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル注意ノ件

一、大規模開墾計畫ニ關スル件

本省ニ於ケル大規模開墾計畫ハ昭和二年度計畫開始ノ初年ニ於テ既ニ地方ヨリ申請セラレタル地區數四十五箇所ニシテ右ノ地區中昭和三年度末ニ於テハ計畫完了ノモノ及計畫中ノモノヲ合シテ七地區ヲ數ヘ得ル狀況ニシテ計畫未着手ノモノ多キハ遺憾トスルトコロナリ本年度以降ニ於テハ更ニ右申請ノ地區中ニテ適當ナルモノヲ選ヒ之カ計畫ニ着手スヘキハ勿論ナルモ新ニ計畫ヲ開始スル地區ニ對シテモ出來得ヘクンハ地方廳ニ於テ之ニ配スルニ適當ノ技術員ヲ以テセラレ本省技術員ト相互聯絡ヲ採リ特ニ地方ニ於テハ開墾地域内ノ諸般計畫ニ關與セラレ速ニ當該地區開墾計畫ノ進捗ニ努メラレタキコト

二、開墾助成ニ關スル件

（一）開墾助成法改正ノ結果從前ニ比シ事業開始ノ當初ヨリ多額ノ助成金ヲ交付セラルルヲ以テ自然費用ノ徴收ヲ怠リ爲ニ工事終了後助成金ノ交付ナキニ至リタル場合却テ經營難ニ陷ルカ如キ結果ヲ生スルモノナキヲ保セス隨テ財務ノ計畫ニ關シテハ之ノ點ニ留意シ一層周到ナル指導監督ヲ行ヒ事業施行上遺漏ナキヲ期セラレタキコト

（二）開墾事業中大事業ノ地區ニハ可成專任ノ技術者ヲ置カシメ事業ノ完璧ヲ期セシメラレタキコト

（三）著シク多額ノ事業費ヲ要スルモノニハ助成セラレサルコトアルヘク或ハ事業費ニ付相當査定セラルル場合アルヘキヲ以テ斯ノ如キモノニシテ事業ノ遂行ヲ望ムモノアル場合ニハ豫メ打合セノ上計畫ヲ立テシメラレタキコト

（四）設計ハ一層其ノ調査ヲ周到ニシ事業實施ニ當リ其ノ費用ニ增額ヲ來タス等豫定計畫ニ齟齬ヲ

來ササル樣注意アリタキコト

（五）助成法改正ニ伴ヒ開墾助成取扱順序第十項工事期間標準表ハ削除セラルルコトナリタルモ之ニ代ルヘキ標準ノ制定セラレサル間ハ大體從前ノ標準表ニ依リ實情ニ適スル樣工事ノ期間ヲ定メラレタキコト

（六）實際上事業ノ停止又ハ廢止ヲ爲シ居ルニモ不拘其ノ手續ノ履行ヲ等閑ニ附シ居ルモノ少カラス右ハ事務整理上支障多キヲ以テ取調ノ上現ニ右狀況ニ在ルモノニ付テハ此ノ際速ニ手續履行セシメ尙今後停止廢止ヲ爲スモノアルトキハ手續勵行方注意アリタキコト

（七）設計書ノ記載方簡ニ失シ調査上支障少カラサル場合アリ例ヘハ同高線ノ記入漏又ハ粗略ナルモノ（地盤切均ノ程度ヲ知ルヲ得ス）構造圖ノ省略（明細書等ニ依リ十分ナラサルモノニ付テハ必ス添付ノコト）設計書變更ノ場合ニ於ケル明細書ノ步掛變更ノ說明等十分ナラサルモノノ如キ一小部分ニ關スルモノナルモ之カ爲照會往復ヲ要シ事務ノ進行ヲ阻害スルコト多キヲ以テ注意アリタキコト

尙設計書中訂正加除ヲ爲シタル部分ニハ出願者ニ於テ捺印ヲ爲サシメラレタキコト

又設計書ニハ總テ見易キ箇所ニ設計者ノ職氏名ヲ附記セシメラレタキコト

三、土地利用計畫ニ關スル件

前年度ニ於テハ地方ノ要望ニ依リ土地利用計畫中主要工事ニ對シテハ實施計畫ヲ樹テ其ノ成績相當見ル可キモノアリ將來ニ於テモ實施計畫ヲ熟望スルモノニ付テハ出來得ル限リ其ノ要求ニ應シ事業ノ實現ヲ一層速ナラシムル方針ナルヲ以テ右ノ如キ地區ニ於テハ地方廳ニ於テモ同時ニ地區內ノ實施設計ヲ樹ツル等速ニ事業ノ施行ヲナシ得ル樣十分努力セラレタキコト

四、開墾地移住奬勵ニ關スル件

（一）開墾地ノ移住ニ關スル事業ハ成可開墾事業トシテ當初計畫ニ樹テ之ヲ經營シ移住家屋及共同建造物ノ建築又ハ移住民ノ保護奬勵等ニ遺憾ナキ樣相當々業者ヲ指導セラレタキコト

（二）開墾地移住奬勵手續ハ之ヲ相當改正ヲ加フル豫定ナルヲ以テ各府縣ニ於テモ之ニ準據シテ相當改正サレタキコト

五、開墾移住地ノ飲料水供給設備ニ關スル件

開墾移住地ノ飲料水供給設備ハ可成共同建造物ノ形式ニ依リ簡易上水道ノ設計ヲ了スル樣務メラレタキコト

六、用排水幹線改良事業ニ關スル件

（一）用排水幹線改良事業國庫補助ノ打合セニ付テハ大正十四年十二月二十三日附農第一九四二二號通牒第一項ニ依リ事業計畫書及事業費年度割見込調書ヲ添ヘ事業開始ノ前年度八月末日迄ニ提出可相成筈ノ處往々同期日ニ至ルモ提出セサル向アリ取扱上支障不尠ヲ以テ爾今必ス同期日迄ニ書類ヲ提出セラレタキコト

（二）用排水幹線改良事業ニシテ補助見込ノ內牒ニ接シタルモノハ前項通牒第二項ニ依リ速ニ正規ノ補助申請書ヲ提出セラルヘキ筈ノ處往々年度切迫スルニ至ラサレハ之ヲ提出セラレサル向アリ

支障不尠ヲ以テ爾今速ニ申請セラルヘキコト

(三)　用排水幹線改良事業國庫補助打合書類提出ニ際シテハ爾今必ス右打合セ事業ニ對スル事業費豫算ヲ縣會ニテ可決シタルコト又ハ參事會ニ委任シタルコト若ハ事業促進ニ關スル建議案ヲ可決シタルコト等ノ事項ヲ明瞭ニ附記セラレタキコト

(四)　本省ニ於テ用排水幹線改良事業ノ決定ヲ爲スニ當リテハ各年度豫算ニ殘餘ヲ生スルコトナキ様按配ヲ爲シ各事業ニ對シ年度割補助金ヲ割當ツルモノナルヲ以テ各府縣ニ於テ事業年度ヲ繰上ケ工事ヲ施行シ後年度ニ於テ指令ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ要求スルハ支障ナキモ之ニ反シ補助決定ヲ爲シタル年度割豫算ヲ繰下クルカ如キ場合ハ或ル年ハ國庫ノ年度割豫算ニ殘額ヲ生シ或ル年ハ不足スルコトトナリ豫定ノ通補助指令ヲ爲スコト能ハサル結果トナリ豫算經理上支障不尠ヲ以テ縣會又ハ縣參事會ニ於テ事業費年度割豫算ヲ決定スルニ當リテハ内牒濟ノ補助金年度割豫算額ト對應シテ適當ナル豫算ヲ決定スル様注意セラレタキコト

(五)　用排水幹線改良事業中補助ニ該當セサル部分アル場合ハ之ヲ計畫書ニ明記シ且事業費モ補助、非補助ニ區別セラレタキコト

(六)　大正十四年以降ノ主任官會議ニ於ケル注意事項中尚之カ勵行セラレサル向アリ爲ニ補助申請又ハ補助金請求ニ當リ再三照會往復ヲ重ヌルコトトナリ事務處理上支障不尠ハ甚タ遺憾ノ次第ニ付速ニ之カ實行ニ努メラルル様注意セラレタキコト

七、低利資金ニ關スル件

(一)　開墾事業ニ供給スル低利資金ハ事業費ノ負擔ヲ重ク財務計畫上之カ償還ニ長年賦ヲ要スルモノニ對シ可成多額ニ之ヲ供給シ殘餘アリタル場合ニ於テ其ノ他ノモノニ配當スル等資金利用上十分留意セラレタキコト

(二)　低利資金ノ償還年限ニ付テハ地區ノ實狀ニ鑑ミ當初ニ於テ適當ナル期間ヲ定ムルコトニ留意シ中途償還困難ノ爲其ノ償還年限延長ノ必要ヲ生スル如キ事ナキ様十分指導セラレタキコト

八、農業水利改良事業ニ關スル件

本省農業水利改良計畫ニ對スル府縣ノ希望ハ年々其ノ數ヲ增シ本年ノ如キモ地區數四八面積九六、一九〇町ヲ算シ現在ノ設備ヲ以テシテハ僅ニ希望ノ四分ノ一ニ應シ得ルニ過キス從テ最モ事業ノ有利ニシテ實行ノ見込確實ナルモノニ付着手スヘキニ付之カ希望申出ニ際シテハ豫メ地區ノ現狀ニ付調査セラレ事業計畫有利ニシテ實行ノ見込確實トナルモノニ付申出ラレ度尚同時ニ二地區以上ヲ希望セラルル場合ハ前記ノ主旨ニ依リ順位ヲ定メテ申出テラレタキコト尚排水幹線ノ改良工事ニシテ準用河川ノ改修ヲ要シ又ハ内務省ニ於ケル改修河川ノ支派川ト認ムヘキモノノ改良計畫ニ付テハ之カ實施ニ關スル意見ヲ附シ申出テラレタキコト

九、農用機械ノ利用奬勵ニ關スル件

(一)　農用機械管理所ハ一昨年ノ開所ニシテ既ニ二箇年ヲ經過セリ其ノ間地方廳ノ依賴ニ依リ牽曳機ノ操縦者ノ養成ヲナシタルモノ二十二名アリ其ノ内四人ハ既ニ牽曳機操縦ノ經驗アリシヲ以テ七日間ノ指導ヲ爲シ他ノ十八人ハ何等豫備智識ナカリシヲ以テ二十五日間在所セシメ實地ト理論

トノ指導ヲ爲シタリ特ニ溜池ノ築堤ニ從事スルモノハ一箇所ニ三、四年ヲ費シ一日中僅ニ二、三時間ノ作業ナルヲ以テ組合員中ノ子弟ノ才幹アリ且溫厚ナル者ヲ選ヒ教養セリ孰レモ歸縣後ノ成績良好ニシテ企業者ノ滿足スル所トナレリ本省ハ努メテ此ノ種ノ養成希望ニ應スヘキヲ以テ今後申出ラレタキコト

操縱者派遣養成ヲナセル府縣竝員數ヲ示セハ左ノ如シ

昭和二年度

岡山一人、宮崎一人、山形一人、茨城二人、愛媛一人、岩手三人、計九人

昭和三年度

奈良一人、京都二人、山形二人、兵庫三人、鹿兒島一人、宮崎一人、東京一人、計十一人

（二）牽曳機ノ購入ハ大正八年ニ始マリ昭和三年現在ニテ大型三十六臺ニ達ス其ノ中修理ノ爲昭和二年度ニハ六臺同三年度ニハ八臺ヲ引上タリ緊急ノ場合ニハ在庫中ノ同馬力ノモノヲ送付シテ作業ノ進行ヲ妨ケサルニ注意シ其ノ他ハ可成速ニ修理シテ再貸與ヲ爲セリ何レモ送還地ニ於テハ完全ニ作業ニ從事シツツアリ管理所ノ設備ハ此ノ種ノ要求ニ應シ得ルヲ以テ貸與機中ノ破損ノ甚シキモノアラハ此ノ途ニ出テラレタキコト

（三）管理所ニ於テ拔根機ノ大破シ殆ト其ノ用ヲ爲サザルモノニ對シ修理ヲ施セルモノ昭和二年度ニ於テK型人力拔根機七臺、カーステン型四臺、同三年度K型馬力拔根機一臺、K型人力拔根機四臺、カーステン型一臺アリ直ニ希望地ニ貸與シテ拔根作業ニ應用シツツアリ管理所ノ設備ハ此ノ種ノ要求ニ應シ得ヘキヲ以テ若シ各地方ニ貸與中ノモノニシテ大破セルモノアラハ修理ノ爲一時返納ノ手續ヲ爲シ更ニ之ヲ借用ノ途ニ出ラレタキコト

（四）農用機械購入ニ對シ補助金交付ノ制度アルモ從來拔根機ノ購入補助ニ止リ未タ牽曳機其ノ他ノ購入ニ對シ補助ノ申込ナカリシカ昭和四年度ヨリ牽曳機及其ノ附帶農具ノ購入補助ノ申出アルニ至レリ此ノ種ノ場合ニハ適當品ノ選擇、評價、檢査、使用法指導破損ノ修理等ニ對シテハ本省ニ於テハ十分ニ斡旋ノ勞ヲ執ルヘキコト

（參照）

用排水幹線改良事業ニ關スル件中

第六項ノ事項左ノ如シ

補助申請ニ關スルモノ

一、補助申請書ニ添付スル事業費年度割豫算ハ事業計畫書ニ記載スル事業年度割區分ト對照スル樣作製スルコト

二、補助事業ニ關聯、地目變換、埋立、干拓其他補助ノ範圍ニ屬セサリシ事業ノ附隨スル場合ニ於テハ事業費ハ之ヲ左ノ標準ニ依リ補助事業所要額ト補助セサル事業所用額トニ區分セラレタシ

（イ）用水路頭首工溜池揚水機及其ノ附帶工事ニ要スル費用ニ水量割

（ロ）排水樋門、排水機、堤塘又ハ河川改良工事及其ノ附帶工事ニ要スル費用ハ面積割

三、設計書ニ添付スヘキ計畫一覽圖ハ成ルヘク參謀本部圖面ニ記入スルコト

四、同一事業地ノ文書ニシテ往々其ノ名稱ヲ異ニセルモノアリ斯クテハ其ノ處理ニ際シテ誤リヲ生スルノ惧アルヲ以テ今後ハ各書類共終始一貫シテ補助指令書ニ記載シタル名稱ヲ用ヒラレタキコト

五、用排水幹線改良事業補助ニ關スル打合セニ際シ提出スヘキ計畫ニハ可成工事明細書ヲ添付セラレタキコト

補助金請求ニ關スルモノ

一、補助金請求書ニ添付スヘキ支出決算明細書ハ出來形ト對照

シ得ル樣作製スルコト

二、補助金請求書特ニ事業ノ最終年度ニ於ケルモノニ付テハ豫算經理ノ都合アルヲ以テ速ニ提出セラレタキコト

四、豫算決算ニ關スル書類中誤謬多キヲ以テ豫メ周到ナル檢閲ヲ行ハレ度キコト

計算證明ニ關スルモノ

一、會計檢査院ニ提出スル計算證明方ニ付テハ昭和二年七月九日附ヲ以テ本省會計課長ヨリ通牒セル通ナルモ右書類ノ提出ハ可成當該年度ノ補助金請求書ト同時ニ差出サレタシ尚計算證明書添付ノ決算報告書及事業成績書ハ補助金請求書添付ノ支出決算明細書及事業成績書ト同一ナルヲ要スルモ往々不突合ノ書類ヲ提出スルタメ取扱上支障尠ナカラサルニ付注意アリタキコト

出席者（八十九名）

地方名	官名	氏名
北海道	北海道廳事務官土地改良課長	大垣勝太郎
	北海道廳技手	富岡武夫
青森	地方技師耕地課長	山田稔
	屬兼技手	相馬幸夫
岩手	地方技師耕地整理課長	坂部重遠
	地方農林主事	川崎自省
宮城	地方技師耕地課長	原田嘉種
	屬	後藤榮治郎
秋田	地方技師耕地課長	市橋友次郎
	地方農林主事	佐藤嘉左衛門
山形	地方技師耕地課長	守能邦人
	地方農林技師	宮本憲象
	地方農林技師	江尻憲一
福島	地方技師耕地課長	遠藤正重
	地方農林技師	大澤時藏
茨城	地方技師耕地課長	村岡岩記
	地方農林技師	庄野研次
	農林技手	奥村守一
栃木	地方技師耕地課長	矢島敏彦
	屬	菊地清兵衛
群馬	地方技師耕地課長	山元昇
	屬	今成一郎
埼玉	地方技師耕地課長兼開墾課長	前川純三
	屬	佐藤新太夫
千葉	地方技師耕地課長	山中謙輔
	地方農林技師	藤本達次郎
	地方農林技師	米田敬一
	屬	長谷川宗三郎
東京	地方農林技師	磯義介
	地方農林技師	國安正五郎
	農林技手	檜野盛吉
神奈川	地方技師	矢儀平一
	技手	大津新次郎
新潟	地方技師耕地整理課長	山田平五郎
	地方農林主事	富樫幸次郎
富山	地方技師耕地課長	川村長作
	地方農林技師	雄川孝三
石川	地方技師耕地課長	大竹憲成
	農林技手	奥田壽夫
福井	地方農林技師	宗村正義
山梨	地方技師	後藤芳五郎
	地方農林主事補	山中茂
長野	地方技師	林直樹
	地方農林主事補	櫻井一
岐阜	地方技師耕地課長	齋藤美代司
	地方農林技師	宮川新吉
	技手	鷲見昇
	地方農林主事補	清水對三
静岡	地方技師耕地課長	山北濱之助
	地方農林主事	柏木八郎右衛門
	地方農林技師	千種虎正

出席者

愛知　地方技師 耕地整理課長　横田利喜一
　　　地方農林技師　中光良太
　　　地方農林主事補　笠井熊市
三重　地方技師 耕地課長　山崎周善
　　　地方農林技師　成澤一郎
滋賀　地方技師　水野哲
京都　地方技師　野村寛之進
大阪　地方農林技師　小森谷光三
　　　農林技手　上村文造
兵庫　地方技師 耕地整理課長　野呂勇之助
奈良　地方農林技師　岡部清
和歌山　地方技師　石井家吉
鳥取　地方農林技師　小谷傳
島根　地方農林技師　宇都宮四郎
岡山　地方技師 耕地課長　中島愿三
　　　農林技手　草野八治
廣島　地方技師　田原剛
　　　屬　桐原國平
山口　地方技師　武富憲時
德島　地方農林技師　牧健治
香川　地方農林技師　鈴木信夫
　　　屬　須藤豊
愛媛　地方技師 耕地課長　柳原鹿松
高知　地方技師 耕地課長　田中十三男
福岡　地方技師 耕地課長　佐藤主一
　　　屬　野田茂人
佐賀　地方技師 耕地課長　石川房吉
　　　農林技手　村山安次
長崎　地方技師 耕地課長　重政庸德
　　　農林技手　松永繁一
熊本　地方技師 耕地課長　樺島多賀加
大分　地方技師　三尾純太郎
　　　農林技手　後藤泰藏
宮崎　地方技師 耕地課長　林進士
　　　農林技手　小寺信樹
　　　地方農林主事補　上村友次
鹿兒島　地方技師　竹內末五郎
沖繩　地方技師　吉田忠一

甲　諮問事項

耕地ノ擴張改良事業ノ現況、趨勢竝將來ニ對スル指導奬勵方針如何

乙　協議事項

第一、用排水主要工事國營ニ關スル件
第二、大規模開墾計畫ニ關スル件
第三、開墾助成ニ關スル件
第四、土地利用計畫ニ關スル件
第五、開墾地移住及經營ニ關スル件
第六、用排水幹線改良事業ニ關スル件
第七、農業水利改良計畫ニ關スル件
第八、耕地整理ニ關スル件
第九、暗渠排水奬勵ニ關スル件
第十、事業資金ニ關スル件

第十一、農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

第十二、其ノ他ノ事項

議事經過

第一日（五月九日）

午前十時開會（農林省内會議室）各地方ヨリ主任官其ノ他八十九名朝鮮ヨリ總督府事務官碓井忠平、同府技師橋本左太郎、同府道技師伊佐早博、臺灣總督府ヨリ府技師高原道生ノ出席アリ松村農務局長、有働耕地課長以下各係官列席冒頭農務局長ノ指示次イテ耕地擴帳改良事務取扱ニ關スル注意アリタル後局長議長席ニ着キ諮問事項「耕地ノ擴張改良事業ノ現況、趨勢竝將來ニ對スル指導獎勵方針如何」ニ關シ議長指名ヲ以テ岩手、山形二縣ニ答申セシム正午休憩

午後一時半再會、松村農務局長議長席ニ着キ指名ノ下ニ茨城、埼玉二縣ニ答申セシム埼玉縣答申中、「水利組合ヲ管理指導スル爲縣耕地課ニ主事二名ヲ置ク」ノ事項アリタルヲ以テ耕地課長ヨリ各地方主任官ニ對シ此ノ種ノ類例ヲ求メ大阪、秋田、徳島、大分、宮崎、茨城、山形、靜岡、福井、岡山、福島各府縣夫々所管ノ事情ヲ述ヘ又相互質疑ヲ重ヌ引續キ千葉、富山二縣ニ答申セシム富山縣答申中用排水幹線事業ト水力電氣ト協力企業スルノ事項ニ關シ係官富山、神奈川、長野各縣下ニ於ケル同種事業ニ付テ細説ヲ求メタリ次テ岐阜縣ニ答申セシム四時半散會

第二日（五月十日）

午前九時半開會松村農務局長、有働耕地課長以下各係官列席農務局長議長席ニ着キ前日同樣靜岡、京都二縣ニ答申セシム右答申中市街地ノ區劃整理ニ關スル事項アリ福岡、神奈川、又之ニ關シテ縣ノ事情ヲ具陳シ意見ノ交換アリ有働課長亦本件ニ關シテハ大正七年十一月十三日附農第一二六四八號通牒ノ主旨ニ從ヒ處理スヘキ旨ヲ述ヘタリ次イテ岡山、徳島、佐賀、熊本、宮崎ノ各縣ニ答申セシメ零時半休憩

午後一時半再會　局長議長席ニ着キ直ニ日程ニ入ル協議事項第一、用排水主要工事國營ニ關スル件ニ付地方提出事項ノ提出者、千葉、宮崎二縣ヨリ説明アリ係官之ニ答フ福島縣亦國營事業費豫算ノ過少ナルヲ述ヘ當局ニ要望スル所アリ第二、大規模開墾計畫ニ關スル件ニ付提出者茨城、福島二縣ヨリ説明竝意見ヲ開陳シ係官夫々之ニ答フ少憩後三時半ヨリ江越信胤氏ノ「ブラジルニ於ケル農業事情」ニ關スル講演アリ五時散會

第三日（五月十一日）

午前九時半開會　松村農務局長、有働耕地課長以下係官列席農務局長議長席ニ着キ直ニ日程ニ入ル協議事項第三、開墾助成スル件ニ付宮崎、香川、廣島、徳島、茨城各縣ヨリ提出事項ノ説明竝係官ノ應答アリ岐阜縣ヨリモ經營困難ノ開墾地ニ關スル要望アリ尚引續キ同協議事項ニ付神奈川、岡山、島根、千葉、鳥取、靜岡、富山各縣ヨリ提出事項ノ説明竝係官ノ應答アリ右協議中午前十一時農林大臣臨場別項訓示ヲナス後更ニ協議ヲ續行シ第四、土地利用計畫ニ關スル件ヲ議了シ零時散會

第四日（五月十三日）

午前九時半開會　松村農務局長、有働耕地課長以下係官列席農務局長議長席ニ着キ協議事項第五、開墾地移住及經營ニ關スル件ニ付宮崎、山形、奈良、佐賀、千葉、長野、富山、各縣ヨリ提出事項ノ說明竝ニ係官ノ應答アリ此ノ間神奈川縣ヨリ滲透性大ナル開墾地ノ水稻栽培ニ付研究セラレタキ旨當局ニ要望シ宮崎縣之ニ關シテ報告スル所アリ次ニ協議事項第六、用排水幹線改良事業ニ關スル件ニ付香川、宮崎、山形、廣島、奈良、德島、佐賀、島根、千葉、長野、福岡、富山ノ各縣ヨリ提出事項ノ說明竝係官ノ應答アリ零時半休憩

午前一時半再會　農務局長議長席ニ着キ直ニ協議事項第七、農業水利改良計畫ニ關スル件、第八、耕地整理ニ關スル件ヲ順次議題トシ、廣島、德島、香川、奈良、島根、茨城、栃木、千葉、靜岡ノ各縣ヨリ提出事項ノ說明竝係官應答アリ次テ第九、暗渠排水奬勵ニ關スル件ヲ議題トシ冒頭農務局長暗渠排水ニ關スル指示ノ追加ヲナシタル後長崎、島根二縣ヨリ提出事項ノ說明、福島、茨城、奈良ノ各縣ヨリ質問ヲナシ係官之ニ答フ少憩後三時半ヨリ豐田技師ノ「歐米視察談」ノ講演アリ六時二十分散會

第五日（五月十四日）

午前九時半開會　松村農務局長、有働耕地課長、日本勸業銀行白石公共貸付課長其ノ他係官列席農務局長議長席ニ着キ協議事項第十、事業資金ニ關スル件ニ付香川、山形、廣島、茨城、島根、千葉、富山ノ各縣ヨリ提出事項ノ說明アリ係官及白石公共貸付課長夫々之ニ答フ尙埼玉縣ヨリ耕地整理組合ノ債劵發行ニ關スル質問アリ引續キ第十一農用機械ノ利用奬勵ニ關シ協議ヲ遂ケ十一時ヨリ鈴木技師ノ「ライプチッヒ附近ニ於ケル地下水利用狀況」ニ關スル講演アリ零時半休憩

午後一時半再會　農務局長議長席ニ着キ第十二、其ノ他ノ事項ニ付茨城、栃木、秋田、岡山、千葉、靜岡各縣ヨリ提出事項ノ說明竝係官ノ應答アリテ地方提出事項全部ヲ議了ス後福岡縣ヨリ炭鑛陷落地竝鑛毒被害地救濟ニ關シ希望スル所アリ次テ開墾助成ニ關スル通牒中改正ノ件及開墾助成ニ關スル取締ノ件ニ關スル通牒ノ內容ニ付テ說明竝質問應答アリ此ノ他希望竝意見等ノ陳述アリタリ最後ニ松村農務局長閉會ノ辭ヲ述ヘ五時半散會

第六日（五月十五日）

隨時事務上ノ打合セヲ爲ス

諮問事項答申

耕地ノ擴張改良事業ノ現況、趨勢竝將來ニ對スル指導奬勵方針

全國概況

各地方ニ於ケル答申ヲ通覽スルニ各其ノ事情ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ約言スルコト因難ナリト雖其ノ總括的傾向ヲ窺フ爲玆ニ之ヲ概說セントス

現況

耕地ノ擴張事業ハ即チ開墾、埋立干拓、地目變換、荒地復舊等ニシテ耕地整理法ニ依リ單獨ニ又ハ耕地ノ改良事業ト併セ行ハルルモノ多シ大正八年開墾助成法ノ實施ト共ニ各府縣ニ於テモ一層之カ奬勵ニ努メツツアリト雖猶耕地擴張ノ見込面積全國ヲ通シテ約二百萬町歩ニ上ル

耕地ノ改良事業ハ即チ現耕地ノ灌漑設備ノ改良、排水不良地ノ改良、水害復舊及之等ニ伴フ區劃ノ整理等ニシテ耕地整理法施行以來（明治卅三年）各地方共鋭意之カ奬勵ニ努メツツアリト雖猶灌漑水不足セルモノ五十七萬八千町歩平時排水不良ナルモノ五十六萬九千町歩洪水ノ場合ニ於テ一時的浸水ノ被害アルモノ五十一萬四千町歩アリ尚此ノ外畑地ニシテ改良及整理ヲ必要トスルモノ尠カラス

今耕地ノ擴張改良事業ノ主ナルモノニ付順次現況ヲ示サントス但シ北海道ニハ開墾助成法ノ適用ナク拓殖計畫ニ依リ之ヲ行ヘルヲ以テ茲ニハ便宜上示サルコトトセリ

一、耕地整理事業

耕地整理法ノ施行セラレタル明治三十三年ヨリ昭和四年四月末迄ニ認可セラレタル地區數一萬八千三百六十五、面積八十七萬三千五百町歩整理費四億五千五百萬圓ニ及ヒ其ノ面積多キ地方ハ新潟、宮城、福島、福岡、山形、鹿兒島、千葉、秋田ニシテ各三萬町歩以上ヲ占メ其少キハ北海道、沖繩、和歌山、徳島、香川、山梨ニシテ各六千町歩以下ナリ而シテ此ノ認可セラレタルモノノ內工事完了セルモノハ一萬三百六十五地區、面積四十一萬九千七百町歩換地處分認可濟ノモノハ八千五百三十二地區三十六萬七千七百町歩事業終了セルモノ四千五百八十三地區十九萬一千三百町歩ヲ算ス

二、開墾助成事業

開墾助成法ノ施行セラレタル大正八年六月ヨリ昭和四年三月末迄ノ出願狀況ハ耕地整理法ニ依リ事業ヲ施行スルモノ二千八百七十六地區面積八萬二千二百五十五町歩、地租條令ニヨルモノ百八十一地區面積八千九百四十一町歩合計三千五十七地區面積九萬一千二百町歩ヲ算シ開田八割ヲ占メ開畑二割ナリ其ノ面積多キ地方ハ神奈川、岩手、岡山、青森、熊本、宮城、山形、栃木、福岡ニシテ各三千町歩以上ヲ占メ其ノ少キハ大阪、奈良、徳島、埼玉、島根、京都ニシテ各五百町歩以下ナリ

三、用排水幹線改良事業

用排水幹線改良事業補助ノ制度ハ農業水利改良ノ必要ニ迫ラレ大正十二年度ヨリ設ケラレタルモノナルカ年々事業擴大セラレ同年度ヨリ昭和三年度迄ニ補助決定セラレタルモノ百十七地區受益面積十六萬七千七百八十三町歩ニ達シ千葉、岐阜、埼玉、新潟、富山ヲ初メトシ外三十六府縣ニ亘レリ

四、耕地整理工事費補助

府縣ニ於ケル耕地整理費補助（宮崎ニハ補助規程ナシ）ハ耕地整理事業奬勵ノ爲豫算ノ範圍內ニ於テ交付シ府縣ニ依リ其ノ交付標準及交付歩合ヲ異ニスレ共昭和三年度ニ於テハ其ノ豫算額百七十九萬七千六百九十四圓ニ及ヒ之ニ對スル國庫補助額三萬七千八百圓ニシテ高知、愛知、福島、福岡、青森、岡山、茨城、三重、山形、千葉、秋田、大阪等ノ豫算ハ何レモ六萬圓以上ヲ計上セリ

五、開墾地移住奬勵補助

大正九年度以來府縣ニ開墾地移住奬勵規程ヲ設ケテ開墾地移住家屋及共同建造物ノ建築ニ對シ奬勵

金ヲ交付シ來リタルモノ千葉、宮崎、福島、長野等ヲ初メトシ其ノ外四十府縣ニ及ヒ昭和三年度迄ニ國庫補助ヲ受ケタルモノ百十四萬五千三百圓移住戸數六千六百三十二戸共同建造物六十七棟ニ達シタリ

尙本施設ニ伴ヒテ開墾地移住紹介及開墾地移住者ニ對スル汽車、電車、汽船ノ運賃割引ヲ行ヒ府縣ハ本省ト協力シテ奬勵ニ努メツツアリ

六、農用機械貸與

本省ニ於テ農用機械ノ貸與ヲ開始シタル大正八年以降之カ貸與ヲ受ケタルモノ三十一道府縣內牽曳機二十三道府縣拔根機二十七道府縣ニ及ヒ牽曳機、拔根機共貸與ヲ受ケタルモノ十九道府縣ニ達セリ

七、其ノ他ノ指導奬勵

各地方ニ於テハ事業ノ指導奬勵ノ爲設計調査、工事監督ヲ行ヒ又常ニ講習講話ヲ開催シツツアルモ殊ニ近年耕地協會等ノ如キ民間團體ヲ設ケテ事務ノ指導ヲ委託シ講習講話ヲ爲サシムル等事業ノ發展ヲ圖リツツアルモノ三十八府縣ニ及ヘリ

趨勢

耕地ノ擴張改良事業ハ經濟界ノ影響ヲ受クルコト甚大ニシテ殊ニ各地方ノ事情ニ依リ其ノ消長常ナラス耕地ノ擴張事業ニ於テハ大正八年開墾助成法發布當時ハ事業ヲ企畫スルモノ各地方ニ續出シタルモ其後一般經濟界不況ニ陷リ米價ニ比シ勞力賃銀及諸物價ノ高價ナル爲企業益之ニ伴ハサルト金融梗塞ノ爲資金ヲ得ルコト困難ナリシ等ニ起因シ新事業ヲ躊躇スルノ狀態ナリシカ最近ハ資金ノ融通稍緩和セラレ又人口食糧問題ノ上ヨリ開墾事業ノ緊切ナルヲ認メラレ幾分之カ起業ノ氣運ニ向ヒツツアリ殊ニ大規模開墾事業ハ地方民一般ノ切望スル所ナリシカ本年度ヨリ其ノ端ヲ開キ又開墾助成法ノ改正法等ニ依リ今後開墾事業ハ益進捗スルニ至ルヘシ

耕地ノ改良事業ニ於テハ用排水幹線改良事業ハ大正十二年之カ創始以來年々企業盛ニシテ地方廳及本省ハ忙殺セラレツツアル狀況ナリ又本年度ヨリ着手セル暗渠排水事業ニ對スル國庫補助ノ新施設ニ伴ヒ本事業ハ各地方ニ企畫セラレントスル氣運ニアリ

將來ニ對スル指導奬勵方針

將來ニ對スル本事業ニ對スル道府縣ノ指導奬勵方針ハ各地方ノ事情同シカラサルニ依リ極メテ多岐ニ亘ルト雖其ノ大體ノ傾向ヨリ之ヲ類別スレハ左ニ包含セラル

一、從來ノ通設計調査、工事監督、事務指導ヲ十分ナラシムルコト

道府縣全部

二、基本調査殊ニ農業水利調査ヲ行ヒ各地方ニ於ケル事業ノ年度割計畫ヲ立案スルコト

岩手　秋田　山形　福島　茨城　栃木　群馬　千葉　神奈川　新潟　富山　福井　山梨　靜岡　長野　滋賀　島根　廣島
香川　愛媛　高知　福岡　佐賀　長崎　熊本　大分　宮崎　沖繩等

三、事業容易ニシテ有利ナルモノヲ先ニシ大規模ナルモノ殊ニ用排水幹線改良事業ハ之ヲ府縣營トシテ促進スルコト

青森　岩手　秋田　福島　茨城　栃木　群馬　埼玉　千葉　神奈川　新潟　富山　石川　山梨　長野　岐阜　靜岡　愛知　滋賀　兵庫　鳥取　岡山　廣島　山口　香川　高知　熊本　沖繩等

四、暗渠排水事業ヲ奬勵シ排水不良地ノ改善ヲ爲スコト

山梨　靜岡　奈良　佐賀　大分等

五、開墾地移住及經營施設ヲ完成セシムルタメニ奬勵費ヲ多額ニ計上スルコト

岩手　秋田　山形　福島　栃木　群馬　富山　石川　山梨　長野　愛知　兵庫　島根　岡山　廣島　山口　福岡　佐賀　長崎　宮崎　沖繩等

六、事業資金ノ供給斡旋ニ努メ又借入資金ノ輕減ヲ圖ルコト

北海道　青森　岩手　山形　福島　茨城　埼玉　千葉　神奈川　福井　長野　岐阜　石川　兵庫　奈良　廣島　山口　大分　宮崎等

七、事業ノ財政及工事後ノ經營ニ付周到ナル指導ヲ爲シ且現在事業困難ニ陷レルモノニ付テハ之カ遂行ノ計畫ヲ樹ツルコト

北海道　岩手　山形　福島　茨城　栃木　千葉　新潟　富山　岐阜　愛知　兵庫　岡山　山口　大分　宮崎等

八、事業費輕減ノ爲機械類ヲ貸與シテ其ノ普及ヲ圖ルコト

秋田　山形　茨城　栃木　埼玉　千葉　富山　福井　山梨　愛知　岡山　廣島　大分　宮崎等

九、事業者ニ對スル技術的知識ノ普及ヲ圖リ同時ニ事業宣傳ノ爲隨時講習講話、印刷物ノ配布等ヲ行フコト

北海道　青森　岩手　埼玉　富山　石川　靜岡　福井　愛知　和歌山　兵庫　島根　佐賀　長崎　熊本等

一〇、工事後事務ノ完了ヲ迅速ナラシムル爲協會等ノ民間團體ニ之ヲ委託スルコト

岩手　埼玉　神奈川　富山　石川　福井　靜岡　愛知　兵庫　島根　佐賀　長崎　高知等

一一、農會農事試驗場等ト連絡ヲ採リ事業上ノ便宜ヲ計ルコト

茨城　山梨　石川　愛知　靜岡　奈良　島根　佐賀　大分　宮崎等

一二、地方廳ノ設備ヲ擴張シテ事業ノ進歩發達ヲ期スルコト

青森　岩手　山形　茨城　福井　山梨　長野　兵庫　島根　福岡　熊本等

北海道

現況　本道ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ逐年順調ノ發達ヲ見ツツアリ今昭和四年一月一日現在田畑面積ヲ表示スレハ

	開發見込總面積	現在面積	今後開發ヲ要スル面積
田	四五〇、〇〇〇町	一七四、三八七町	二七五、六一三町
畑	一、一三〇、〇〇〇	六三二、八八二	四九七、一一八

次ニ事業別ニ狀況ヲ示セハ

事業	實施面積	今後實施ヲ要スル豫定面積	備考
造田補助事業	二二、七〇〇町	二九〇、四八九町	今後開發ヲ要スル田面積ト一致セサルハ三年度ニ於テ補助指令未濟ノモノアルニ由ル

開墾（畑）補助事業	一三、二一九	五九三、二三四	今後開發ヲ要スル畑面積ト一致セサルハ右同樣ノ理由ニ由ル
排水幹線堀鑿事業	七八、二二一	一〇一、八三〇	
排水工事費補助事業	一〇、一一二	一三四、五八二	
客土工事費補助事業	二、一八四	五七、九一六	
酸性土壤改良費補助事業	四六七	一九、二八三	
灌漑工事費補助事業	一二九、六二二	幹線 二一五、〇七三 支線 二四〇、〇五一	
灌漑溝基本調査事業	一五一、八七五	二〇一、〇五二	
同　設計調査事業	一三八、〇九〇	二二〇、七九八	
民有未墾地開發事業	一九、六八二	二八七、二八三	
耕地整理事業	三九五	一六二、〇七七	

趨勢　本道ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ現況ニ於テ記述セルカ如ク主トシテ北海道拓殖計畫ニ依リ施行シツツアリ當局ノ指導奬勵ト道民ノ自覺企業ト相俟チ最近第二期拓殖計畫實施以來新規ノ補助又ハ補助率ノ增加ヲ圖リテヨリ著シク促進セラレ就中水田增加ノ躍進ハ著大ナルモノアリテ前年ニ比シ一萬五千五百町歩ノ增加ニシテ最近約十年間ノ平均一箇年增加面積一萬町歩ニ達シ拓殖事業ノ圓滿ナル進展ハ延ヒテ我カ國人口食糧問題ノ解決ニ多大ノ貢獻ヲ爲シツツアリ

本道ニ於ケル土地改良事業ハ主トシテ泥炭濕地ニ對スル排水及客土事業竝礦質酸性土壤ニ對スル石灰加用補助事業ニシテ逐年發達ヲ見ツツアリ之ヲ要スルニ斯種事業ハ經濟狀態、米價、勞銀、小作問題等ニヨリ消長ヲ來スモ開拓中途ニ在ル本道ハ耕地ノ擴張增加ニ主力ヲ傾注スルコトノ必要大ナルモノアリ最近經濟界ノ不振ナルニモ拘ラス上記事業中水田ノ開發、泥炭地ニ對スル客土等ハ異常ナル進展ヲ爲シ本道將來ノ耕地擴張改良事業ノ愈々有望ナルヲ立證シツツアリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　耕地擴張改良事業ニ對スル本廳ノ奬勵施設ハ主トシテ國費（拓殖費）ヲ以テ調査設計、工事及事務ノ監督、補助金交付等ヲ地方費施設トシテ土地改良工事ノ測量設計ヲ爲シ其ノ他現在事業經營困難ニ陷レル土功組合ノ特別助成竝全道土功組合ノ舊債借替等ニ依ル救濟ヲ行ヒ且組合地區内ノ造田ヲ奬勵シ組合員ノ負擔ヲ輕減シ以テ一般組合ノ內容充實ニ資シ事業促進ノ爲ニハ活動寫眞ヲ利用スル奬勵講話、印刷物ノ配付ヲ行ヒ一層事業ノ勃興ト更生ヲ圖リ着々所期ノ目的ヲ達成シツツアリ更ニ本年度ヨリハ拓殖計畫中土地改良事業計畫ノ一部擴張セラレタリ將來時運ノ進歩事業ノ成果ニ鑑ミ計畫設備ノ改廢擴張、補助率ノ增加、低利ナル事業資金ノ供給斡旋等ヲ策シ斯業ノ促進本道拓殖ノ先驅タラシメントス

青森縣

現況竝趨勢

一、耕地擴張

本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ縣產業振興上最モ緊急ナル事項ニシテ耕地整理法、開墾助成法ノ

施設ニヨリ遂年進展ニ向ヒツツアリ最近ノ情勢ニ依レハ耕地整理認可地區數二七〇、面積一一、六四一町歩アルモ其ノ大部分ハ耕地擴張事業ニシテ現ニ開墾助成法發布以來地區數一三三面積四、〇五〇町歩ニ達シ其ノ成績ニ於テ見ル可キモノアリト雖モ大部分ハ概ネ經營ノ途上ニアリ而シテ將來開墾セラルヘキ土地頗ル廣汎ニ亘ルモノアリテ本事業ノ前途甚タ遼遠ナリ

二、耕地改良

本縣ハ地理關係ニテ天惠薄ク人智モ亦遲レ永年ノ慣習未タニ脱セサルタメ區劃整理ヲ好マサルト雖モ縣營事業ヲシテ耕地ノ改良ヲ計畫シ工事中ノモノ淺瀨石川筋用水改良事業、山田川沿岸排水改良事業アリ既ニ事業終了シタル馬淵川沿岸用水改良事業アリ近ク實施セントシテ計畫中ノモノニハ上北郡七戶川沿岸排水改良事業及駒込川毒水排除事業アルモ之等ハ單ニ水源ヲ確立シテ用水補給ト惡水排除ノ改良工事ノミナルヲ以テ完成後ハ更ニ大面積ノ區劃整理ヲ奬勵セントス現ニ事業完成セル馬淵川沿岸用水改良事業ハ之ニ伴フ耕地整理事業ヲ實施シツツアリ尙縣下ニハ之カ改良ヲ要スル面積五萬餘町歩アリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本事業ハ金融界ノ盛衰ニ關係頗ル甚大ナルモノアリ故ニ縣ニ於テハ三分ノ一ノ補助金ヲ交付シ指導奬勵ヲナシ農民ノ自覺ヲ促シ益々事業ノ遂行ヲ圖リツツアルモ近時財界不振ニ加フル穀價暴落シ事業振與上阻害セラルルトコロ少カラサルノ憾アリ依テ企業者ニ資金ノ充實ヲ圖ルハ耕地整理事業ノ發展ニ至大ナル關係ヲ有スルヲ以テ一層低利資金ノ供給ヲ仰キ斯業ノ勸奬普及ニ努メ鋭意測量設計工事監督事務指導ヲナシ之カ促進ヲ計リ諸種ノ規程ヲ設ケ政府ノ奬勵ト相俟チテ事業ノ發展ヲ期セントス

岩手縣

現況竝趨勢　本縣地積百五十三萬六千餘町ノ中耕地面積ハ十四萬三千五百町ニシテ其ノ一割ニ達セス然モ田ハ約三割九分五萬六千町畑ハ約六割一部八萬七千五百町ニシテ耕作戶數十萬一千五百餘戶ニ對スル一戶當耕作反別田五反五畝畑八反六畝合計一町四反一畝ニ過キス而シテ耕地擴張及改良見込地約九萬三千五百町ノ中開田畑六萬八千町耕地改良二萬六千五百町アルモ目下指導奬勵ニ從事スル人員四十三名設備豫算四萬八千九百圓ニシテ年々ノ設計調査出願二千乃至三千町、工事施行三百乃至五百町ノ指導及工事完了後ノ事務指導ニ著シキ施設ノ不足ヲ感ス

四月末日ノ調査ニ依レハ耕地整理施行認可地區二百六十四、面積一萬四千二百四十町ニシテ之ヲ細別スレハ次ノ如クニシテ其ノ中開墾助成出願九五地區事業施行面積開田三千六百六十九町開畑八百四十四町合計四千五百十三町ヲ算シ尙他ニ昭和元年度ヨリ五箇年度繼續年期ヲ以テ施行中ノ縣營農業水利改良事業一箇所受益面積二千四百町ハ既ニ八分通其ノ工ヲ竣ヘタリ

工事未着手		工事中		工事完了		同上中換地處分濟		同上中事業終了	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
一六	七八六町	一八八	一一、〇四六町	六〇	二、四〇八町	三六	二、〇八三町	一二	六五六町

將來ニ對スル指導奬勵方針

一、用排水改良事業ノ縣營及國營ノ實現ヲ期スル爲豫定地ノ調査ヲ續行セムトス
二、相當大面積ノ縣營開田ヲ四年度ヨリ施行シ自作農ヲ創設シ食糧增收ニ資セムトス
三、事業經營ヲ容易ナラシムル爲自作農維持創設ハ主トシテ開墾地ニ之ヲ實施セムトス
四、事業指導及監督上遺憾無カラシムル爲漸次設備ヲ充實シ尙奬勵ノ爲補助金ヲ增額セムトス
五、可成係員ヲ事業地ニ長期駐在ノ上指導ニ當ラシメ工事期間ノ短時日ナルコトヲ補ヒ且工事ノ失敗ヲ最少限度ナラシメムトス
六、年次計畫及財務計畫ノ實施ニ關シ徹底的ノ指導竝講習ヲ行ヒ事業經營難ノ除去ニ資シ一方中心人物ノ養成方法ヲ講セムトス
七、整理施行地ノ利用竝維持管理組合ノ設置ヲ奬勵シ整理ノ效果ヲ充分ニ發揮セシムルニ力メムトス

宮城縣

現況竝趨勢

一、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十四年以降漸進的ニ普及發達シ同四十二年及大正二年ハ未曾有ノ大洪水ニ遭遇シ耕地ノ荒廢ニ歸シタルモノ不尠之カ復舊ヲ兼ネ整理施行ヲ奬勵セシニ其ノ勞銀ニ依リ罹災者ヲ救濟セムトスルモノ各地ニ起リ俄然一大勃興ヲ呈スルニ至レリ爾來耕地整理及土地改良奬勵規則竝補助規程ヲ改正シ極力奬勵ノ結果現在耕地面積田九萬二百十六町歩畑四萬六千百六十四町歩合計十三萬六千三百八十町歩ノ内組合設立又ハ施行認可ヲ與ヘタル地區數五百二十三其ノ面積五萬一千三十八町歩ニ達セリ而シテ右ハ主トシテ田地ナルヲ以テ之カ割合ハ約五割六分耕地(田畑)總面積ヨリスレハ約三割八分ニ過キス加之前記ノ災害復舊事業ハ工費ノ關係上用排水ノ根本的改善ヲ閑却シ單ニ區劃ノ整理ヲ行ヒタルモノ尠カラサルヲ以テ之等設備ノ改良ト共ニ所要事業費ニ比シ利益ノ多キ箇所及急施ヲ要スル方面ヨリ逐次施行セシメツツアルヲ以テ益々普及發達ノ趨勢ニアリ

二、開墾助成事業

本縣ニ於テ大正三年調査ニ係ル開發見込地ハ國有林野水面等ヲ合セ其ノ面積一萬八千八百五十九町歩ヲ算セリ大正八年開墾助成法公布セラレタル以來斯業ノ奬勵ニ務メタル結果助成ノ指令ヲ受ケタルモノ、申請中ニ係ルモノ、地區數六十一其ノ面積四千百二十八町歩ヲ算スルニ至リタルモ斯業ハ金融界ノ盛衰ニ依リ其ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有シ殊ニ近時穀價ノ暴落ニ依リ農村ノ經濟狀態ハ困憊其ノ極ニ達シ爲ニ事業ノ振興ヲ阻害スルノ憾ナキ能ハサリシモ開墾助成法ノ改正等ニ伴ヒ斯業ハ今後發達ノ趨勢ヲ呈スルニ至ラン

三、用排水幹線改良事業

本縣ニ於テ大正十三年調査ニ係ル農業水利ノ改良ヲ要スル集團地三百町歩以上ハ七箇所面積二千三

百二十四町歩、五百町歩以上ハ十六箇所面積二萬六百餘町歩ニシテ內用排水改良事業補助要項ニ依リ施行シタルモノ一箇所其ノ面積八百三十町歩事業費十六萬圓現ニ施行中ニ屬スルモノ三箇所其ノ面積五千二百五十六町歩、事業費豫算二百六萬八千七十一圓ニシテ更ニ申請中ニ係ルモノ五箇所其ノ面積九千八百六十四町歩、事業費豫算三百三十五萬二千三百圓ニシテ尙五千五百五十餘町歩ヲ算スルヲ以テ之カ事業計畫ヲ樹テ其ノ促進ヲ期セムトス

將來ニ對スル指導奬勵方針　現況及趨勢ノ概要ハ前述ノ如ク斯業ノ促進達成ヲ期スルハ前途遼遠ナルヲ以テ從來ノ方針ニ基キ指導奬勵ヲ怠ラサルモ更ニ本縣ニ於テ昭和三年七月臨時縣治調査會ヲ設ケ縣治振興ノ基本タル重要ナル事項ニ就キ諮問シ又ハ調査審議スルコトトナリ耕地擴張改良事業ノ促進方策ヲモ諮問中ニ屬スルヲ以テ其ノ答申ヲ俟ツテ之カ確立ヲ期セムトス

秋田縣

現況竝趨勢　本縣ニ於ケル耕地ノ擴張見込地總面積約十萬三千四百八十町ニシテ本州中第一位ヲ占メ又耕地ノ總面積十三萬六千七百三十二町歩合計二十四萬二百十二町歩ニ達シ本邦屈指ノ農業國タリ故ニ耕地ノ擴張改良事業ノ消長ハ直ニ產業ノ消長ニ重大ナル影響アルヲ以テ本縣ニ於テハ財政ノ許ス範圍ニ於テ極力其ノ指導奬勵ニ努メタル結果設備ノ擴張ニ次クニ擴張ヲ爲スモ尙企業者ノ要望ヲ充タスコト能ハサル如キ盛況ヲ呈スルニ至レリ而シテ本縣ノ產米總額ハ常ニ二百萬石內外ヲ往來スト雖モ更ニ或ル程度ノ耕地ヲ擴張スルト共ニ耕地ノ改良ヲ爲スニ於テハ近キ將來ニ於テ其ノ數割ヲ增殖スルコトノ容易ナルヲ認メ急速之カ達成ヲ圖ル目的ヲ以テ國庫補助ヲ受クルコト可能ナル用排水幹線改良事業ハ出來得ル丈ケ之ヲ縣營トシテ施行シ又其ノ恩典ヲ受クルコト能ハサル用排水改良工事費ニ對シ前年度ヨリ新ニ三割以內ノ府費補助ヲ交付スルコトトシ尙全縣ニ亘リ耕地ノ改良及擴張計畫ニ對スル根本的調査ヲ爲ス目的ヲ以テ更ニ前年度ヨリ農業水利改良調査班ヲ新設スル等鋭意之カ指導奬勵ニ努メツツアルヲ以テ國ノ指導奬勵ト相俟テ今後一層順調ナル發達ヲ爲スノ趨勢ニアリ而シテ斯業ノ現況ヲ表示スルハ左ノ如シ

耕地ノ擴張（昭和四年四月末日現在）

種目	地區數	開田面積	開畑面積	合計
開墾助成指令濟	七七	町 一、七八九・九〇〇〇	町 二六一・四〇〇〇	町 二、〇五一・三〇〇〇
同上願書ヲ本省ニ進達シタルモノ	一〇	三四八・〇七一一	七・〇八〇六	三五五・一五一七
同上出願シタル願書ヲ本省ニ進達セサルモノ	六	一一〇・三三〇三	一七・二四二九	一二七・五八〇六
今後出願セントスルモノ（自昭和四年五月一日至昭和五年三月末日）	一六	七四四・八〇〇〇	八・九〇〇〇	三五三・七〇〇〇
昭和五年度ニ於テ出願見込ノモノ	一八	七三八・九〇〇〇	二・五〇〇〇	七四一・四〇〇〇
合計	一二七	三、三三二・〇〇一八	二九七・一三〇五	三、六二九・一三二三

耕地整理（昭和四年四月末日現在）

種目	地區數	面積
施行認可濟ノモノ	三八七	三二、七四八町
施行認可申請中ノモノ	二	一〇二
施行認可準備中ノモノ	一二	一、四〇五
施行認可見込ノモノ	三二	四、一六九
合計	四三三	三八、四二四

前表ニ依レハ耕地ノ擴張事業ハ之ヲ改良事業ニ比シ稍不振ノ狀態ニアルカ如シト雖本縣ノ實情ハ過去數年間ニ渉リ激甚ナル旱害ヲ受ケ其ノ救濟一刻モ緩フスル能ハサル關係上耕地ノ擴張事業ハ用水問題ヲ容易ニ解決シ得ラルル區域ニ對シテノミ指導奬勵ヲ爲スノ已ムヲ得サル狀況ニアリ

而シテ本年四月ヨリ實施セラレタル開墾助成法ノ改正ニ依リ支出シタル事業費ニ對シ四割以內ノ助成金ヲ一時ニ交付セラルルコトト爲リタル結果資金ノ調達難大ニ緩和セラレ加フルニ負擔頗ル輕減セラルヘキヲ以テ當事者ハ競フテ企業セントスルノ傾向ヲ呈シ來リ三十町步出後ノ開地ノ開墾ヲ計畫スルモノ著シク增加シ來リタル等此際指導奬勵ヲ誤ラサルニ於テハ其ノ進展著シカルヘキ趨勢ナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　前項ニ於テ說明シタル如ク本縣ノ斯業ハ頗ル順調ニ發達シツツアリト雖之ヲ以テ滿足スヘキニアラス故ニ從來ノ施設ヲ踏襲シテ着々進行スルノ外時勢ノ進運ト相俟テ新ナル施設ヲ爲シ以テ一層本縣ノ富源ヲ開發スル豫定ナリト雖差當リ縣財政ノ許ス範圍ニ於テ左記事項ヲ遂行シタキ希望ナリ

一、耕地ノ擴張改良計畫ノ基礎ト爲ルヘキ農業水利改良調査ヲ急速完成スルコト

二、耕地ノ改良ヲ爲スニ付最緊要ナル用排水改良事業ヲ可成急速ニ完成セシムルコト

三、開墾地ノ利用ニ關シ充分ナル指導ヲ爲ス施設ヲ爲スコト

四、水源工事施行上水力工業ト共同經營シテ利便ヲ受クルモノアルトキハ努メテ其ノ協調ヲ計リ以テ事業ヲ確實有利ニ遂行セシムルコト

五、優秀ナル開墾及耕地整理用器具器械ヲ設備シテ普ク之ヲ貸與シ事業ノ助長ニ努ムルコト

山形縣

一、耕地ノ改良

現況竝趨勢　本縣耕地ノ改良事業ハ明治四十一年耕地整理ニ關スル職員設置規程竝事業實施規定ヲ發布シ縣費ヲ以テ基本調査實施設計調査土地改良調査竝工事及事務ノ指導監督等ヲ行ヒ專ラ斯業ノ奬勵ヲ計リ更ニ大正六年ニ於テ水源竝排水口及幹線水路等多額ノ費用ヲ要スル工事費ニ對シ耕地整理工事費補助規程ヲ設ケテ之カ促進ヲ計リ又昭和二年度ニ於テ財務監督吏員ヲ設置シテ耕地整理組合ノ財務ヲ監督シ事業遂行ニ過ナカランコトヲ期セシメ尙同年度ニ土地改良補助規程ヲ設ケテ暗渠排水工事ヲ行フ者ニ對シ補助金ヲ交付シテ斯業ノ實行ヲ奬勵セリ更ニ同年度ヨリ灌漑水源調査係ヲ設置シテ縣下一萬八千町步ノ用水不足地ヲ三箇年繼續事業トシテ之ヲ調査シ以テ之カ對策ヲ立案シ

テ將來ノ方針ヲ指示シ之カ實行ヲ促進セシムルニ努力シツヽシアリ今昭和三年度末ニ於ケル成績ヲ示セハ次ノ如シ

種別	地區數	面積其ノ他	附記
一、基本計畫調査	二五	七三、六〇〇・〇〇〇〇町	既成耕地及未墾地開發共
一、基本水利調査	二二	一七、五二六・〇〇〇〇	同上　内十六地區面積一二、六八一町灌漑水源調査
一、實施設計調査	—	—	
1 發起施行又ハ組合設立認可	二六七	四〇、六一一・八五一七・五	
2 工事完了	一四三	二四、五三四・五九二五・一	分區ノ分加算セス
3 換地處分認可	一三九	二四、二一二・九八二四・一	同上
4 事業終了	一〇一	一一、〇六六・一〇〇四	
一、土地改良調査	一五三	四五〇・六六一八	耕地整理法ニ依ラスシテ混田地下排水ヲナスモノ
一、耕地整理工事費補助交付	七三	七一〇、二〇四・〇〇円	工事費決算額ニ對シ二割五分乃至五割ヲ交付セリ
一、土地改良補助交付	六二	一八六・七二一七町	昭和二年度ヨリ面積五反歩以上ノ地區ニシテ縣設計ニ依ル暗渠排水工事ヲ行フモノニ對シ一反歩ニ對シ五圓交付ス
一、耕地整理協會事業助成補助交付	—	二、五九〇・〇〇円	縣下耕地整理開墾事業者ノ團體ニ對シ大正十三年度ヨリ補助交付セリ

又國庫補助ニ依ル縣營用排水幹線改良事業ハ左ノ如クニシテ何レモ良好ナル成績ヲ以テ事業終了又ハ進行中ニ屬ス

用排水改良事業調

地區名	費用	受益面積	附記
吉田堰	二五四、〇〇〇円	一、二五三・八〇町	揚水機設置ニ依ル用水補給、大正十三年度着手昭和三年度竣工
最上堰	三二五、〇〇〇	一、〇〇一・四〇	幹線改良ニ依リ用水量増加ヲ計リ用水補給ヲナス、大正十四年着手昭和三年度竣工
大町溝	二一七、〇〇〇	一、六二〇・二四	揚水機設置幹線新設ニ依ル用水補給、大正十四年度着手昭和三年度竣工
笹川堰	二四一、六〇〇	八二七・〇〇	揚水機設置幹線新設ニ依ル用水補給、昭和二年度着手昭和四年度竣工豫定
東置賜郡屋代郷耕地整理組合	九四六、〇〇〇	八八四・二〇	溜池新設幹線水路設置ニ依ル用水補給、昭和四年度ヨリ着手シ昭和七年度竣工スル豫定

將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣耕地ノ改良事業ハ前項ノ如ク進展シツヽアリト雖モ今後更ニ調査指導奬勵ヲ要スルモノ亦少シトセス今之ヲ表示スレハ左ノ如シ

種別	面積	附記
基本調査ヲ要スルモノ	一〇、四〇〇・〇〇町	一市五郡地内
實施設計及土地改良調査ヲ要スルモノ	六〇、〇〇〇・〇〇	縣下一圓
工事指導監督ヲ要スルモノ	七五、二六五・〇〇	同上
工事完了後ノ事務竝其ノ他ノ事務指導ヲ要スルモノ	九四、八七九・〇〇	同上
用排水幹線改良調査竝ニ實施ヲ要スルモノ	二三、七〇九・〇〇	三百町歩以上五百町歩未滿一〇箇所　三、七一〇町歩 五百町歩以上二〇箇所　一九、九九〇町歩

刻下財政整理緊縮ヲ要スルノ秋ナリト雖モ耕地ノ改良事業ハ實ニ農村ノ基礎ヲ强固安定ナラシムル

重大使命ナルカ故ニ現在ニ於ケル縣ノ設備ヲ以テシテハ今後五十年以上ノ長星霜ヲ閲スルニ非サレハ到底之カ完成ヲ遂ケルニ難キヲ以テ昭和四年以降極力設備竝補助金交付額ノ増加ヲ計リ指導奬勵ニ一段ノ努力ヲ加ヘ一面政府ノ補助金竝低利資金ノ增額配給ヲ受ケ極力短年期間内ニ於テ豫期ノ事業ヲ遂行セントス

二、耕地ノ擴張

現況竝趨勢　本縣耕地ノ擴張事業ハ明治四十一年東田川郡吉田堰ノ開鑿ニ伴フ一千二百町歩ノ開田耕地整理及同四十二年飽海郡耕地整理組合ノ設立ニ伴フ六百町歩ノ開田事業ニ依リ著シク開墾思想ヲ喚起シタルニ始マリ爾來縣内各所ニ開墾ヲ企圖スルモノ漸次其數ヲ加フルニ至レリ爰ニ於テ縣ハ此種ノ事業ヲ堅實有利ニ指導奬勵スルノ必要ヲ認メ大正二年度ニ於テ全縣下ヲ三區ニ分チ夫々吏員ヲ派シ耕地擴張調査ヲ施行シ約一萬五千町歩ノ開墾適地ヲ得タルヲ以テ其調査成績ヲ發表シ企業奬勵ニ努メタリ越ヘテ大正三年、四年、十年ノ三年ニ渉リ土工用レール及抜根機ヲ備付ケ開墾者ニ無償貸付ノ途ヲ開キ大正六年開田事業中最モ多額ノ費用ヲ要スル水源設備費補助規定ヲ製シ其ノ助長ヲ計リ更ニ大正七年開畑事業經營ヲ目的トスル試驗場ヲ最上郡戸澤村字鞭打野國有林野内ニ設置シ當業者ニ其指針ヲ授クル等大ニ奬勵ノ實ヲ示セリ過々大正八年開墾助成法發布セラルルヤ開墾事業亦勃然トシテ起リ助成金ノ交付ヲ受ケントスルモノ續出シ昭和三年度末ニ於テ左ノ如キ狀勢ヲ示スニ至レリ

種別	地區數	面積 開田	面積 開畑	面積 計
助成指令濟	八四	町 二、七〇六・三七二六	町 三六九・五五一三	町 三、〇七五・九三〇九
同上未指令ノモノ	七	一三八・七三一一	四一六・六一一九	五五五・三五〇〇
將來出願セントスル見込	―	九、八一八・四一一九	四、六〇三・〇六二六	一四、四二一・四八一四
計	―	一二、六六三・五二二六	五、三八九・二三二八	一八、〇五二・七六二四

又開墾事業ノ勃興ニ伴ヒ開墾地耕作經營上移住家屋ヲ建設セシムル必要生セシ爲大正九年開墾移住奬勵規程制定以來一戸ニ付建設費八百圓以上ノモノニ對シ四百圓以内ヲ補助スルコトニセリ尚大正五年其一部ヲ改正シ移住者ノ共同建物ニシテ其建築費八百圓以上ヲ要セシモノニ對シ建築費總額ノ四割以内ヲ補助スルコトトナシ結果大正九年ヨリ大正十五年ニ至ル七箇年間ニ於テ新農家戸數一二六戸ニ對シ四萬六千五百圓ヲ交付シ昭和二年度ニ於テ十五戸ニ對シ六千圓ヲ昭和三年度ニ於テ三十戸ニ對シ一萬二千圓共同建造物二棟ニ對シ千三百十四圓ヲ交付セリ更ニ昭和四年度以降前記開墾事業ノ進展ニ伴ヒ約一千戸ノ移住農家ヲ收容シ同樣補助金ヲ交付スヘキ豫定ナリ以上ノ外特記スヘキハ本縣々營ヲ以テ最上郡萩野村ニ於テ元軍馬補充部萩野支部用地七百八十六町七反九畝二十二歩竝建物其ノ他ヲ十八萬六百圓ヲ以テ拂下ヲ受ケ昭和三年度ヨリ同六年度ニ至ル五箇年間ニ十三萬四十圓ノ事業費ヲ投資シ三百九十町一反八畝歩ノ畑地ヲ得之ニ七十七戸ノ農家ヲ移住セシメ左ノ年度割ヲ以テ事業ヲ開始シ自作農ヲ創設シ理想的農村ヲ建設セントセリ而シテ昭和二年度ニ於テハ四十

町歩ノ共同經營地及八十町歩ノ豫定開墾ヲ理想通リ完了シ第一年度豫定移住者タル十六名及第二年度豫定移住者十五名ハ將來ノ希望ニ燃ヘツヽアリ而シテ第三年度ノ豫定ナル十六名ノ移住者モ既ニ移住シ終リ目下開墾事業ニ着手中ナリ

移住者及開墾地年度割豫定

年度	戸數	面積
第一年度	十六戸	八〇・〇〇町
第二年度	十五戸	七五・〇〇
第三年度	十六戸	八〇・〇〇
第四年度	十五戸	七五・〇〇
第五年度	十五戸	八〇・一八
計	七十七戸	三九一・一八

以上開墾助成金及移住奬勵金交付ノ特典ニ關シテハ機會アル毎ニ其ノ普及ヲ期セシムヘク周知ノ方法ヲ講シタル結果民有地ノ開墾ノミナラス國有林野ノ貸付ヲ受ケ此恩典ニ浴シ開墾地ノ經營ヲ企圖スルモノ漸次其數ヲ增加シツヽアリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣耕地ノ擴張事業ハ前項表示ノ狀勢ニシテ今後更ニ擴張ヲ要スルモノ一萬五千町歩ヲ以テ算スヘシ而シテ是等開墾事業ノ如キハ水源設備其ノ他ニ於テ何レモ多額ノ費用ヲ要スルカ故ニ工事費補助金ノ增額交付優秀ナル開墾用器具機械ヲ設備シテ周ク之ヲ貸付シ事業ノ助長ニ努ムルト共ニ堅實ナル發達ヲ期セシムル爲一層縣ノ設備ヲ增シ周到ナル調査ト確實ナル財政計畫等ニ關シ詳細ナル指導ヲ加ヘ可成的速力ニ全事業ノ遂行促進ヲ圖ラムトス然レトモ本事業ハ其當初ニ於テ多額ノ資金ヲ固定スルカ故ニ何レモ其資金ノ調達ニ困憊スルノ實情ナルカ故ニ此際特ニ多額ノ低利資金ヲ配給セラレ大ニ地方斯業ノ助長發達ヲ促サレンコトヲ併而要望スルモノトス

福島縣

耕地整理現況

現況　本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十五年度ヨリ縣農會事業トシテ耕地整理事業ノ奬勵ヲ爲シ同三十九年度ヨリ縣事業ニ移シタリ其ノ後開墾干拓等ノ事業モ相當設備ノ許ニ事業ノ指導奬勵ニ努メタリ又國庫補助ニ依ル用排水幹線改良事業ハ昭和元年度ヨリ着手シタルカ何レモ左ノ如キ現況ヲ見ルニ至レリ

地區數	面積	工事完了 地區數	工事完了 面積	換地處分 地區數	換地處分 面積	事業完了 地區數	事業完了 面積
九二六	三九、七七二	六一二	二五、七三五町	五六七	二四、七九六町	二六三	一一、四九四町

開墾助成現況

地區數	施行面積 開田	開畑	計
	一、二二一町	七六一町	一、九八二町

用排水幹線改良事業現況

事業名	繼續年度	事業費	支配面積	摘要
石城郡愛谷堰農業水利改良事業	自昭和元年度 至昭和四年度	二六五、〇〇〇	一、〇五五町	
相馬郡石神村外二箇村農業水利改良事業	自昭和三年度 至昭和七年度	四八〇、〇〇〇	五九七	
西白河郡關平村外二箇村農業水利改良事業	自昭和三年度 至昭和七年度	二六〇、〇〇〇	八六五	
會津大川筋農業水利改良事業	自昭和四年度 至昭和十年度	七五〇、〇〇〇	一、五五七	昭和三年縣會ノ議決ヲ經テ目下手續中ニ屬ス
相馬郡金房村外二箇町村農業水利改良事業	自昭和四年度 至昭和八年度	二六〇、〇〇〇	五七〇	同

趨勢　以上ノ現況ヲ見ルニ至レリト雖往年ニ於ケル財界ノ變動ハ延テ事業上ニ及ホシタルモ水田ニ乏シキ山間ノ地ニアリテハ自然食糧ノ必要ヨリ小面積ノ開墾事業續出シ特ニ耕地改良ニ付テハ大正十三年以來地方稀有ノ旱魃ニ遭遇シタル爲水路、溜池、揚水機等所謂水源工事ノ勃興ヲ來シタリ亦極メテ小規模ノ事業ニシテ開墾助成法ノ恩典ニ浴シ得サル五町歩未滿一町歩以上ノ開墾事業竝濕田改良ヲ目的トスル暗渠排水事業ニ對シテハ大正十三年縣令ヲ以テ簡易土地改良奬勵規程ヲ發布シ勸奬ニ努メタル結果其ノ成績良好ニシテ之等ノ事業出願年々多數ニ上リツツアリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　耕地ノ改良ヲ助成促進セシムヘキ用排水ノ不良ナルモノニ對シ農林省ノ奬勵施設ト相俟テ調査ヲ行ヒ縣營トシテ事業ヲ施行スル計畫ヲ以テ之ヲ實行ニ努メツツアリ其ノ他耕地改良擴張事業ハ前述ノ狀況ナルヲ以テ從來ノ方針ヲ踏襲シ一層奬勵ニ努メ生產力ノ增進ヲ圖ラムカ爲左ノ方法ヲ以テ勸奬セムトス

一、設計調査ヲ行ヒ設計書ヲ交付スルコト
二、工事指導監督ヲ爲スコト
三、工事費又ハ事業費ノ補助ヲ爲スコト
四、事務指導ヲ爲シ耕地整理又ハ開墾助成出願手續等ヲ完全ナラシムルコト
五、開墾地ノ利用ヲ完全ナラシムル爲移住奬勵ヲナスコト
六、事業不振ノ地區ニ對シテハ特ニ指導督勵ヲ爲スコト

更ニ大規模開墾ニ付テハ多年縣民ノ熱望スル所ナルニ先年農林省ニ於テ矢吹町外十箇村內約六千町歩ノ大集團地ノ開墾調査ニ着手セラレタルヲ以テ縣ニ於テモ相當經費ヲ計上シ國ノ施設ト相俟テ速ニ實現ヲ期セントス尙開發實施ノ方法ハ關係町村ヲ區域トスル聯合整理組合ヲ組織セシムルヲ最適當ト認メ目下進捗中ニ屬ス

茨城縣

現況　本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ耕地整理法開墾助成法ノ實施竝之ニ伴フ縣ノ奬勵補助ニ關スル諸規程ノ制定ト相俟チ爾來官民協力シテ其ノ普及發達ニ努メタル結果逐次順調ナル道程ヲ辿リ今日左表ノ如キ成績ヲ擧ケ得タリト雖之ヲ縣下ノ耕地擴張改良豫定面積八萬六千八百餘町歩ニ比スレハ其ノ約二割五分ニ過キサルノ狀態ニシテ斯業ノ前途尙甚タ遼遠ナリ

一、耕地整理事業（昭和四年三月末日現在）

發起設立施行認可		工事完了		工事中		換地處分認可		事業終了	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
二一八	二五、六一一・〇町	一九八	二一、四三五・九町	四四	二、二三九・五	一〇三	一一、三九〇・三町	四〇	四、二一三・〇町

二、開墾助成事業（昭和四年三月末日現在）

地區數	面積	耕地擴張面積		工事終了		工事中	
		開田	開畑	地區數	面積	地區數	面積
六八	三、一七一・二町	二、七三七・一町	四三四・一町	三六	一、〇七六・五町	三二	二、〇九四・七町

三、農業水利改良事業

名稱	支配面積	事業費	事業期間	記事
新利根川沿岸農業水利改良事業	一一、〇〇〇町	一四五、〇〇〇円	自昭和元年度至昭和八年度	工事中
八間堀沿岸農業水利改良事業	四、一〇〇	五六三、〇〇〇	自昭和四年度至昭和七年度	工事中

本縣下ノ地勢ハ北部竝西北部ノ山嶽地ヲ除キ概ネ平坦ニシテ數多ノ河川貫流スト雖臺地多ク水利ノ便ニ乏シク主トシテ山林、原野、畑地等ヨリ成リ土地利用上遺憾ノ點多シ水田ハ主トシテ前記諸河川ノ沿岸ニ啓ケタルモ土地總面積ニ比スレハ其ノ割合甚タ僅少ニシテ且農家一戸當耕作反別又多カラス而シテ右水田モ一部ノ河川沿竝耕地整理施行區域ヲ除クノ外ハ治水竝水利上ノ施設見ルヘキモノ尠ク爲ニ用水潤澤ナラサルモノ多キト一方水害ヲ被ルモノモ亦決シテ尠カラス而シテ臺地ノ部分ニ於ケル用水源ノ設備甚タ困難ニシテ簡單ナル開田工事ヲ施行シ難ク一部ノ山林地ニ於テハ開畑工事ヲナスモノアリト雖規模小ニシテ一集團概ネ數十町歩ノ程度ナリ之等廣漠ナル臺地ノ完全ナル開發ハ現狀ニテハ到底望ミ得ヘカラス相當大規模ナル用水源ヲ確立シ百年ノ大計ヲ樹ツルノ要アリ河川沿ノ水田地ハ前記ノ如キ狀態ニシテ尙相當部分的ニ改良施設ヲ爲シ得ルモノアリト雖其ノ他ハ大規模ナル用排水設備完成ノ上ニ非サレハ完全ナル改良困難ナルヲ認ム

上記ノ外本縣ハ湖沼地頗ル多ク概ネ水深淺ク土地又肥沃ニシテ現在ノ干拓埋立事業盛ニシテ相當大規模ノ工事ヲ施行シツツアリ

既往ニ於テ計畫實施セラレ又ハ實施中ニ屬スル耕地擴張改良事業ハ僅ニ二三難工事ノ爲經營困難ナ

ルモノアリト雖概ネ成績良好ニシテ何レモ初期ノ目的ヲ達シツツアリ今本縣内ノ耕地擴張改良ヲ要スヘキ見込地事業豫定竝縣施設ヲ擧クレハ左ノ如シ

耕地擴張改良事業種別	面積	記事
耕地改良事業	五五、〇〇〇・〇〇町	
耕地擴張事業	九三、〇〇〇・〇〇	
農業水利改良事業	三六、〇〇〇・〇〇	改良擴張ト重複（農業水利改良事業・大規模國營開墾事業）
大規模國營開墾事業	一六、五〇〇・〇〇	
計	一四八、〇〇〇・〇〇	

昭和四年度歳出豫算

種別	金額	記事
經常部 人件費	七六、〇一七・〇〇円	
同 傭人、消耗品、其ノ他	七、三二二・〇〇	
同 耕地整理補助費	七六、〇八一・〇〇	
同 開墾地移住家屋建築補助費	七、五〇〇・〇〇	
同 暗渠排水奬勵補助費	三、〇〇〇・〇〇	
特別會計 農業水利調査費	一三、五〇〇・〇〇	
同 農業水利改良事業費	二二九、五〇〇・〇〇	
同 千波湖埋立事業費	三一、六二〇・〇〇	
計	四四四、五四〇・〇〇	

昭和四年度事業豫定

種別	施行豫定面積	記事
水利調査	二、五〇〇・〇〇町	
開墾調査設計	五〇〇・〇〇	
部分設計調査	一、〇〇〇・〇〇	
設計變更調査	五〇〇・〇〇	
工事監督	一、〇〇〇・〇〇	
事務指導	一、〇〇〇・〇〇	
指導奬勵	一、〇〇〇・〇〇	
確定測量	一、〇〇〇・〇〇	
換地處分指導	一、二〇〇・〇〇	
計	九、七〇〇・〇〇	
農業水利改良事業	二箇所	新利根川沿岸、八間堀沿岸
縣營埋立事業	一箇所	千波湖

職員數

種別	人員	記事
經常部	七〇人	技師三、技手三七、主事一、囑一、主事補四、書記二、技手補一九、雇一、給仕二
特別會計	一五	技師二、技手七、主事補二、技手補四
計	八五	

趨勢 耕地擴張改良ノ事業タルヤ其ノ消長ハ穀價ノ高下竝金融界ノ事情ニ左右セラルル所多ク即チ近時財界不振ノ爲企業竝工事ノ進行捗々シカラス加フルニ穀價ノ暴落ニ依リ事業ノ振興ヲ阻害セラルルヤノ憾アリ又一面ヨリ縣下ノ現況ヲ觀察スルニ從來比較的簡易ニ施行シ得ラルルモノノ多クヲ實施シタル結果ニシテ殘餘ノ耕地擴張改良事業尙甚多キニ拘ラス斯業ノ累進的發展ヲ見サルハ本事業ノ漸ク困難ニシテ複雜化シ來リシニ依ルモノナルヘク是レ獨リ本縣ノミニ止ラス各府縣共通ノ現象ナルヘシ換言スレハ將來ハ耕地ノ改良擴張ノ主事業タル用排水設備ノ更ニ大規模ナル計畫ヲ要スヘシ故ニ今後斯業ノ大發展ヲ期セムニハ先ツ大區域ニ渉リ基本的大規模ナル用排水設備ヲ普及セサルヘカラス即チ本縣內ノ大勢ヨリ見ルニ低位部各河川沿水田ノ改良ハ先以テ農業水利改良事業ノ如キヲ前提トシ高位部臺地ノ開發ニ於テハ國營開墾事業ノ如キ喫緊トスル情勢ナリ要スルニ本縣內ノ耕地改良擴張事業ハ舊來ノ單ニ部分的ニ解決シ得ラレシモノトハ漸次其ノ趣ヲ異ニシ來タリ組織的且廣汎ナル範圍ノ計畫ヲ要スルニ至レリ

以上ハ大局ヨリ見タル趨勢ナルモ縣內東南部ニ介在セル湖沼地ハ尙幾多干拓事業ニ適スルモノアリテ其ノ規模大小種々ナルモ部分的ニ利用開發シ得ラレ將來相當發達ヲ爲シ得ル見込アリ尙既耕地中比較的簡單ニシテ少額ノ費用ヲ以テ改良ノ效果ヲ擧ケ得ヘキ濕田相當ノ面積ニ達シ收穫上竝土地利用上甚遺憾ナルヲ以テ政府ニ於ケル之カ改良施設ニ順應スヘク本年度ヨリ新規ニ暗渠排水奬勵補助費ヲ計上シ一層之カ奬勵ニ當ラムトス

開墾地移住家屋建築奬勵補助豫算ハ從來縣財政ノ都合上其ノ實現ヲ見サリシモ將來益々之カ必要尠カラサルヲ認メ本年度ヨリ新ニ之カ奬勵補助費ヲ計上シ政府ノ奬勵金交付ト相俟テ移住ノ奬勵竝移住者ニ對スル一層ノ便宜ヲ圖ラムトス

將來ニ對スル指導奬勵方針 以上現況竝趨勢ニ述ヘタルカ如キ狀態ナルヲ以テ之ニ對應スヘク將來一層大規模ナル用排水ノ基本事業ノ促進ヲ爲スヘキハ勿論尙局部的ニ改良擴張ヲナシ得ヘキモノハ極力之カ奬勵指導誘掖ニ努ムルト共ニ必要ナル縣施設ヲ怠ラサル方針ナリ由來耕地擴張改良事業ハ本縣々是ナル產業實施要項ノ一ニシテ大正十年來之ニ準據シ著々努力シ來リシ所ナルモ尙今後本縣產業上ノ根本調査ヲ確立スル爲本年度新ニ產業調査會ノ施設ヲ見タルヲ以テ更ニ同調査會ノ調査ヲ待テ縣下耕地ノ擴張改良ノ根本方策ヲ樹テムトス而シテ指導奬勵ノ實際ノ方針ニ關シテハ昭和三年度主任官會議ニ於テ答申セル所ト大體同一ナルモ之ヲ摘錄スレハ左ノ如シ

一、縣下全般ニ渉リ水利改良ニ對スル根本謂査ヲ施行シ之カ實施奬勵ニ努ムルコト

二、政府ニ於テ大規模國營開墾地ノ調査設計促進ヲ請ヒ之カ實施ニ努メ以テ本縣ノ大半ヲナス水利ニ

ニ乏シキ臺地ノ合理的開發ノ計畫ヲ樹テ之カ實行ヲ期スルコト

三、特ニ事業ノ確實ナル遂行ヲ期シ設計、工事監督竝事務指導ヲ一層周到ナラシムルコト

四、事業資金ニ關シ地方竝中央ノ金融機關ニ一層ノ斡旋交渉ヲナシ特ニ金融ノ圓滑ヲ計ルコト

五、本年度ニ於テ近ク耕地協會ヲ設立シ事業者、事業關係者竝事業ヲ企圖セムトスルモノニ對シ事業上技術上ノ應援ヲ爲サシムルト共ニ更ニ之ニ對シ相當土工用器具機械等ノ貸付ヲナシ一層其ノ便宜ヲ圖ラムトスル豫定ナリ

六、事業施行後ノ耕地利用ヲ完カラシムル爲縣農事試驗場、縣、郡農會等ト連絡ヲ保チ耕種肥培品種ノ改良竝農業經營ノ改善等ニ一層留意シ耕地ノ改良擴張ノ實績ヲ擧クルニ努ムルコト

栃木縣

一、耕地擴張事業

現況竝趨勢 本縣ニ於ケル耕地面積ハ昭和四年一月現在ニテ十三萬七千町歩ニシテ總面積ニ對シ僅カニ二割一分ニ過キス平坦ナル山林原野等耕地擴張ノ適地面積尚七萬五千餘町歩ヲ有シ開墾事業ノ前途遼遠タルモノアリ由來本縣ハ水利ノ便惡シク且土質滲透性ニ富ミ多量ノ水量ヲ要スル關係上比較的人口稠密ナル鐵道沿線ニ於テスラ尚山林原野トシテ放置スルモノ多ク那須平原ノ如キ數萬町歩ノ曠野ハ徒ニ荊棘ノ繁茂ニ委シテ來タ開發ノ緒ニツカサルノ現狀ニアリ大正八年以降既往十箇年間ニ於ケル耕地ノ增加ハ八千五百餘町歩ヲ算スト雖其ノ增加率ハ必スシモ長足ノ增進ト云フヲ得ス縣ハ之カ促進ニ關シ相當ノ施設ヲ以テ之ニ荐シ大正八年八月告諭ヲ發シ縣是ヲ定メ漸次諸種ノ施設ヲナシ補助金交付ノ方法ヲ講スル等鋭意勸奬ニ努メ又指導監督上萬全ヲ期シツツアリ

現在開墾助成地區一一七箇所此ノ面積三千三百四十八餘町歩土地改良奬勵規定ニ依リ補助シタル地區數二五七箇所此ノ面積四百十一町歩ニシテ年々增加趨勢ニアルモ大面積ノ開墾事業ハ水利關係複雜ナルト其ノ水源施設ニ多額ノ費用ヲ要スルノミナラス近時米價下落シ農村ノ疲弊困憊ノ極ニ達シ且從來事業資金ノ供給充分ナラサリシ關係上企業ヲ躊躇スル傾向アルモ開墾助成法ノ改正及昨年來ノ潤澤ナル低利資金ノ供給ト相俟テ將來斯業ノ發達見ルヘキモノアリト信ス

二、耕地改良事業

現況竝趨勢 本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ明治三十三年耕地整理法施行以來鋭意之カ奬勵ニ努メタル結果年ト共ニ盛況ニ向ヒ昭和四年一月現在ニ於ケル耕地整理施行地區數六百箇所此ノ面積二萬五千八百餘町歩ヲ算スルモ全耕地面積十三萬七千町歩ニ對比スルトキハ僅カニ一割九分ニ過キス尚將來改良ヲ要スルモノ多々アリ即チ用水不足田八千五百町歩排水不良田一萬二千町歩洪水時一時的浸水ニ依ル被害地七千八百町歩其ノ他耕作道ノ新設變更區畫整理等ヲ必要トスルモノ約一萬町歩ヲ算スル狀態ニシテ一段ノ努力ヲ要スルモノト謂ハサルヘカラス縣ハ之カ指導奬勵ニ關シテハ萬遺漏ナキヲ期シ特種ノ工事ニ對シテハ補助金ヲ交付スル等常ニ意ヲ玆ニ至シタル結果倍々發展ノ趨勢ニアリ由來本縣ハ前述ノ如ク水利ノ便惡シク用水ノ不足ヲ告クルモノ八千五百町歩ニ達シ特ニ最近數年ノ旱魃ハ甚タシキ慘害ヲ與ヘタル結果用水補給ヲ計畫スルモノ漸次多キヲ加ヘ尚大河川ノ沿岸特ニ

縣南地方ニ於ケル每年數回ノ洪水ニ甚シキ脅威ヲ感シ其ノ被害ヨリ脱セントシ排水計畫ヲ樹ツルモノ亦尠ナシトセス然レトモ水利關係複雜ニシテ比較的大ナル施設ヲ要スルモノ及廣汎ナル地域ニ亘ル排水事業ノ如キ近時財界不況農村疲弊ノ影響ヲ受ケ實現甚タ困難ナルモノアリ將來是等大面積ノ改良ニ關シテハ用排水幹線改良事業ノ如キ多額ノ補助金ニ依ルニアラサレハ不可能ナルヲ以テ縣ハ此ノ方面ニ主力ヲ注キ本年度ニ於テハ下都賀郡生井村外三箇村二千二百町步及安蘇郡界村外一町三箇村一千二百町步ノ縣營事業ヲ計畫シ之カ實施セントス

將來ニ對スル指導奬勵ノ方針　將來ニ對スル指導奬勵方針ニ就テハ從來ト變リタルコトナキモ昭和四年度ヨリ新ニ開墾水利調査及指導費ヲ設備シ全縣下ニ於ケル未開發地ノ農業用水及地下水等土地ノ利用開發ニ必要ナル根本的調査ヲナシ大規模開墾縣營用排水幹線改良事業等ノ基本的調査ヲ行フト共ニ小規模又ハ實行比較的容易ナルモノニ對シテハ實施計畫ヲ樹テ町村又ハ事業者ヲ指導誘掖シテ實施セシメ以テ耕地ノ擴張ヲ計ラムトス尙財政ノ許ス限リ諸般ノ設備ニ改善擴張ヲ加ヘ開墾助成法ニ依ル助成ト相俟テ事業者ニ對シテハ懇篤ナル指導監督ヲ行フト共ニ耕地整理特殊工事費ノ補助五町步未滿ノ耕地擴張費補助竝開墾地ノ經營上必要ナル移住家屋建築費補助ヲ增シテ以テ負擔ノ輕減ヲ圖リ其ノ他工事施行後ニ於ケル農事ノ共同耕作農具ノ改良等ヲ奬勵シ耕地ノ擴張改良事業ヲ促進セシムルト同時ニ經營上遺憾ナキヲ期シ以テ斯業ノ發達ヲ期セムトス

群馬縣

現況

一、耕地整理事業

明治三十四年ヨリ昭和四年四月迄ニ認可シタル地區數二百三十三面積一萬四千九百五十二町步ニ及ヒ其内工事完了シタルモノ二百十地區面積一萬一千五百九十一町步換地處分認可濟ノモノ百六十二地區面積六千二百六十六町步事業終了ノモノ八十八地區面積二千百四十三町步ヲ算ス

二、開墾助成事業

大正八年ヨリ昭和四年四月迄ニ出願シタル數三十六地區多クハ耕地整理法ニ依リ事業ヲ施行シ開田百八十五町步開畑七百五十五町步ヲ算ス尙吾妻郡六里ケ原模範開墾ハ目下事業中ナリ

三、用排水幹線改良事業

(一)已ニ事業完了シタルモノ左ノ如シ

長野堰用排水改良事業

面積　千六百五十四町步

事業費　十八萬五千八百十圓餘(決算)

佐波新田用排水改良事業

面積　七百五十四町步

事業費　二十九萬九千二百五十九圓餘(決算)

(二)目下事業中ノモノ左ノ如シ

（待矢場兩堰下流部用水改良事業

面　積　七百五十一町步

事業費　十九萬圓（豫算）

邑樂東部用排水改良事業

面　積　一千六百二十四町步

事業費　八十二萬圓（豫算）

四、農業水利改良補助

農業水利改良ノ爲五百町步未滿ノ地區ニ對シ事業助成ノ爲縣豫算範圍內ニ於テ工事費ノ十分ノ二ノ補助金ヲ交付ス昭和三年度ニ於テ指令交付濟ノモノ六箇所之ニ對スル補助見込額金八千圓トス

五、開墾地移住奬勵補助

大正十年ヨリ昭和四年四月迄ニ開墾地移住家屋ニ對シ奬勵金ヲ交付シタルモノ二萬七百三十圓戶數百六十七ヲ算ス

趨勢　本縣ハ利根川本流貫通シ且其支流幾多アリ水量豐富ナルモ之ヲ灌漑ニ利用スル途充分ナラス縣下ノ大部分ハ用水不足ヲ告ク之ニ反シ東部地方ニ於テハ土地低濕排水不良ノ箇所尠カラスシテ農業水利ノ狀態ハ頗ル不完全ナリトス故ニ之カ改善ハ最モ緊要ニシテ多年ノ宿案タリシカ偶政府ニ於テ用排水幹線改良事業補助ノ途ヲ開カレタルニ依リ之カ事業勃興シタリ即チ前記四事業ノ外ニ目下東毛五郡六千六百五十餘町步ニ灌漑スル所謂大正用水ノ開鑿ト灌漑面積五百五十町步ニ及フ多野郡藤岡町外五箇町村溜池築造トハ計畫中ニ屬ス

尙昭和二年度ニ於テ縣ハ農事水利調査費ヲ設ケ爾來調査ヲ續行シ基本計劃ヲ樹立シツヽアリ亦昭和三年度ニ於テハ農事水利改良補助規程ヲ設ケ前記ノ如ク五百町步未滿ノ地區ニ對シ事業ヲ助成シツヽアルカ用排水幹線改良事業ト相俟チテ今後益々事業進捗ノ氣運ニアリ

開墾事業ハ助成法施行以來成績前記ノ通ナルカ目下大規模開墾トシテ大正用水ニ隨伴スル開田及赤城山北裏開畑ノ計畫アリ何レモ數千町步ニ及フ

尙近時山間部地方ニ於テ事業ヲ企畫スルモノ漸次增加シツヽアルカ平坦地ニ於テモ本縣主要產業タル機業近來機械工業化シタル結果農村勞力ニ過剩ヲ生シタルニ依リ之ヲ利用シ開墾ヲ企畫スルモノ多キヲ加ヘツヽアリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣ハ前記ノ如ク農業水利ノ狀態不完全ナルト山間部多キ爲米產額ハ年々縣內需要ニ對シ約三十萬石ノ不足ヲ生シツヽアリ而シテ米ノ自給自足ヲ圖ルニハ先ツ農業水利ノ改善ト開墾ヲ奬勵スルヲ最モ肝要トス故ニ將來ノ方針トシテハ用排水幹線改良事業及其ノ他農業水利改良事業ノ促進ヲ一層圖ルト共ニ開墾事業ノ助成ニ特ニ努メムトスルモノナリ

埼玉縣

現況竝趨勢

一、耕地改良事業

一(一) 用排水幹線改良事業

本縣ハ沃野千里ノ地ナリト雖モ用排水幹線ノ組織系統頗ル不完備ニシテ河狀ハ荒廢シ灌排共ニ被害多ク殊ニ上流下流ニ於ケル利益ノ撞着ニ苦シム等ハ毎歲甚大ナルモノアリ曩ニ政府ハ直轄工事トシテ利根川、荒川、江戸川、中川ノ四大河川改修ニ着手セラルニ及ヒ本縣亦各區主要ノ用排水ノ改良計畫ヲ樹立シ首尾一貫セル計畫ノ下ニ利ヲ興シ害ヲ除キ漸次治水墾田ノ完備ヲ圖ルト共ニ産業ヲ振興シ以テ國力ノ充實ニ資スル所アラムトス而シテ之カ改良計畫ノ要旨ハ高水時以外平水時ニ於ケル滿水ノ被害ヲ除去スルコト用水ト惡水トノ組織系統ヲ區分整正セシメ水利ノ紛擾ト上流下流ニ於ケル利益ノ撞着ヲ防止スルコト竝排水ヲ阻害スル各種ノ構作物ハ撤却若ハ改造ヲ圖リ上下流ノ利害相反スルコトナキヲ期スルモノニシテ之カ改良事業完成ノ曉ニハ積年ノ禍害其ノ跡ヲ絕チ縣民福利ノ增進亦尠カラスト信ス今其ノ事業名事業費及年度割ヲ列擧スレハ左ノ如シ

用排水幹線改良事業	事業費總額	年度割
大落古利根川筋用排水改良事業	二、〇〇〇、三四七円	自大正八年度至昭和五年度 十二箇年
元荒川筋同上	四、六五六、二五三	自大正八年度至昭和六年度 十三箇年
芝川筋同上	七八二、三五二	自大正十年度至昭和四年度 九箇年
福川筋同上	一、七二一、六一九	自大正十年度至昭和五年度 十箇年
新方領堀同上	六五五、〇〇〇	自大正十五年度至昭和五年度 五箇年
大場川筋同上	五三三、七〇〇	自大正十四年度至昭和四年度 五箇年
羽生領同上	一、六〇〇、〇〇〇	自昭和三年度至昭和十年度 八箇年
大里同上	一、四四〇、〇〇〇	自昭和二年度至昭和九年度 八箇年
兒玉同上	七五〇、〇〇〇	自昭和三年度至昭和七年度 五箇年
入間北部第一同上	三〇〇、〇〇〇	自昭和四年度至昭和七年度 四箇年
計	一四、四三九、二七一	

右表ニ示スカ如ク用排水幹線改良事業箇所數一〇箇所事業費總額實ニ千四百五十萬圓ノ巨額ニ達シ年々ノ事業費支出額約二百萬圓ヲ突破スル狀況ニシテ(昭和四年度支出額百八十萬圓昭和五年度支出額二百十萬圓等)縣歲出經常、臨時部合計額ノ約五分ノ一ニ相當スルノ現況ニアリ而シテ之カ財政計畫トシテハ國庫ノ補助金、縣費竝關係水利組合又ハ地元區村ノ負擔金又ハ寄附金ヲ以テ充當スル計畫ニシテ目下各事業共着々事業進捗中ニ屬ス

以上ノ如ク本縣ニ於テハ用排水幹線改良事業頗ル進捗セルノ現況ニアルモ尚農業水利ノ改良ヲ要スヘキモノ三百町歩以上ノ地區數三〇箇所面積十二萬二千町歩(內排水ヲ主トスルモノ一八地區面積六四、〇〇〇町歩、用水ヲ主トスルモノ地區數二箇所面積五、〇〇〇町歩、用排水關係ノモノ一〇地區面積五二、〇〇〇町歩)ヲ算シ且ツ關係水利組合竝地元町村ニ於ケル事業實施ノ希望極メテ

熱烈ニシテ之カ實現ノ一日モ速ナラムコトヲ希望スルヲ以テ本事業ノ前途洵ニ遼遠ノ狀況ニアリ

二、耕地整理事業

(一) 耕地整理事業概況

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十四年其ノ端ヲ發シ爾來逐年其ノ發展ヲ見ルニ至レリ近時本事業ノ有利ナルヲ自覺シ之カ實施ヲ希望スルモノ尠カラサルハ農村振興上甚タ欣フヘキ現象ナリトス今其ノ一班ヲ擧クレハ昭和三年十二月末日ニ於ケル耕地整理施行及耕地整理組合設立ノ認可ヲ與ヘタル總面積二萬四千九百十九町歩餘工事ノ完了セル總面積一萬九千八百六町歩餘換地處分認可濟ノ總面積一萬八千四百五十九町歩餘事業終了シタル總面積一萬二千八百五十九町歩ニ達セリ而シテ工事完了後ノ事務整理ニ付テハ常ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ指導監督ヲ加ヘツツアリ

(二) 耕地整理事業ニ對スル縣ノ施設

耕地整理竝土地改良事業ノ勸奬ヲナサム爲昭和四年度ニ於テ縣ニ施設セル大要竝施行豫定ノ概要左ノ如シ

施行豫定

區別	地區名	面積	摘要
基本調査	大落古利根川支派川外五箇用排水路	町 三一、三一五	内三箇所昭和四年度新規施行
實施調査	大里郡岡部村地區外一八箇地區	一、二四六	
土地改良調査	荒川右岸農業水利調査	一、九三九	
旱害地救濟調査	大里郡御正村外三箇所	一、〇〇〇	

設備豫定

區別	金額	摘要
耕地整理調査、工事監督、事務指導ニ關スル費用	円 一二七、四〇〇	
耕地整理補助	二二、〇〇〇	
耕地協會補助	一、〇〇〇	

(三) 耕地整理事業ノ趨勢

前述ノ如ク本縣ニ於ケル耕地整理施行認可面積ハ二萬四千九百町歩ヲ算スルモ尚平時排水不良ナルモノ四萬六千町歩一時浸水ノ被害ヲ受クルモノ二萬一千町歩ニ達シ用排水幹線改良事業ノ完成ト共ニ益々勃興ノ氣運ニ向ヒ殊ニ地方改良計畫又ハ農村計畫ヲ加味シタル耕地整理事業モ漸ク擡頭シ近クハ入間郡北部ニ於テ大規模ノ地方改良的耕地整理事業ヲ計畫セルカ如キ趨勢ニアリ

(四) 水利組合事業

本縣ニ於ケル水利組合ノ數ハ百六十七組合ニシテ其ノ內關係面積數千町歩以上ニシテ十數箇町村

ニ亘ルモノ即チ見沼代用水路普通水利組合外一九組合ハ大正十五年郡役所廢止以來縣管理トナシ地方課ニ於テ管理ヲナシツツアリシカ耕地改良竝農業水利ノ改良事業上洵ニ不便不利ヲ減スルノ狀況ナリシナリ而シテ一面之等ノ水利組合ハ縣營事業タル用排水幹線改良事業ト極メテ密接ナル關係ヲ有シ縣營事業施行上ヨリ見ルモ又農業水利事務ノ統一上ヨリ見ルモ縣耕地課ニ於テ主管スルハ最モ機宜ニ適シタル事項ナルヲ以テ昭和四年度ニ於テハ農林主事二名ヲ設置シテ之等ノ水利組合ヲ管理シ從テ水利組合ニ依リ施行セラルル農業水利改良事業ハ全部耕地課ニ統一管理指導ヲナスコトトナレリ

二、耕地擴張事業

縣ハ政府ノ施政方針ニ策應シ產業立國ノ具體化ヲ圖ル目的ヲ以テ縣下開墾見込地約三萬町步ノ開墾ヲ助成シ大ニ耕地ノ擴張ヲ期スル方針ヲ以テ本年度ニ於テハ縣財政ノ許ス限リ此方面ニ最モ力ヲ注キ發展振興ヲ圖ル爲左記計畫ヲ樹立セリ

(一) 開墾課ノ新設

從來開墾事業ノ助成事務ハ耕地課ノ分掌事項ニシテ之カ配置ノ職員頗ル少ク奬勵上洵ニ遺憾ノ點多カリシカ客年七月二十三日廳中處務細則ヲ改正シ新ニ開墾課ヲ新設シ事務ノ分掌等規定セラレ將來技術竝事務上出來ル限リ奬勵助長ニ努ムルコトトナレリ

(二) 開墾機械ノ購入及操縱技術員ノ設置

工事費ノ低減ト工事ノ合理化ヲ計リ開墾事業ノ促進ヲ圖ル爲縣ニ農用牽曳機、圓板犂、圓板耙耮大型耕耘機各一臺及拔根機十臺ヲ購入シ且之カ操縱技術員ヲ設置スルコトトセリ由來開墾事業ハ極メテ至難ノ事業ニシテ殊ニ土地ノ狀況ニヨリ人力ヲ以テシテハ容易ニ開墾シ難キ所尠ナカラサルヲ以テ縣ハ開墾當事者ニ對シ此等ノ機械ヲ無償貸與シ益々機械力ヲ利用セシメ完全ナル工事ヲ施行シ事業効果ノ達成ヲ期スル爲之カ費用二萬餘圓ヲ計上スルコトトセリ

(三) 開墾機械管理所ノ設置

縣廳敷地內ニ埼玉縣開墾機械管理所ヲ設置シ機械類石油等ノ各格納庫、修繕工場其ノ他ノ附屬建物ヲ建設シテ格納、修繕、陳列等ヲナスコトトセルカ開墾課ノ新設及機械管理所ノ新設ハ全國中他ニ例ヲ見サル斯界ノ一新機軸ト思考セラル

(四) 開墾地移住奬勵補助

開墾地ノ移住ヲ奬勵シ之カ經營ヲ容易ナラシメ本事業ノ効果ヲ永遠ニ收ムル目的ヲ以テ開墾地移住家屋建築費ニ對シ一戶當金三百圓以內ヲ補助スル見込ヲ以テ昭和四年度ニ於テハ四十戶分金一萬二千圓ノ豫算ヲ計上セリ

(五) 開墾桑園補助

未墾地ヲ開墾シ桑園ヲ仕立ツル者ノ爲ニ之カ桑樹植付費トシテ一反步ニ付二十四圓ヲ三箇年間ニ分割補加スルコトトシ昭和四年度ニ於テハ金四萬圓ノ豫算ヲ計上スルコトトセリ

(六) 講習講話及實演會ノ開催

開墾事業奬勵ノ目的ヲ以テ講習講話會竝機械開墾ノ實演會ヲ開催スル爲相當豫算ヲ計上セリ

（七）耕地擴張事業ノ趨勢

以上各項ニ依リ極力奬勵助長ニ努ムルコトトナリタル結果從來各種ノ事情ニ依リ遲々トシテ進マサリシ本縣開墾事業モ近時漸ク勃興ノ氣運トナレリ

開墾助成出願見込面積

（一）昭和四年度ニ於テ出願見込ノモノ

（イ）既ニ願書ヲ本省ニ進達シタルモノ

地區名	開田面積	開畑面積	計
大里郡深谷耕地整理組合外八組合	三二町	二〇八町	二四〇町

（ロ）今後出願セムトスルモノ

地區名	開田面積	開畑面積	計
秩父郡原谷村外一四組合	八九町	二二四町	六一三町

（二）昭和五年度ニ於テ出願見込ノモノ

地區名	開田面積	開畑面積	計
大里郡榛澤村外一九地區	二六五町	八〇〇町	一、〇六五町

移住奬勵金國庫申請見込戸數

移住家屋　五〇戸

共同建造物　五棟

右表ニ示スカ如ク開墾助成出願地區續出ノ狀況ニシテ本縣開墾事業ノ面目ヲ一新スルコトトナレリ

將來ニ對スル指導奬勵方針

一、用排水幹線改良事業ニ關シテハ縣財政ノ許ス限リ實施シ以テ耕地改良ノ根本的解決ヲナサムトス

二、耕地整理事業ニ關シテハ基本調査、土地改良調査、旱害地救濟調査等繼續調査施行ノモノニアリテハ引續キ調査ヲナスハ勿論出來得ル限リ新規地區ノ調査ヲ實施セムトス

三、耕地整理工事費補助ニ付テハ縣經濟ヲ考察シ出來ル限リ增額ヲナシ且特殊工事ニ對シテハ一層補助率ヲ增加セムトス

四、耕地整理工事完了後ノ事務ニ關シテハ縣耕地協會ヲ督勵シ一層之カ指導ヲ加ヘ以テ事業ニ依リ得タル利益ヲ減損セサル樣努メムトス

五、水利組合ノ管理ニ關シテハ組合ノ狀況ニ鑑ミ一層適切ニ之ヲ管理シ且組合ニ於テ施行スル事業ニ對テモ相當助成ノ途ヲ講セムトス

六、開墾用機械ニ關シテハ縣財政ノ許ス限リ一層機械ノ增加ヲ計リ尙將來ハ特ニ農業土木用諸機械ノ設置ヲナスト共ニ開墾機械管理所ノ充實ヲナサムトス

七、開墾事業奬勵ノ爲開墾機械實演會ノ開催ヲナシ事業ノ普及徹底ヲ期セムトス
八、開墾地ノ經營ニ關シテハ自作農創設施設ニ依リナルヘク自作農タラシメムトス

千葉縣

現況竝趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ耕地整理創始以來順調ニ普及發達シ昭和四年四月現在ニ於ケル耕地整理施行地區ノ狀況左ノ如シ

	地區數	面積
工事中	一九七	町 二二、七七九・二三一二
工事完了	三八	一、八二四・〇四〇〇
換地交付處分濟	七七	七、六五五・五五二四
事業終了	二八	二、二〇〇・七六二〇
計	三四〇	三四、四五九・五九二六

本縣ノ地勢タル南房總ヲ除クノ外ハ概ネ土地平坦ニシテ用水及排水共ニ不良ニシテ水田十萬五千餘町歩中惡水停滯地水田六萬二千四百餘町歩、用水不足地水田二萬四千餘町歩ニ達シ其ノ生産力極メテ少ナク惡水地帶ニ在リテハ反當僅ニ一石五斗三升、用水不足地帶ニ於テ一石七斗三升ニ過キス斯ノ如キ狀態ナルニ鑑ミ耕地五百町歩以上ヲ支配スル地域ニ對シテハ大正十二年度ヨリ用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ用排水改良事業ヲ縣營ニ依リ根本的改善ヲ期スヘク既ニ縣下十大河川沿岸用排水幹線改良事業（關係面積一萬四千百八十四町歩事業費四百七十六萬圓）及用水源竝用水幹線改良事業地區二箇所（關係面積三千三百六十五町歩事業費百二十九萬八千圓）ヲ繼續事業トシテ縣會ノ議決ヲ經目下七地區ノ當排水改良事業ハ政府ノ補助ヲ受ケ實施中ニ屬シ其ノ他ハ着々實施ノ準備中ニアリ而シテ小地域ニ對スル耕地擴張改良就中用水不足地帶ニ在リテハ用水源設備ノ改良ヲ目的トシテ組合ノ設立ヲ見ルノ狀態ニシテ縣亦特ニ工費ノ四分ノ一以内ノ補助金ヲ增加交付シ之カ改善ヲ期シツツアリ

開墾事業ニ在リテハ其ノ見込地六萬三千八百餘町歩ヲ算スト雖モ開田ニ屬スル適地ハ概ネ干拓或ハ埋立ニ依ルヘキ大規模開墾ニシテ一般的組合事業トシテ企畫經營容易ナラス未タ其ノ事業企畫ヲ見サルハ頗ル遺憾トスル所タリ

其ノ他小規模ノ開墾事業モ米價下落ノ影響ヲ蒙リ事業ノ進展ヲ見サルト雖モ開墾助成法ノ改正ニ依リ將來開墾事業ノ企畫漸增スヘキモノト認ム

又小規模ノ排水事業タル暗渠排水事業ハ縣下ヲ通シ一萬町歩以上ノ適地ヲ算スルニ依リ技術員ヲ配置シ技術的指導監督ヲ勵行セル外工事費補助ノ途ヲ設ケ斯業ノ普及ヲ圖リツツアリト雖モ當業者ノ負擔甚タ過重ナルヲ以テ事業容易ニ進マサル恨ミナシトセス幸政府ニ於テハ斯業發達ノ爲新規計畫ヲ確立セラレタルニ依リ之ニ順應シ將來斯業ノ實施ニ努メントス

將來ニ對スル指導奬勵方針 農業水利改良計畫トシテハ海上、香取、匝瑳三郡ニ跨ル利根川導水計畫關係面積一萬町歩ハ目下農林省ノ調査中ニ屬スルヲ以テ其ノ調査充了ヲ俟テ奬勵ニカムヘク其ノ他五

百町歩以上ニ屬スル一萬町歩ニ對シテハ目下夫々調査中ニ屬スルヲ以テ順次用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ縣營農業水利改良事業ノ實施ヲ期セントス而耕地五百町歩以下ノ耕地改良事業ニ對シテハ惡水停滯地帶ニ在リテハ用排水幹線改良事業ノ完成ニ伴ヒ支派線用排水路ノ改良ト相俟テ耕地ノ改良ヲ計ルヘク用水不足地帶ニ對シテハ水源ノ設備改善ヲ主眼トシ耕地ノ利用增進ヲ期スル計畫ヲ樹立シ事業ノ實行ニ關シテハ指導監督ヲ勵行スルト共ニ事業費ノ負擔輕減ヲ圖リ事業完了地區ニ對シテハ完了事務ノ促進ヲ期シ益々事業ノ經營ヲシテ容易ナラシムル方針ヲ採リ指導奬勵ニ努メントス

東京府

現況、趨勢竝將來ニ對スル指導奬勵方針

一、耕地ノ擴張

本府ニ於ケル五町歩以上ノ開墾助成地區ハ九箇所耕地擴張面積三百二十町九反歩ニシテ既ニ工事完了シタルモノ六箇所面積二百四十一町八反歩尙工事中ニ屬スルモノ三箇所面積七十九町一反歩ナリ然シテ內一箇所ハ荏原郡內ニ於テ震災復舊事業トシテ施行シ他ノ八箇所ハ小笠原島及伊豆大島ニ於テ開畑ヲ目的トシテ施行セルモノニシテ他ノ郡部ニアリテハ五町歩以上集團地ノ耕地擴張ヲ行フ機運ニ到達セス之カ主タル原因ハ山林原野ノ集團地カ比較的資產家ノ所有ニ屬シ開墾ヲ行フモ自作農業經營困難ニシテ小作經營ニ依ルノ外ナキ狀態ニアリ從テ今日ノ如ク小作料低廉ニテハ收支相償ハサルモノトシテ企業ヲ躊躇スル趨勢ニアリ然レトモ小規模ノ個人開墾ニ至リテハ特ニ奬勵ヲ加ヘサルモ年々相當ノ面積ニ達シツツアリ

二、耕地ノ改良

本府ニ於ケル耕地改良事業ハ主トシテ道水路變更及區劃ノ改良ヲ目的トセリ然シテ地區ハ殆ント東京市ノ中心トスル隣接町村ニ亘リ現在耕地整理施行又ハ組合設立ヲ認可シタルモノ百三十一地區面九町歩ニシテ內既ニ事業完了若ハ組合解散ヲナシタルモノ二十九地區面積七百七町歩、換地處分ヲ行ヒ未タ事業終了若ハ組合解散ニ至ラサルモノ二十八地區面積七百六十七町歩、目下工事中ニ屬スルモノ三十五地區面積二千五百六十町歩ナリ然ルニ郊外發展ノ影響ト都市計畫道路ノ實施ニ伴ヒ耕地整理工事施行後數年ニシテ住宅地化シツツアリ之全ク市街ノ膨脹ト交通機關ノ發達ニ基ク現下ノ趨勢ナルモ耕地整理事業トシテ遺憾トスル所ナリ故ニ將來ハ此點ニ留意シ數年ナラスシテ市街地又ハ住宅地トナルヘキ見込地ハ可成之ヲ都市計畫法ニ依ル區劃整理事業ニ據ラシメ農耕地トシテ改良ヲ要スル地域ニ向テ指導奬勵ニ努メムトス

神奈川縣

現況竝趨勢　本縣耕地事業ハ關東大震災以來過去五箇年ニ亘リ震災ニ因リ荒廢シタル耕地ノ復舊ヲ目的トスル耕地整理事業ヲ主眼トシ之カ施行面積一萬數千町歩ニ亘リ尙今後幾分震災復舊ヲ要スルモノアルモ大體ニ於テ一段落ヲ告ントス而シテ本縣耕地事業ノ發達ハ震災耕地ノ復舊ニ起因シ之カ刺戟ハ單ニ復舊ニ止ラス進ンテ一般耕地ノ改良擴張ヲナサントスル氣運ヲ釀成シタルモノノ如シ依テ縣ハ此ノ機ニ乘シテ一層之カ氣運ヲ助長シ今後ハ震災復舊以外ノ耕地事業ヲ奬勵シ特ニ用排水幹線改良事業

ノ施行及開墾事業ニ力ヲ盡サントス尚本縣ノ事業ハ最近五箇年間ニ一萬三千町步ノ組合設立ヲ見比較的短期間ニ起リ工事モ亦急速ニ施行セラレタルヲ以テ工事施行ノ分量ニ比シ工事後ノ事務ハ著シク堆積セル現狀ニシテ差當リ殘務整理ヲ必要トスルモノ三千町步ヲ有ス目下主トシテ縣耕地協會ニ委託整理中ナルモ今後一層ノ努力ヲ要ス

組合設立施行認可地區數面積及事業費

地區數	面積	事業費
二八一	一九、九一六町	一四、四八九、〇〇〇円

工事完了換地處分認可濟事業終了地區及面積

種別	地區數	面積
工事完了	一三九	七、二三〇町
換地處分	八八	四、二七一
認可濟事業終了	一六	、五八九

耕地擴張事業

開墾助成出願

地區	數	開田面積	開畑面積	合計	事業費	摘要
普通助成地區	一三	一一〇町	八二町	一九二町	六〇五、五四九円	內指令濟 一二 內事業終了 六
震災助成地區	九四	三、三二一	二、六六五	五、九八六	六、八〇一、一七一	外ニ一地區震災ニ因リ書類燒失不明（事實ニ於テ事業廢止）
計	一〇七	三、四三一	二、七四七	六、一七八	七、四〇六、七二〇	

移住奬勵金交付

地區	數	面積	戶數	奬勵金	摘要
普通助成地區	四	一〇八町	三〇戶	五、八〇〇円	奬勵金ハ震災前二戶ニ對シ二〇〇圓交付其他ハ全部一戶當二〇〇圓
震災助成地區	一九	一、五三二	一九六	三九、二〇〇	
計	二三	一、六四〇	二二六	四五、〇〇〇	

將來ニ對スル指導奬勵方針

一、企業奬勵ニ關スルモノ

（一）水利不完全ナル大集團地ニ對シテハ其ノ水利根幹ノ改良ハ之ヲ縣營トシ縣營ヲ以テ施行シ能ハサル事情アルモノニ對シテハ適宜ノ方法ニ依リ之カ促進ヲ圖ルコト

（二）縣下ヲ統一シテ灌漑排水ニ關スル調査ヲ行フコト

二、事業資金ニ關スルモノ

特種ノ耕地整理組合ヲシテ債券ヲ發行セシムルコト

三、工事後ノ事務整理ニ關スルモノ

（一）工事後ノ事務ヲ指導スルタメ縣ニ事務員ヲ增置スルコト

（二）工事後ノ事務ヲ委託處理スルタメ縣耕地協會ニ職員ヲ增置セシムルコト

四、開墾事業ニ關スルモノ

（一）開墾ニ關スル水利調査ヲ行フコト

（二）相模原國營開墾ノ實現ニ向テ努力スルコト

（三）耕地擴張ニ關スル縣補助金ヲ增加スルコト

新潟縣

現況、趨勢竝將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣耕地ノ擴張及改良見込地ハ耕地ノ擴張ヲ要スルモノ六萬九千百餘町歩（地目變換ニ依ル開田ヲ含ム）耕地ノ改良ヲ要スルモノ十九萬六千九百餘町歩、合計二十六萬六千餘町歩ニシテ內耕地整理法ニ依リ耕地整理組合設立又ハ施行認可ヲ受ケタルモノ本年三月末現在ニ於テ五百二十九箇所面積五萬三千七百餘町歩ニシテ開墾助成法ニ基キ助成金ノ交付ヲ出願シタルモノ八十二箇所面積二千九百餘町歩ナリトス

既ニ測量設計ヲ終リ耕地整理組合設立認可申請手續中ノ重ナル地區ハ西蒲原郡味方村ノ千百餘町歩、中蒲原郡五泉町ノ八百餘町歩、中頸城郡旭村ノ五百町歩「三島郡深才村ノ六百餘町歩ニシテ右ハ何レモ既耕地ヲ改良スルモノ其ノ他南魚沼郡六日町外二箇村ノ七百餘町歩ハ畑ヲ開田スルモノナリトス尚目下測量設計出願中ノモノハ四十二箇所、面積三千三百餘町歩ニシテ其ノ內耕地ノ改良ヲ目的トスルモノ大部分ヲ占メ耕地ノ擴張ヲ行ハントスルモノハ比較的稀ナリトス蓋シ耕地ノ改良事業ハ經費ノ負擔比較的輕少ニシテ而カモ其ノ利益多大ナルニ反シ開墾、開田事業ハ米價ニ比シ勞働賃金及諸物價ハ低落セサル爲多額ノ資金ヲ要スル割合ニ收益之ニ伴ハサルモノアルヲ以テ其ノ進捗ヲ妨ケラルル傾向アリ而シテ政府所定ノ用排水改良補助事業ハ既ニ工事ヲ完了シタルモノ一箇所受益面積五千三百餘町歩ニシテ效果極メテ顯著ナリ又目下工事中ノモノハ三箇所受益面積一萬三百餘町歩ニシテ何レモ順調ニ事業ヲ進行シツツアルノミナラス各全區域ニ亘リ耕地整理組合ヲ設立シ本事業有終ノ效果ヲ收ムヘク內部ノ區劃整理ヲ實施スルモノニシテ中之島村耕地整理組合ノ三千町歩ハ既ニ排水支線ノ工事ニ着手シ白根郷耕地整理組合ノ六千町歩ハ第一期工事トシテ幹線道路ノ新設ト其ノ附帶工事ノ爲經費總額二十九萬餘圓ヲ計上シ山東郷耕地整理組合聯合會二千町歩ノ區域ニ於テモ亦先ツ以テ用水支線ノ開鑿ヲ爲スヘク調査計畫中ニ屬ス然レトモ縣下ニ於ケル用水不足又ハ排水不良ノ爲根本的ニ之カ改良ヲ要スル耕地ハ八萬二千町歩ニ達シ又水利組合其ノ他ノ團體或ハ個人ノ經營ニ係ル農業用揚水機ハ昭和二年ノ調査ニ依レハ設置箇所二百二十五箇所其ノ關係面積三萬餘町歩ノ運轉ニ要スル動力九千馬力ニシテ其ノ成績ノ如何ハ耕地ノ生産ニ影響スルコト頗ル重大ナルニ拘ラス多クハ永年使用ノ爲腐朽シ充分能力ヲ發揮スルコト能ハサルモノ或ハ河川改修等ノ結果改廢整理統一ヲ要スルモノ又ハ動力ヲ電化シ經常費ノ節約ヲ圖ルカ如キ改善ヲ要スルモノ尠カラス

以上ノ如キ狀況ナルヲ以テ將來ニ於テモ大體尙現在ノ指導奬勵方針ヲ踏襲シ企業者ニ對シ測量設計ヲ補助シ工事及事務ノ指導監督ヲ行ヒ特種工事費竝移住家屋及共同建造物ノ建築費ニ對シ補助金ヲ交付シ耕地整理完了事務ノ助成、用排水改良事業ノ縣營等政府ノ施設ト相俟テ斯業ノ指導奬勵ニ努メ以テ縣下農業者ノ福利增進ヲ期セムトス

富山縣

現況竝趨勢

一、耕地ノ擴張

本縣ニ於ケル耕地擴張豫定面積ハ一萬一千九百三十二町歩ニシテ内五町歩以上集團セルモノハ三百十一箇所五千九百八十二町七反歩ニ上リ大正八年六月開墾助成法實施以來助成ノ出願ヲナシタルモノ六十五地區一千二百四十一町歩ニシテ既ニ開墾竣成シタルモノ開田六百五十六町六反歩開畑五十五町八反歩計七百十二町四反歩ニ達シ其ノ他ハ着々事業ノ進捗中ニアリ斯クテ之カ利用增進上開墾地移住奬勵ノ必要ヲ認メ大正拾年二月縣令第七號ヲ以テ開墾地移住奬勵規程ヲ制定シ移住家屋ノ建設ヲ奬勵シ既ニ奬勵金ノ交付ヲ得テ家屋ノ建築ヲナシ移住シタル者七十八戶ニ上リ尙今後開墾事業ノ增進ト共ニ本規程ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ得テ其ノ利用圖ラムトスルモノ益々多キヲ加フル趨勢ニアリ

二、耕地整理

本縣耕地整理見込地面積ハ七萬五千四百五十七町一反歩ニシテ既ニ耕地整理ノ施行ノ認可ヲ得タルモノ四百四十六地區一萬八千八百六十六町歩（昭和四年三月末日現在）ニシテ内工事ノ完了シタルモノ百三十一地區三千五百八十七町歩換地處分濟百〇九地區三千二百町歩事業ノ終了シタルモノ六十二地區千六百七十六町歩ニ上レリ

而シテ之カ奬勵ニ關シテハ明治四十三年九月縣令第五十一號耕地整理奬勵規程ニ依リ測量設計ノ補助、事務ノ指導、工事ノ指導監督、補助金ノ交付等ヲ行ヒ着々其ノ勵行ニ努メツツアリ

三、旱害地耕地整理

大正十五年ノ旱魃ニヨリテ旱害ヲ蒙リタルモノ一萬一千四百十六町四反歩ニ上リ之カ救濟ノ緊要ナルヲ認メ特ニ旱害地耕地整理事業費補助規程ヲ制定シ溜池ノ築造修理ヲ促シ灌漑設備ノ新設改良ヲ策シタル處之ニヨリテ水路改良二四、溜池ノ新設及改良三五五、堰新設改築五、揚水機新設六、水閘新設改築六、横井戸堀鑿四ノ改善ヲ見ルコトトナリ既ニ竣成シテ其ノ惠澤ニ浴セルモノ些カラス未竣工ノモノト雖モ昭和四年度中ニハ全部ノ工事ヲ完了スヘキ豫定ナリ

四、用排水改良

本縣灌漑田面積八萬四百二十八町歩（免租年期地ヲ除ク）ノ内用排水不足ナルモノ一萬七百六十九町歩アリ又平時ニ於テ排水不良ナルモノ一萬二百三十八町歩洪水時ニ浸水被害アルモノ一萬一千八百五十六町歩計二萬二千餘町歩ノ排水不良地アリ之カ改良ハ現下ノ急務ニ屬シ大正七年以來射水平野ノ排水事業及庄川沿岸用水ノ合口事業ニツキテ鋭意調査ヲ遂ケタルモ工費巨大ニシテ負擔ノ方法

ニツキ苦慮中ノ處大正十二年度ヨリハ政府ハ五百町歩以上ノ用排水改良事業ヲ縣營ニテ施行スル場合其ノ事業費ノ半額ヲ補助スル途ヲ啓カレタルヲ以テ好機逸スヘカラストナシ以上二大用排水改良事業ト共ニ廣田用排水補給水路開鑿事業ニ對シ農商務省ニ半額補助ノ申請ヲナシタルニ廣田用水補給水路堀鑿事業ノミ補助ノ承認ヲ受ケタルモ他ハ豫算ノ關係上採擇成ラサリキ而シテ右水路開鑿事業ハ大正十二三兩年度繼續事業トシテ經費二十五萬七千圓ノ豫算ヲ得テ上新川郡大廣田村外七箇村灌漑反別千四百町歩ニ對シ補給水路開鑿ヲ決行セリ之全國ニ於ケル政府ノ用排水改良補助事業ノ嚆矢ナリトス本事業ハ上新川郡蜷川村赤田地内ヲ流下スル土川ヨリ平時毎秒百立方尺（最大百四十立方尺）ヲ取入レ延長實ニ三千八百五十間ニシテ新庄町荒川ニ至リ廣田用水ニ注入ス斯クテ大正十三年春略々竣功シ五月二十五日始メテ通水スルニ至レリ然ルニ同年ハ稀有ノ大旱魃ナリシモ全ク被害ヲ免レ同年産米增收一萬二千三百四十石ニ達シ一箇年ニシテ事業費總額ヲ償却シテ尙餘アル狀況ニテ其ノ效果寔ニ偉大ナルモノアリ本縣下用排水改良事業ノ勃興ヲ致スノ端ヲナセリ

射水郡庄東耕地理區域ノ排水事業ニ對シテハ大正十五年度ニ至リ事業費百三十五萬圓ニ對シ半額補助金交付ノ指令ヲ得テ今ヤ事業頗ル進捗ノ域ニ達セリ又庄川用水合口事業費二百九十六萬圓及黑部川用水合口事業費百五十萬圓ニ對シテハ昭和二年度ニ於テ佛生寺川沿岸排水事業費五十萬圓鍛治川沿岸排水事業費六十萬圓ニ對シテハ昭和三年度ニ於テ各國庫補助金交付ノ承認ヲ得テ目下夫々縣營事業トシテ施行ノ準備中ニアリ

此ノ他小矢部川用水補給事業及神通川用水合口事業ハ昭和四年度ニ於テ國庫補助ノ承認ヲ得ヘク手續中ニアリ其ノ他縣内大小用排水路ノ改良ヲ要スヘキモノニツキテハ目下調査計畫中ニ屬ス

五、昭和四年度耕地關係豫算

縣職員費	九九、七一七圓（内旱害地繰越八、七五六圓ヲ含ム）
耕地整理補助費	二〇、〇〇〇
旱害地耕地整理補助費	四九、九五〇（内前年度ヨリ繰越三五、〇〇〇圓ヲ含ム）
開墾地移住家屋建設奬勵費	二、〇〇〇
下條川沿岸排水事業費本年度支出額	二五〇、〇〇〇
庄川用水合口事業費本年度支出額	六一〇、〇〇〇
黑部川用水合口事業費本年度支出額	二五〇、〇〇〇
佛生寺川沿岸排水事業費本年度支出額	一二〇、〇〇〇
鍛治川沿岸排水事業費本年度支出額	八〇、〇〇〇
小矢部川用水合口事業費本年度支出額	三〇、〇〇〇
合計	一、五一一、六六七

六、耕地關係職員　四年四月一日現在

	耕地整理	用排水改良	計
農林主事	一	—	一
農林技師	三	四	七

屬	一	|	一
農林主事補	五	五	一〇
農林技手	二六	九	三五
耕地整理技手補	二五	一〇	三五
耕地整理助手	七	七	一四
計	六八	三五	一〇三

將來ニ對スル指導奬勵方針

農閑ノ時期等ヲ利用シテ整理見込地ニ於テ講話會、協議會等ヲ開催セシメ吏員ヲ派遣シテ説明奬勵ヲ行ヒ施行セントスルモノニ對シテハ測量設計ノ助成竝事務ノ指導ヲナシ且工事施行ニ際シテハ工事ノ指導監督ハ勿論拔根機、輕便鐵軌ノ貸與ニヨリテ事業費ノ輕減ニ資シ尙補助金ノ交付ニヨリテ事業ノ經營ヲ容易ナラシメントス

又開墾ニ關シテハ前記ノ奬勵ノ他五町歩以上集團ノモノニ對シテハ開墾助成法ノ特典ニ浴セシメ其事業ヲ容易ナラシムル樣指導ヲ加ヘ尙開墾地ノ利用ヲ完カラシメムカ爲奬勵金ヲ交付シテ開墾地移住家屋ノ建設ヲ奬勵セムトス

次ニ用排水ノ改良ニ關シテハ其ノ急ヲ要スルモノヨリ漸次調査ヲ進メ計畫ヲ樹テ國庫補助金ノ交付ヲ受ケ地元納金ヲ徵シ縣費ヲ加ヘテ縣營事業トシテ施行シ地方農村ノ振興ニ資セムトス

尙耕地整理完了事務ニ就テハ從來施行者ヲシテナサシメツツアルモ事務頗ル複雜ナル爲遲々トシテ其ノ終了ヲ見ルニ至ラス大正十年耕地協會ヲ組織シ專ラ同協會ヲシテ之カ助成ヲナサシメツツアルモ尙其ノ成績良好ナラサルヲ以テ縣ハ財政ノ都合ヲ見計ラヒ縣ノ事業トシテ設備ヲ行ヒ完了事務ノ助成ヲ行ハムトス

石川縣

現況竝趨勢　本縣ニ於ケル耕地ノ擴張事業ハ從來政府ノ方針ニ基キ常ニ督勵ヲ加ヘ逐年向上發展ノ成績ヲ示シ已ニ認可セラレタルモノ耕地整理ニ在リテハ其ノ面積二萬九千六百二十六町歩開墾助成法ニ依ルモノ六百五十二町歩ニ達シ尙開墾埋立干拓及地目變換ニ依ル耕地擴張見込地開畑四千五百九十五町歩開田五千八百二十八町歩ヲ有スルヲ以テ之ニ對シ極力督勵ヲ加ヘ完成ニ努メムトス

次ニ耕地ノ改良事業ニ關シテハ本縣五潟ノ沿岸ニ於ケル耕地ノ堪水被害ノ狀態ハ年々多大ナルモノニシテ其ノ水田面積二千七百町歩ヲ算シ既往ニ於ケル平均毎年減收高亦實ニ一萬七千石ヲ超ヘ其ノ湛水最モ甚シキニ在リテハ被害殆ト之ニ倍スルコト稀ナシトセス依テ縣ハ之等特別ナル區域ニ對シテハ特ニ改良方法ヲ調査シ邑知潟沿岸（關係面積五百町歩）ノ如キハ縣營事業ニテ昭和元年度ヨリ工事ニ着手シ本年度ニ於テ之カ完成ヲ告クルコトトナレリ其ノ他ニ對シテモ最モ有利適切ナル計畫ヲ建テ之ニ基キテ耕地ノ改良ヲ奬勵シツツアリ尙本縣ノ能登方面ニ在リテハ濕田多キヲ以テ暗渠排水ヲ奬勵シ土地ノ改良ニ努メムトス

將來ニ對スル指導奬勵方針　斯業ノ現況竝趨勢ニ鑑ミ左ノ施設ヲ爲シ之カ指導奬勵ノ徹底ヲ期セムト

ス

一、特別ノ事情アル事業及五百町歩以上關係ヲ有スル用排水改良事業ハ國庫又ハ縣營事業トナシ其ノ完成ヲ期セムトス

二、講習講話會ヲ爲シ耕地改良及擴張事業ノ企畫實行ニ努メムトス

三、事業資金ノ融通ニ就テハ努メハ供給ノ途ヲ講セムトス

四、開墾地移住家屋及共同建造物ニ對シ補助金ヲ交付シ開墾地ノ發展ヲ助成セムトス

五、本縣耕地協會ト連絡協調ヲ保チ耕地整理工事完了後ノ事務促進ト事業ノ福利增進ニ努メムトス

六、開墾助成法改正セラレシヲ以テ縣ノ補助金ハ主トシテ該恩典ニ浴セサルモノニ交付シ之カ發展ニ努メムトス

七、能登方面ノ濕田地ニ對シテハ町村ニ模範排水地ヲ設ケ之カ指導獎勵ニ努メムトス

福井縣

現況竝趨勢　本縣ニ於ケル耕地面積ハ六萬一千八百七十六町三反歩ニシテ內田面積ハ四萬九千四百二十町一反歩畑面積一萬二千四百五十六町二反歩ニシテ農家一戶當平均八反畝歩ナリ

今本縣耕地ノ狀態ヲ見ルニ耕地ノ擴張改良ニ伴ヒ逐年之カ面積增加ノ趨勢ニ在リト雖モ最近工業ノ發達ニ連レ市街地附近ニ於ケル住宅ノ埋立或ハ交通道路ノ敷地等社會萬般ノ施設ニ依リ潰廢地モ亦尠ナラサルモノアリ而シテ是等耕地ハ地勢上概論スル能ハスト雖モ概ネ排水不良ノ狀態ニ在リ殊ニ山間部ニ介在セル耕地ハ區劃不整且狹少ニシテ境界甚シク錯綜スルカ故ニ耕作上ノ不利不便尠カラス

爾來縣ハ是等農事上土地ノ利用增進ヲ圖ルヘク耕地整理法ニ則リ鋭意事業ノ勸獎ニ努メ大正元年十二月耕地整理獎勵金交付規程ヲ設ケ之カ改良計畫ヲ獎勵シ次テ大正八年四月開墾助成法ノ實施ニ伴ヒ同九年四月耕地整理及土地改良獎勵規則ノ一部ヲ改正スルヤ漸次施行面積ヲ擴張スルニ至リ今ヤ地區數二百五十一地區此ノ整理面積八千九百九十四町歩ニシテ內工事竣成面積ハ約六千五百町歩ニ達シ目下設計計畫中ニ屬スルモノ十二地區開墾助成法ノ適用ヲ受ケ出願セルモノ六十地區此ノ助成面積開田七百二十九町歩開畑十八町歩總計七百四十七町歩ニシテ近ク出願見込ノモノ十五地區此ノ面積百八十九地五反歩ニ及フ

而シテ將來尙耕地整理ヲ必要トスル面積ハ約三萬一千町歩ニシテ今後更ニ耕地ノ擴張改良事業ニ依ル增加見込面積ハ優ニ七千二百町歩ヲ算ス然レ共之カ擴張改良ハ地勢竝舊來ノ慣習上容易ニ事業着手ノ機運ニ嚮ハス單ニ局部的ニ改良ヲ畫策スルノ現況ニアリ水利其ノ他經費ノ關係上大規模ノ計畫ト之カ事業ノ急速ナル進展ヲ見ルニ至ラサルヲ遺憾トス然リト雖モ晩近農業經營ノ改善進步ハ農民ノ覺醒ヲ促シ一面政付ニ於ケル用排水主要幹線改良事業ノ計畫ニ伴ヒ事業熱漸ク勃興スルニ至リ之カ改善ヲ企圖スルノ傾向ニアルヲ以テ今後相當米價ノ均上ト財界ノ調和ト相容レ更ニ地方資金ノ供給潤澤ナルニ於テハ漸ヲ逐フテ本事業ノ進展ヲ見ントスル趨勢ニ在リ

將來ニ對ルス指導獎勵方針　縣ハ耕地ノ擴張改良事業ニ關シテハ相當助成ノ途ヲ講シ常ニ指導獎勵ヲ加ヘツツアリト雖モ本縣耕地ノ現狀ニ鑑ミ之カ事業ノ進展ト完璧ヲ期スルハ前途遼遠ト謂ハサルヘカ

ラス故ニ將來尚左記各項ニ留意シ益々斯業ノ堅實ナル發達ヲ期サントス

一、農業水利ノ基本的調査ヲ速進セシムルコト

本縣ノ耕地ニシテ尚排水良好ナラサルモノ尠カラス此等水利上ノ根本的調査ヲ爲シ能ク其ノ關係ヲ考究スルコトハ單ニ將來ノ耕地整理ヲ容易ナラシムルノミナラス耕地改良上重要ノ事項ニ屬ス故ニ之等箇所ノ基本的調査ヲ爲シ其ノ最モ主要ナルモノニシテ用排水幹線ノ改良ニ屬スルモノハ漸ヲ追フテ之ヲ縣營事業トシ其ノ他小範圍ニ屬スル土地改良事業ニ付テハ關係團體其ノ他ヲシテ企業セシムルコトニ努メントス

二、縣財政ノ許ス限リ補助增額ヲ爲スト共ニ從業職員ノ充實ヲ圖ルコト

縣ハ從來耕地整理及土地改良獎勵規則ニ依リ相當補助金ヲ交付シ獎勵ニ努メ來リシ結果逐年企業地區ノ增加ヲ見ルニ至リシヲ以テ今後尚前項ノ調査ヲ進ムルト共ニ縣財政ノ許ス限リ補助增額ニ努メ一面從業職員ノ充實ヲ圖リ以テ本事業ノ進展ヲ期セントス

三、本縣耕地整理協會ヲ助成シ之カ活動ヲ期セシムルコト

各耕地整理組合ノ連絡機關タル本縣耕地整理協會ハ大正十五年九月其ノ組織ヲ見ルニ至リシヲ以テ縣ハ此ノ機關ノ助成ヲ爲シ以テ左記事項ヲ逐行セシメントス

(一)　工事完了後ニ於ケル換地處分事務指導ノ爲專任職員ヲ設置シテ各組合ノ指導ニ當ラシメ之カ事務ノ速進ヲ圖ルコト

(二)　組合事業ノ圓滿ナル發達ト事務的知識ノ普及ヲ圖ランカ爲組合役員ノ訓練施設ヲ行フコト

四、用排水幹線改良事業ト相俟チ沿岸耕地ノ擴張改良ニ努ムルコト

縣營農業水利改良事業トシテ近ク工事ニ着手セントスル兵庫川ハ其ノ改修ニ依ル受益面積ハ優ニ二千六百町歩ノ多キニ達シ之カ改修ニ伴ヒ沿岸地域整理ノ必要ヲ生スヘキ箇所尠カラス故ニ關係地域ニ對シテハ相當規模ノ沿岸耕地整理組合ヲ組織セシメ以テ改修事業ノ達成ト相俟チ沿岸耕地ノ整理ト用排水設備ノ改良的事業ノ完成ヲ期セシメントス本事業ノ成否如何ハ一般斯業促進上效果蓋シ尠少ナラサルヘキモノアルヲ信ス故ニ縣ハ極力之カ助成ニ努メ以テ耕地ノ擴張改良ヲ圖ラントス

山梨縣

現況　現在迄耕地整理組合認可セル地區數百十二面積五千四百九十八町九反九畝二歩九ヲ算シ此中開墾面積一千百二十七町一反四畝二歩一開畑面積二百八十六町八反八畝八計一千四百十四町二畝二歩九ナルヲ以テ開墾事業ハ耕地整理面積ノ二割五分ニ相當ス

事業別ニ表記スレハ次ノ如シ

種目	地區數	面積
事業完了セルモノ	二五	町 七八四・八八二六
換地認可済ノモノ	九	一八三・六〇〇八

工事完了セルモノ	一三	四三五・九三二二
工事施行中ノモノ	六五	四、〇九四・六三〇三
計	一一二	五、四九八・九九二九

本縣ノ耕地擴張改良事業ハ地勢ノ關係上難工事少カラスト雖モ各組合熱心ニ工事竝事務ノ遂行ニ力メ償還金ノ滯納等モ少ナク成績良好ナル狀態ナリ用排水幹線改良事業ハ現在迄施行セルモノハ東八代郡富士見村外二箇町村地區ニ過キス

趨勢　本縣ハ地勢ノ關係上八ヶ岳開墾ヲ除キ大規模ノ開墾ヲ實施スルコトハ不可能ニシテ從來ハ明治四十年ノ大水害及大正十二年ノ大震災ニ依ル復舊工多カリシモ現在ニ於テハ此等ノ事業モ大體ニ於テ終了セル狀態ニシテ今後ニ於テハ本縣ハ他府縣ニ比シ農家一戸當耕作反別少ナク年々約平萬石ノ米ヲ移入スル實情ナルヲ以テ漸次開墾事業ヲ希望スルモノ多キヲ加ヘ益々隆盛ニ趨カントスル狀態ナリ

本縣唯一ノ大規模國營開墾豫定地タル八ヶ岳山麓ノ開墾事業ハ目下關係町村ノ間ニ熱心ニ唱導セラレ具體的實行方法ニ向ッテ進展シツツアリ

耕地改良ハ從來區劃整理事業盛ナリシカ最近ニ於テハ大震災後ノ連年ノ旱害ニ刺戟セラレ水源設備ノ確定ヲ熱望スルモノ多キヲ加ヘツツアリ

用排水幹線改良事業ハ現在迄一地區ヲ實施セルニ過キス本縣ハ地勢上他府縣ヨリ比較的豫定地少キト農村疲弊及小作爭議等ノ影響ヲ受ケ事業實施上大ナル支障ヲ生シツツアリ

山間部ニ於ケル耕地ニシテ排水不良ノ箇所多ク漸次暗渠排水事業勃興ノ機運ニ進ミツツアリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣ハ山岳重疊シ急峻ナル地勢ヲ形成シ中央部ニ平坦地タル甲府盆地ヲ有スルニ過キス從テ八ヶ岳開墾地區ヲ除キテハ大規模ノ開墾豫定地少ナシト雖モ開墾見込地一萬町歩ヲ算シ既ニ開墾事業施行セルモノ約千四百町歩ニ過キス現今ニ於テハ開墾事業ヲ申請スルモノ少カラスト雖モ縣トシテモ農家經濟ニ鑑ミ極力指導奬勵ヲ爲ス必要アリ

八ヶ岳大規模國營開墾地區ハ最近開墾地移住ヲ切望スルモノ少ナカラサル實情ニ鑑ミ極力指導奬勵ヲ爲スノ必要アリ

用水不足地三千四百町歩排水不良地約七千町歩ニ對シテハ輓近改良ノ機運ニ向ヒツツアルヲ以テ極力用水設備及排水工事ヲ實施セシムルノ必要アリ

用排水幹線改良事業ハ前述ノ如ク小作爭議等ノ爲一頓坐ヲ來セル狀態ナルモ山間地方ノ小作爭議ノ少キ地方ニ於テ奬勵實施セシメントス

山間地方ニ於テ排水不良ナル面積約千町歩ニ對スル改良ハ本縣トシテ最モ必要ナルヲ以テ政府ノ施設ト相俟テ暗渠排水事業ヲ實施セシムル方針ナリ

尙用水不足地ノ中地下水利用ニ依リ旱害ヲ救濟スヘキ面積約五百町歩ニ對シテハ將來縣ニ於テ揚水機ヲ購入シ試驗ヲ爲シタル上ニ於テ奬勵實施セシメントス

開田事業ハ從來ヨリ各組合共夫役ノ方法ニ依リ施行シ來リタリト雖モ溜池工事等ハ本縣ノ地勢上多

額ノ工事費ヲ要スルヲ以テ今後ハ出來得ル丈ケ夫役ニ依ラシムルト共ニ一面機械力ヲ利用シ工事費ノ經減ヲ計ラントスル方針ナリ

本縣ハ有數ナル發電國ニシテ從來農業水利ト發電事業ト利害抵觸スル點少ナカラサリシモ將來ニ於テハ出來得ル限リ協調ノ實ヲ擧ケシムル方針ナリ

長野縣

現況竝趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張竝改良見込地面積ハ約五萬町歩ニシテ昭和四年四月末日現在ニ於ケル耕地整理認可面積ハ一萬三千百九十七町歩地區數三百五十七箇所ニシテ内工事完了面積五千九百六十二町歩二百六十七箇所換地處分濟面積五千九百十五町歩二百六十四箇所事業完了面積三千九百八十七町歩百八十八箇所ナリ又開墾助成出願面積ハ二千七百六十六町歩四十八箇所ニシテ既ニ工事完了セルモノ二十一箇所此面積三百十五町歩ニ達ス

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十六年創始以來測量設計、工事監督、事務指導竝工事費補助等ノ奬勵施設ニ依リ漸次發達ノ域ニ進ミ大正八年開墾助成法ノ實施ニ依リ開墾事業一層勃興セシモ近來米價下落竝一般財界不況ノ爲開墾事業稍不振ノ狀況ナリシモ一昨年來ヨリ引續キ養蠶業不況ナリト昨秋御大典記念事業トシテ耕地改良、擴張事業ノ有利ナルコトヲ言傳シタル結果開墾事業再ヒ勃興スルノ傾向ナリ既耕地改良事業ハ大正十三年ノ大旱魃以來灌漑補給ヲ目的トスル溜池ノ新設變更、用水路ノ改善及揚水機設置等ノ事業多數ヲ占メ區劃整理事業ハ極メテ僅少ナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針 現況如斯ニシテ耕地擴張改良見込地面積五萬町歩ニ對シ事業施行面積ハ僅ニ四分ノ一ニ過キサルヲ以テ將來ハ既耕地改良事業中費用多額ヲ要セス工事容易ニシテ而モ利益顯著ナル用水補給事業ニ一層力ヲ加フルト共ニ一團地三百町歩以上ニ亘ル地區ノ水利調査ヲ續行シ用排水幹線改良事業補助要項ニ依リ國庫ノ補助金ヲ受ケ事業ノ實現ヲ期セムトス又開墾助成事業ニ對シテハ從來ノ方針ニヨリ利益顯著ナル地區ヲ選ヒ耕地整理法ニ依リ事業ヲ施行セシメ開墾助成法ノ恩典ニ浴セシメムトス又曩ニ申請シ置キタル野邊山原耕地整理組合一千百町歩ノ開墾事業ニ付テハ主要工事ハ國營ニテ施行ヲ受ケ開墾事業ハ速ニ着手セムトスル豫定ヲ以テ組合ハ着々準備中ナリ耕地整理工事完了後ニ於ケル事務ニ付テハ速ニ手續ヲ完結セシムル樣一層適切ナル指導ヲ加ヘムトス之等總テノ指導奬勵ニ付テハ縣經濟ノ許ス限リ設備ヲ擴張スルト共ニ工事費補助金竝開墾地移住補助金等モ相當增額シ斯業ノ奬勵ヲ爲サムトス

岐阜縣

現況竝趨勢

一、耕地整理事業

耕地整理事業ノ有利ニシテ必要ナルコト一般ニ認識セラレ年ヲ逐ヒ發展シ現今認可地區數二百七、面積一萬千八百十三町歩ヲ算スルニ至レリ而シテ近年ニ於ケル認可地區ノ大部分ハ平坦地ノ古田整理ニ屬スルモノナリ此地方ハ本縣產米ノ主產地ニシテ又耕地ノ改良ヲ要スル區城ノ大部分ヲ占ムル

モノニシテ木曾、揖斐、長良ノ三川ニ介在スル低地ナルヲ以テ灌漑、排水及交通設備ノ改善區劃ノ整理トヲ要スル土地ナリ由來本地方ハ大少幾多ノ堤塘ヲ繞ラシ洪水ノ防禦ニ內ハ惡水ノ停滯又ハ用水ノ不足ニ苦シミ輪中每ニ水利組合ヲ組織シ從テ輪中內ニ於テ耕地整理ヲ施行セムトスレハ地勢上一局部ノミノ施行ハ比較的困難ナルト輪中全部ノ改良ヲ行ハンニハ面積廣大ニシテ其ノ議容易ニ纏ラサルノミナラス往々隣接輪中ト水利上其ノ他舊慣等ノ爲實施困難ノ場合尠カラサリシモ近時大區域ニ亘ル縣營用排水幹線改良工事ヲ施行スルニ至リタルヲ以テ從來ノ如ク水利竝舊慣等ニ拘束セラルルコトナク充全ナル計畫ヲ樹立シ得ルニ至リタルカ故ニ大ニ整理事業ノ促進ヲ來タシ現ニ安八郡福東輪中ニ於テハ曩ニ縣營排水改良工事完成ヲ告ケタルヲ以テ關係區域內ニテ耕地整理ヲ施行セルモノ五地區、面積六百十二町餘ヲ算スルニ至リ又羽島郡ニ於テモ逆川排水改良工事竝羽島用水幹線改良工事ノ進捗ニ伴ヒ羽島郡中部普通水利組合區域全部ニ亘ル約二千町歩ノ耕地整理ヲ施行セムトシ目下調査設計中ニ在リ尙海津郡ニ於テモ大江輪中排水改良工事完成ノ結果今尾町ニテ整理施行ヲ見ルニ至リ本事業ハ將來益々進展ノ傾向アリ

二、用排水支線改良事業

支配面積五百町歩以上ノ縣營用排水幹線改良工事施行ノ結果又ハ施行ニ伴ヒ支線ノ改良工事ヲ行フニアラサレハ細部ニ亘ル灌漑排水ヲ完全ナラシムルコト能ハサルカ故ニ五十町歩以上ヲ支配スル用排水路ノ改良工事ヲ行フモノニ對シ二割五分內外ノ補助金ヲ交付スルコトトシ本年度豫算金二萬圓ヲ計上シ以テ農業水利改良事業ノ助長發展ニ資セリ

三、耕地擴張事業

開墾事業ハ開墾助成法竝耕地整理法ノ特典保護ノ下ニ施行スヘク奬勵シ之ニ對シ古田整理事業ヨリモ高率ナル補助金ト開田補助金トヲ交付シ移住奬勵ト相俟テ本事業ノ發展助長ニ努メタル結果開墾助成事業ハ地區數六十一、面積千五百十一町五反餘歩（內開田千二百八十六町 開畑二百二十五町五反）他ニ出願中ノモノ二地區、面積二十八町歩ニ達セリ而シテ本縣ニハ將來耕地ヲ擴張シ得ヘキ見込地開田約一萬八千町開田約七千町合計二萬五千町歩ヲ存シ發展ノ餘地大ニ有リト雖モ其ノ大部分ハ山岳部ノ急傾斜地ニ屬シ水源工事ヲ始メ難工事ナルヲ以テ多大ノ勞資ヲ要スルト近年米繭價額ノ低落農村不振等ノ影響ニ依リ開墾ノミヲ目的トスル事業ハ頓ニ減退ヲ見ルニ至レリ然レトモ一面ニ於テ前項ニ述フルカ如ク平坦地方ニ於テハ用排水幹線改良事業ノ進展ニ連レ古田整理ト堀潰、池沼ノ埋立トヲ併セ行フ開田事業ノ勃興シ今後斯種ノ事業ハ倍々增加ノ傾向アリ

四、經營難開墾事業ノ救濟

開田ヲ主目的トスル耕地整理事業中工事ノ成績不良ニシテ事業經營困難ナル地區ノ救濟ニ付テハ既ニ曩年答申セル如ク其ノ最タル十地區ニ對シ負債償還ニ充ツル爲大正十四年度ヨリ年々一萬圓ノ補給金ヲ交付シ其ノ他低利資金ノ供給、財務整理ノ指導監督等鋭意救濟ニ努メツツアルモ財界不況ニ加ヘ豪雨ノ爲導水欠壞ノ災厄ニ遭遇シ組合費ノ徵收愈々困難トナリ延テ債務償還ヲ延滯シ中ニハ債權者ヨリ保證人ニ對シ保證辨濟ヲ請求シ强制處分ノ擧ニ出テタルモノアルニ至リ經營難ノ度益々深刻ヲ加フル狀勢ナルヲ以テ之カ救濟方策ニ關シ昨年七月大體方針ヲ立テ事情ヲ具シ貴省ニ申請スル

處アリ一面應急策トシテ用水幹線改良ヲ要スルモノニ對シ五割ノ補助金ヲ又既墾田中床造リ不完全ニテ漏水甚シキモノニ付テハ床練改良ヲ行ハシメ之ニ對シ二割五分ノ補助金ヲ交付シ以テ開田地ノ增加ト生產ノ增加ヲ計リ負擔ヲ容易ナラシメンカ爲本年度二萬千五百七十九圓ノ補助豫算ト尙之カ工事監督竝財務及經營ノ指導監督ニ當ラシムル爲吏員四名ヲ增置シ此豫算金五千七十五圓合計金二萬六千六百五十四圓ノ開墾事業特別助成費豫算ヲ計上セリ本件救濟ニ關シテハ昭和四年三月十一日農第三四七號農務局長御通牒ニ依リ開墾助成特別取扱ニ依リ相當緩和救濟シ得ラルルモノト認メラレ目下各地區ニ付キ實地調査ヲ行ヒ計畫案作製進捗中ナリ

五、縣營用排水幹線改良事業

農業水利ノ改良ヲ要スル五百町步以上ノ集團地ニ對スル幹線改良事業ハ大正十三年度ヨリ開始シ既ニ完成及工事中ノモノ六箇所此關係面積約一萬九千町步ニ達シ更ニ本年度ヨリ開始ノ爲國庫補助申請中ノモノ二地區、面積二千三百餘町步アル尙今後改良ヲ要スヘキ五百町步以上ノ集團地約三萬三千町步ヲ存スルカ故ニ事業ノ緩急地元ノ氣運等ヲ顧慮シ計畫調査ヲ進メムトス

將來ニ對スル指導奬勵方針　農業ハ本縣產業ノ大宗ニシテ今農家一戶當耕地反別ヲ見ルニ縣下耕地面積十一萬町步、農家戶數十三萬八千戶ナルヲ以テ水田四反七畝步、畑三反一畝步ニ過キス之ヲ全國平均農家一戶當田五反六畝步、畑五反三畝步ニ比スレハ遙ニ下位ニアルノミナラス米ノ生產消費ノ上ヨリ見ルモ不足ヲ來スノ狀態ナルヲ以テ耕地擴張事業ハ食糧自給ノ關係農業勞力ノ均衡等ヲ考慮シ可成有利ニシテ成功確實ナル地區ヲ奬勵シ耕地整理及用排水支線ノ改良事業ハ木曾川上流及支派川ノ改良事業ニ伴フ用排水幹線改良事業ノ進展ト相俟テ關係區域ノ企業ヲ奬勵シ經營難ノ耕地整理事業ノ救濟ニ對シテハ政府ノ方針ト相俟テ更ニ適當ノ施設ヲ行ヒ之等ニ關スル設備竝補助金ハ縣經濟ノ許ス限リ增加ヲ行ヒ斯業ノ健全ナル發達ヲ期セムトス

靜岡縣

耕地ノ擴張

現況竝趨勢　本縣ノ耕地ハ田六萬三千百四十一町步畑七萬五千百十八町步合計拾三萬八千二百五十九町步アリ農家一戶當耕作反別ハ田三反九畝餘畑四反七畝弱ニ過キス米穀ハ年々三、四十萬石ノ移入ヲ俟ツノ狀態ニアリ

大正八年以後ハ特ニ奬勵ニ盡シタル結果開墾見込面積三萬町步中田四百六十町步畑三百町步ハ開墾助成法ニヨリ開墾セラレ外ニ助成法ニヨラサル小面積ノモノ田二千四百六十五町七反步、畑九千二百十六町七反步アリ潰廢面積ヲ差引キ結局田二百八町二反步、畑四千八百四十七町二反步ノ增ヲ來セリ昭和四年助成法ノ改正ハ開墾ノ勃興ヲ見ルヘキハ明ニシテ殊ニ近時著シク此ノ方面ニ覺メツツアル伊豆地方ハ更ニ活氣ヲ呈スヘキヲ想像セラル

開墾見込地中大集團ヲナスモノニ三方原五千町步、小笠郡砂濱二千町步、富士裾野浮島沼二千七百町步、田方郡先原三里五百町步アリ何レモ大事業ニシテ未タ大規模ニ開墾事業起ラサルモ近時夫々開墾熱ヲ加ヘ三方原及富士裾野浮島沼關係ハ數年前旣ニ期成同盟會成リ殊ニ三方原ハ農林省豫算ニ用

排水幹線國營費ノ計上ヲ見テヨリ白熱化シ來レリ小笠郡砂濱モ助成法ノ改正ト共ニ共同シテ統一的ニ計畫ヲ進メントスル勢ヲ示シ又先原三里モ本省調査班ノ出張ヲ得テ施行ノ機運ヲ著シク増進シ來レル等開墾助成法今回ノ改正ハ本縣耕地擴張上ニ一新機運ヲ釀成セリ

大正八年以降耕地ノ擴張潰廢ノ狀況ヲ示セハ次ノ如シ

年次＼種別	擴張 田	擴張 畑	潰廢 田	潰廢 畑	差引増減 田	差引増減 畑	摘要
	町	町	町	町	町	町	町
大正八年	六五五・一	一、七五六・三	一三八・四	二〇一・四	五一六・七	一、五五四・九	田 — 畑 —
同九年	二九八・八	七二四・七	二二三・九	一八一・八	七四・九	五四二・九	田 二〇・八二〇六 畑 一三・八七三三
同十年	三六四・八	九四八・四	二一八・一	二三〇・九	一四六・七	七一七・五	田 一七・三七二四・九七 畑 四三・八八二
同十一年	一九七・七	一、三八〇・九	二八二・八	二六八・四	△八五・一	一、一一二・五	田 四八・二一〇八 畑 三九・八二三
同十二年	一六八・二	九二五・四	六一八・〇	四〇〇・〇	△四四九・八	五二五・四	田 二〇六・五八〇一 畑 六・三七三五
同十三年	四〇三・八	六八四・〇	一六六・七	二一四・八	二三七・一	四六九・二	田 九四・七〇一八 畑 二・四三一〇
同十四年	一五七・二	四九五・六	一八九・八	六四六・〇	△三二・六	△一五〇・四	田 五・三七〇六 畑 六四・九三二七
昭和元年	三〇八・六	一、二三七・〇	四八五・一	七八三・一	△一七六・五	四五三・九	田 三・二〇〇四 畑 二〇・六四一七
同二年	一九八・〇	八三七・〇	三二二・五	三六九・九	△一二四・五	四六七・一	田 ・四四〇五 畑 二九・一九〇一
同三年	一九四・五	五三九・四	二九一・二	一、三八五・二	△九六・七	△八四五・八	田 三・三九一七・〇三 畑 七・九三二五
計	二、九五五・七	九、五二六・九	二、七一七・五	二、七一七・五	二三八・二	四、八四七・二	田 四六〇・〇〇〇〇 畑 三〇〇・〇〇〇〇

備考 一、表中△印ハ減ヲ示ス
二、摘要欄記載ノ面積ハ開墾助成法ニ依リ開田開畑セルモノヲ示ス

將來ニ對スル指導奬勵方針 前述ノ如キ情勢ナレハ大規模ノモノニアリテハ調査指導ヲ充分ニシ實施ノ一日モ速カナラン事ヲ期シ小規模ノモノニアリテモ助成法改正ヲ機トシテ更ニ設計調査ヲ愼重綿密ニ行フハ勿論地方自治體、各級農會各種實業團體等ヲ通シテ法ノ改正精神ヲ全縣下ニ周知セシムルト共ニ一面之等事業經驗者ノ意見ヲ徵シ又ハ指導ノ機關ヲ作ツテ事業經營上ノ圓滿遂行ヲ圖リ進テ現時困憊セル農家經濟ノ向上ヲ期セムトス

耕地ノ改良

現況及趨勢 普通耕地整理ハ其ノ見込面積五萬一千町歩中施行認可ヲ得タルモノ二萬三千百三十九町歩アリ四割五分三厘强ニ達セリ

而シテ技術ノ力ヲ理想的ニ發揮セシメ天興ノ惠ヲ遺憾ナク利用シ農村計畫ノ基調ヲ完カラシムル大集團面積ノ共同的施行ハ年ト共ニ眠覺メタル農民ノ認ムル所トナリ從來比較的困難トセラレタル百町歩以上ノモノモ遂次着手スルノ傾向ヲ呈スルニ至レリ

用排水幹線改良事業ハ十八箇線中一線完了三線工事中ニシテ未着ノ十四箇線モ夫々實施ヲ熱望シツ

ツアレハ順次國庫補助ヲ得テ遂次遂行サルル見込ナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　從來ノ方針ト根本ニ於テ異ルコトナキモ現況前述ノ趨勢ニアルヲ以テ耕地ノ改良カ單ニ其ノ耕地ノ理化學的改良ニノミ止ラス進ンテ農業經營ノ向上ヲ圖リ以テ農村計畫ノ基調完成ニ努メントス暗渠排水事業ニツキテハ國ノ方針ニ添ヒ開墾助成法改正ノ精神普及徹底ヲ圖ルト同樣方法ニ依リ其ノ效果等ヲ徹底周知セシメ斯業ノ勃興ヲ計ラントス

尚耕地擴張改良事業者ノ團體タル耕地協會ノ活躍ハ近時著シキモノアルニ鑑ミ更ニ斯團體ノ發達ヲ助ケ以テ官民共同一致シテ其ノ實ヲ擧ントス

愛知縣

現況竝趨勢　本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ開墾助成法發布以來政府ノ施設ニ基キ奬勵ノ結果各地ニ勃興シ本年三月末日現在ニ依レハ地區數四十六箇所此ノ面積一千七百二町歩ニ上リ今後續々出願ノ見込ナリ大規模開墾干拓ノ候補地トシテ渥美、八名二郡ニ約四千七百町歩内外ノ開田見込地アリ本地區ハ昨年農林省可知技師ノ踏査セラレタルモノナリ

耕地改良事業ハ之亦近年農村一般ニ不景氣ナルニ拘ラス益々發展ノ狀態ニアリ本年三月末日現在ニ依レハ認可地區數二百九十四箇所此ノ面積二萬七千六百三町歩ニ上レリ斯業ノ發展ハ耕地ニ對スル用惡水設備ノ不完全ナルコト農村ニ於ケル道路網ノ不完全ナルコト等特ニ不便ヲ痛感シ速ニ之カ改良ヲ希望スルニ基因スルモノナリ

耕地改良ニ至大ナ關係アル用排水幹線改良事業ハ地方ニ於テ痛切ニ其ノ改良ノ必要ヲ認メ希望者多キモ縣トシテハ可能性アルモノヨリ順次實行ノ方針ヲ採レリ縣會ノ決議ヲ經テ繼續事業トシテ實行セムトスルモノ第一期八箇所第二期八箇所計十六箇所此ノ內工事終了セルモノ幡豆郡橫須賀用排水幹線及渥美郡汐川用排水幹線改良事業ノ二箇所工事着手セルモノ一箇所近ク工事ニ着手セントスルモノ二箇所アリ

左ニ參考ノ爲前記事業ノ見込ニ對スル認可、出願、終了ノ對照ヲ示サムトス

	成績		見込	
	地區	面積	地區	面積
發起、設立、施行認可	個 二九四	町 二七、六〇三	—	町 一〇三、八〇〇
開墾助成出願	四六	一、七〇二	—	二二、一四六
用排水幹線改良事業	二	一、三一四	—	六八、九五七

將來ニ對スル指導奬勵方針　縣經濟ノ許ス範圍內ニ於テ大體從前ノ通リ左ノ方針ニ依ラムトス

耕地整理事業

一、調査設計工事監督及事務指導等ハ奬勵規程ニ依リ補助奬勵シ工事ニ對シテハ補助規則ニ依リ補助金ヲ交付セムトス

二、必要ニ應シ講習講話會ヲ催シ印刷物ヲ刊行シ又ハ耕地整理ニ關スル特種團體タル耕地整理協會ノ

如キニ對シテ補助後援ヲ爲シ或ハ農會ノ如キモノト提携シテ益々斯業ノ普及發達ヲ期セムトス

三、用排水幹線改良事業ニ對シテハ縣費ヲ以テ其ノ區域ノ調査計畫ヲ施シ又本省並地方ト互ニ連絡ヲ保チ極力事業ノ遂行ヲ圖リ之ト關聯シテ耕地整理事業ヲ促進セシメムトス

開墾事業

一、開墾助成法ノ普及徹底ヲ圖ルト共ニ耕地整理法ニ基クモノノ特種工事ニ對シテハ縣費補助金ヲ交付セムトス

二、開墾地ニシテ勞力不足ノ地區ニ對シテハ移住獎勵ノ爲移住家屋ニ對シ補助金ヲ交付ス

三、開墾地ニ於テハ自作農ヲ創成スルヲ以テ經營上適當ナリト信ス故ニ之カ遂行ノ爲メ必要ナル方法ヲ講セシムルコト

四、農事試驗場、機械農場等ト連絡ヲ保チ機械農具動力農具等ノ普及利用ノ途ヲ講スルコト

三重縣

本縣ニ於ケル耕地ノ擴張及改良事業ニ關シテハ從來政府ノ方針ニ基キ常ニ督勵ヲ怠ラサルモ經濟界不況ノ爲豫定ノ成績ヲ擧クルコト能ハサルハ遺憾トスル所ナリ

然レトモ是等ノ永久的ノ事業ヲ急速ニ施行セシメムトセハ不斷ノ努力ヲ以テ其ノ堅實ナル發展ヲ期シ時代ノ要求ニ策應セサルヘカラス然ルニ近時一般經濟界不振ノ結果是等ノ事業モ亦其ノ影響ヲ受ケ加フルニ小作爭議ノ頻發ニ依リ農業ノ前途ヲ悲觀シテ之カ企圖ヲ躊躇スルモノナキニアラス然レトモ本事業ノ目的ハ農業上利益ノ增大ヲ計リ以テ農民生活ノ窮迫ヲ救濟スル主要ナル政策ナルヲ以テ此際更ニ最モ有利ナル獎勵方法ヲ樹立シ以テ農村ノ振興ヲ計リ立國ノ基礎ヲ强固ニスルカ現下ノ急務ナラム

將來ニ對スル指導獎勵上ニ付テハ從來可及的ノ方法ヲ講シテ其ノ事業ノ進展上ニ極力盡瘁スル所ナリ而シテ指導上ニ付テハ從來最善ノ方策ヲ盡セルニ依リ別ニ施設スヘキモノナキモ獎勵上ニ付テハ頃來諸物價高騰及經濟的觀念ノ發達ニ伴ヒ普通ノ獎勵方法ニテハ容易ニ企業スルモノナキ狀態ナリシモ今回本年三月法律第三號ヲ以テ開墾助成法改正ノ結果該事業費每年支出額ノ四割ヲ助成スルコトトナリシヲ以テ自然農民ノ自覺ヲ喚起シ斯業ノ普及發達ヲ期待シ得ヘキニ依リ爾今此ノ趣旨ニ基キ併セテ將來ハ耕地整理工事費補助ヲ增額シ督勵ヲ怠ラサル方針ナリ

滋賀縣

一、耕地改良事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十九年以來極力獎勵シタル結果逐年其ノ施行增加シ本年五月一日迄ノ施行認可地區數二百二十七、面積九千五百七十町步其ノ事業費約九百五十四萬圓ニ達セリ其ノ内工事完了地區數百一、面積三千百八十八町步換地處分地區數八十三、面積二千七百七十三町步

事業終了地區數三十七、面積一千二十一町歩ニ及ヘリ而シテ目下測量設計中ニ屬スルモノ八箇所七百三十八町歩ニシテ尙設計調査ノ豫定地ニシテ未タ着手ノ運ニ至ラサルモノ四十六箇所一千三百町歩存シ縣內耕地面積七萬六千五百町歩ノ內耕地整理見込面積二萬二千五百町歩ニ比スレハ未タ前途遼遠ノ感無キ能ハス然モ近時經濟界沈滯ト小作問題漸次增加ノ趨勢ニ禍サレ其ノ企畫動モスレハ逡巡スノ傾向無キヲ保シ難シト雖亦却テ之カ對策トシテ遂行施行計畫ヲ爲スモノアリ要スルニ本縣耕地ハ地勢上周圍山岳ヨリ琵琶湖ニ注ク各河川ニ支配セラレ其ノ滿量ノ多寡ハ直接懸ツテ耕地ノ用排水ニ影響スルノ狀態ナルヲ以テ此ノ際局部的ノ施行ヲ應シ曩ニ施行シ及今後施行セムトスル基本調査竝農業水利調査ヲ基準トシ各河川流域ニ適合セル相當大ナル面積ノ改良計畫ヲ樹立シ關係者ヲ誘發シ之カ實現ヲ圖ラムトス

二、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ從來耕地整理事業ニ附隨シテ之ヲ勸獎シ殊ニ大正八年開墾助成法發布以來頓ニ之カ施行增加ノ趨勢ニアリ本年五月一日現在ノ開墾助成地區數二十七其ノ工事後ノ耕地擴張豫定面積ハ二千九百七十六町歩ヲ算シ開墾見込地四千五百町歩ニ比スレハ當ニ其ノ半ヲ超ユルノ狀況ニアリ而シテ今後ノ見込地ハ僅カニ耕地間ニ介在スル小面積ノ荒蕪地山間部ノ局部的小地及琵琶湖周圍ニ存在スル內湖竝寄洲ニ過キス仍テ今後荒蕪地及山林原野、開墾ハ耕地整理施行ヲ可及的普及スルト共ニ琵琶湖周邊ノ開拓ハ水利方面ノ調査ト相俟チ漸次之カ實現ヲ期セムトス

京都府

現況 本府ニ於ケル昭和三年十二月末日現在耕地總面積六萬三千八十一町歩內田面積四萬五千百九十町歩畑面積一萬七千八百九十一町歩ニシテ耕地整理施行見込地トシテ調査シタル面積三萬一千町ヲ之ニ包容セリ而シテ整理施行認可面積ハ一萬一千七百五十五町歩其ノ地區數四百四十六箇所ニ達セリ

趨勢 最近開墾助成法中改正法律ノ公布ハ當該事業ヲ資益發展セシムルコト蓋シ大ナルヘク積極的計畫ヲ樹テ耕地ノ利用增運ニ努ムルノ傾向ヲ倍々盛ンナラシメ殊ニ灌漑排水ニ關スル設備ニ對シテハ著シク善良ノ效果ヲ期待シ農業水利ノ施設ヲ完備セントスルモノ尠カラス既ニ施行セシモノニシテ其ノ面積比較的大ナルハ用排水幹線改良補助要項ニ基キ府ノ施行セル事業ニ伴フ紀伊郡納所横大路村聯合耕地整理、南桑田郡曾我部村耕地整理、乙訓郡東部聯合耕地整理、綴喜郡八幡町耕地整理各組合ノ受益效果ハ何レモ顯著ナル好成績ヲ擧ケ積年ノ患害ヲ除去シテ如今農業經營ニ多大ノ安定ヲ看ルニ至レリ而シテ目下採擇ニ付手續中ノ乙訓郡羽東師村外三箇村排水改良事業實施ノ曉ニハ是亦關係地域ノ受益相當大ナルハ確實ナリトス

更ニ府下紀伊郡及久世郡ノ二郡ニ跨カル巨椋池ヲ中心トスル沿岸耕地ノ改良事業施行ノ決定實施ヲ看ルモ亦遠キニ非スト想像セラレ多年地方ノ重大問題トシテ種々ノ曲折ヲ經タル難問題ヲ解決スヘク國營ニ隨伴シテ府營或ハ耕地整理組合ノ事業トシテ夫々企畫ヲ爲シ先以テ國營事業ノ速現ヲ期待シ居

ルノ狀況ニシテ之カ準備ヲ整ヘ事業ノ前途ニ多大ノ效果ヲ收メント勇躍シ只管其ノ目的ノ達成ニ協力セリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本事項ニ關シテハ既往ニ於テ屢々陳述セシヲ以テ之ヲ反覆陳述セス要スルニ本府ハ事業開始以來逐年漸進的發達ヲ促シ昨年末ニ於ケル施行認可ノ面積一萬一千七百五十五町歩地區ノ數四百四十六箇所ヲ算スルニ至リタルハ一現況ノ項ニ記述ノ如シ

今後益々機宜ノ指導ニ勗メ奬勵助長セントス

大阪府

本府ニ於テハ明治三十九年度ヨリ專任ノ職員ヲ設置スルト共ニ工事費ニ對シ補助金ヲ交付シ以テ耕地擴張改良事業ノ指導奬勵ニ努メ本年度ニ於テハ技師三名主事補七名技手十五名助手十三名雇一名計三十九名ノ設備豫定ヲ以テ耕地整理及土地改良事業ノ調査設計工事監督事務指導、農事水利ノ改良調査用排水幹線改良事業ノ工事ヲ施行シツヽアリ一面大阪府耕地整理協會ト連絡ヲ保チ同會事務員六名技術員四名ヲ指導督勵シ耕地整理組合ノ設立ヨリ事業終了ニ至ル一切ノ事務ヲ迅速且確實ニ執ラシメツヽアリ管內耕地六萬四千七百町歩中ニハ今後ニ於テ斯種事業ノ實施ヲ必要トスルモノ頗ル多キヲ以テ從來ノ指導奬勵方針ヲ踏襲シ特ニ用排水幹線改良事業ニ關シテハ極力其ノ實現ニ努力セムトス今左ニ項ヲ別チテ現況趨勢ヲ述ヘン

耕地整理事業

最近迄ニ設計調査ヲ了シタルモノ二萬一千町歩ノ內一萬二千町歩ハ耕地理理施行認可ヲ與ヘタリ此地區數百五十四、事業費總額七百十五萬四千圓ヲ算ス內九十箇所三千七百町歩ハ工事ノ完了ヲ見タリ今後ニ於テハ六十四箇所八千三百町歩ニ對シ完全ニ工事ヲ了セシムル必要アリ尙調査設計ハ逐年增加ノ趨勢ニアリ故ニ現在ノ設備ニ於テハ其申請ニ對シ容易ニ應シ得ラレサル現況ニアリ而シテ事業ノ目的ニ至リテハ用水設備ノ充實ヲ希望スルモノ多數ヲ占メ道水路ノ改修區劃ノ整理ヲ行フモノ亦尠カラス

土地改良事業

灌漑排水ニ關スル設備又ハ工事ヲ行フ土地改良事業ニシテ利益ヲ受クヘキ面積十町歩以上ノモノニ對シ調査設計工事監督ヲ行フ外工費三千圓以上ノモノニ對シテハ其費用ノ十分ノ一以內ノ補助金ヲ交付スヘク奬勵制度ヲ設定セルモ本件ニ依ル出願申請ハ一箇年ヲ通シ僅々一、二ニ過キスコハ可成耕地整理事業トシテ施行ヲ奬勵シツヽアルカ故ナリ

用排水幹線改良事業

府營用排水幹線改良事業ハ大正十二年度以來引續キ施行シ既ニ事業ヲ終リタルモノ二箇所受益面積二千百四十二町歩ニ及ヒ目下工事中ノモノ一箇所二千五百町歩アリ近ク事業ノ普及見込ノモノ二箇所二千六百七十六町歩ニ達シ目下調査設計中ノモノ一箇所六百町歩ニシテ本事業ハ益々進展スルモノト認ム

開墾助成事業

開墾助成法ノ適用ヲ受ケ開田又ハ開畑ヲセルモノ九箇所百二十三町一反歩ニシテ何レモ耕地整理事業ノ一部トシテ施行シツツアリ本府ノ狀態ニ於テハ見込地面積僅少ニシテ著シキ耕地ノ擴張ヲ望ムノ餘地乏シ

兵庫縣

現況 本縣ニ於ケル土地總面積ハ六十一萬八千二百二十三町歩（昭和二年十二月末現在）ニシテ田面積八十一萬千八百六十七町歩畑二萬七千四百五十町歩合計十三萬九千三百十七町歩ナリ而シテ改良事業ノ爲メ既ニ認可ヲ與ヘタル地區數四百四十三面積一萬六千九百二十七町歩ニシテ事業ノ成績ハ概シテ良好ナリ今事業開始以來ノ成績ヲ擧クレハ左ノ如シ

年次	發起設立施行認可		工事完了		換地處分認可		事業終了	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
		町		町		町		町
明治三六年	三	五五	－	－	－	－	－	－
同三七年	二	四三	－	－	－	－	－	－
同三八年	六	一四三	－	－	－	－	－	－
同三九年	五	一〇七	－	－	－	－	－	－
同四〇年	二	八八	一	二	－	－	－	－
同四一年	七	二四一	一	三五	一	三五	一	三五
同四二年	一〇	三九二	－	－	一	三二	－	－
同四三年	一九	一,〇四三	七	二四九	二	四三	－	－
同四四年	二三	一,四二四	九	一四九	六	一一〇	一	三七
大正元年	一二	二三〇	一五	四〇一	一三	二六八	二	六三
同二年	九	四五三	六	九九	六	一六六	二	一六
同三年	一七	五九五	七	五五七	四	三二三	六	一四
同四年	二〇	七八九	六	三二四	八	五五三	二	二九
同五年	一四	六三九	一〇	一四三	六	一九八	二	三九
同六年	七	二一三	一三	一九九	一〇	一三三	四	九四
同七年	九	二六六	八	二〇七	七	九七	五	一一三
同八年	二五	一,一六三	一	一一七	二	三一	三	二五三
同九年	四三	一,〇〇六	一六	四六九	一四	一六九	八	一八七
同一〇年	二〇	四三一	一三	三四三	一〇	四九四	一五	三三五
同一一年	二五	一,一八〇	一六	二五九	一〇	三〇三	四	一七
同一二年	三三	三三〇	一四	五六五	二	四六五	七	二五四
同一三年	一六	六二三	二二	四五八	三	三六八	一〇	一三六
同一四年	六八	二,一六〇	一三	二三四	九	一四三	六	一三〇
昭和元年	一六	二三五	八	一七三	一五	一七三	六	一三三
同二年	一七	一,二〇三	一九	三三〇	八	九五	一七	三八九

同三年	六	一、〇八	二七	七八	七	一四〇	七	一四〇
計	四四三	一六、九二七	二三八	五、九三六	一五三	四、三三六	二、五四三	二、五四三

又本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ開墾見込地二萬六千五百六十四町歩餘ニシテ內田ト爲シ得ヘキ見込面積一萬六千六百五十二町六反歩畑ト爲シ得ヘキ見込面積九千九百十一町八反歩アリ而シテ田ト爲シ得ヘキモノノ內第一適地六千七百四十五町八反歩第二適地四千百八十三町六反歩第三適地五千七百二十四町歩弱ノ豫定ニシテ最モ有望ナルモノヨリ漸次施行セムトス而シテ昭和三年十二月末現在耕地擴張ノ爲メ開墾助成出願セル地區數九十八面積二千四百町歩餘ニシテ其ノ年度左ノ如シ

年度	地區數	開墾田（町）	開墾畑（町）	計（町）
大正八年度	七	二八六・五	三二・六	三一九・一
同九年度	四九	一、〇九三・七	五四・一	一、一四七・八
同一〇年度	一八	三三〇・一	二〇・三	三五〇・四
同一一年度	九	二三六・六	四一・七	二七八・三
同一二年度	―	―	―	―
同一三年度	一	五・二	二・〇	七・二
同一四年度	六	二三三・八	九・五	二四三・三
昭和元年度	二	二〇・二	・四	二〇・六
同二年度	四	七・三	一五・五	二二・八
同三年度	二	・六	一〇・〇	一〇・六
計	九八	二、二一四・〇	一八六・一	二、四〇〇・一

趨勢 本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ近年稍發展ノ機運ニ向ヒツツアリシニ一般經濟界ノ不振ト小作問題等ノ爲ニ阻止セラルル傾向アルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ然レトモ大正十三年ニ於ケル縣下ノ大旱魃ト小作問題ノ緩和ノ爲施行スルモノアリ加フルニ前年度ヨリ縣營用排水幹線改良事業ヲ實行スルコトトナリタルヲ以テ從前用水ノ不足又ハ排水不良ノ爲施行スルコト能ハサリシ地方ニ於テ漸次企業ヲ爲スモノ現出スルコトト思惟セラル又耕地擴張事業ハ本年四月助成法改正ニ伴ヒ將來一層起業增加ニ至ルノ傾勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 去ル明治三十二年耕地整理法施行以來縣下全般ニ亘リ耕地改良可能地及大正二年以來耕地擴張見込地ヲ調査セル結果最モ有利ニシテ施行容易ナルモノヨリ順次施行セシメ用排水幹線改良事業ノ如キ大事業ハ縣營トシテ實施スルノ方針ヲ採リ既ニ前年度支配面積八百九十餘町歩ヲ有スル三草山溜池及同面積約二千町歩ヲ有スル山田池築造工事ニ着手シ猶佐治川沿岸改良事業等調査進行中ナリ其ノ他縣ノ施設トシテ左記方法ヲ實行シツツアリ

一、耕地改良事業ニ伴フ特殊工事ニ對シ其ノ工事費十分ノ一以內ノ補助金ヲ交付ス

二、開墾地目變換事業ニ伴フ特殊工事ニ對シ其ノ工事費十分ノ二以內ノ補助金ヲ交付ス

而シテ(イ)(ロ)ニ對スル縣費豫算ハ從來三萬圓內外ニシテ事實ノ補助率ハ規定ノ三分ノ一位ニ過キサリシモ昭和四年度ヨリ豫算額ヲ五萬圓トシ可成規定ノ補助率ヲ交付セムトス

三、縣下ノ地勢狀況等ニ依リ四箇所ノ出張所ヲ設置シ設計調査、工事監督、事務指導等ノ補助ヲ爲シ事業遂行ノ便ヲ計レリ

四、機宜ヲ考察シ講習講話等ヲ爲シ耕地改良及擴張事業ノ企畫實行ヲ奬勵シツツアリ

五、事業資金ノ融通ニ就テハ努メテ供給ノ途ヲ講シ事業ノ圓滑ナル進行ヲ計リツツアリ

六、昭和二年度ヨリ五箇年計導ニテ地下水ノ調査ヲ爲シ事業施設ノ資料ニ供シツツアリ

七、開墾地移住家屋及共同建設物ニ對シ前者ニハ一戶二百圓宛後者ニハ建設費ノ二割以內ヲ補助シ開墾地ノ發展ヲ助成シツツアリ

八、縣耕地整理協會ヲ設立シ殘務ノ進捗ト事業ノ福利增進ニ努力セシメツツアリ

九、昭和四年度ヨリ農業水利調査費ヲ新ニ設ケ技手二名及助手二名ヲ以テ用排水ノ不良ナル箇所ニ對シ其ノ改良ニ關スル根本計畫ヲ樹立シ以テ起業ノ促進ヲ計ラムトス

奈良縣

現況竝趨勢　本縣耕地ノ總面積ハ昭和三年十二月末現在ニテ四萬三千三百町步餘內田面積三萬一千百町步畑面積一萬三百町步餘ニシテ之ヲ農家戶數ニ割當ツルトキハ一戶當田五反一畝步餘畑一反六畝步餘ニシテ田面積ニ比シ畑面積過少ナリトス加之近時交通ノ改善發達其ノ他ノ爲耕地ノ潰廢スル面積頗ル多ク年ト共ニ耕地ノ縮少セラルルノ感アリ而シテ本縣ノ耕地ノ狀態ハ之ヲ平坦部ト山間部ノ二ニ分ツヲ得ヘシ即チ平坦部ハ所謂大和平野ニシテ大和川ノ流域ニ屬シ山間部ハ大和平野ヲ北東ヨリ南方ニ圍繞セル山地ニシテ木津川吉野川十津川ノ流域ニ屬ス

平坦部ニ於ケル耕地事業ノ現況ハ農家カ近時米價ノ下落及大都市ニ接近シ交通至便ナル等ノ關係上漸次米作ヨリ果樹蔬菜等ノ園藝作ニ推移シツツアルノ結果舊耕地ノ改良ハ農道ノ改良ヲ主體トシ用排水ヲ從トスルノ傾向ニアリ又平坦部ノ田地ハ大部分用水不足ヲ訴ヘ種々ノ救濟策ヲ破究實行中ナリト雖最早局部的又ハ姑息策ヲ以テシテハ之ヲ改良シ能ハサルヲ知リ後記ノ如ク大々的用水幹線改良事業ノ計畫策中ナリトス是即チ現在ノ耕地整理カ用排水事業ヲ從トスル所以ニシテ將來平坦部全體ヲ統一スル用水幹線事業實現ノ曉ニ於テ始メア根本的ニ舊耕地ノ改良ヲ爲シ得ヘシ

又平坦部ノ耕地擴張ハ其ノ餘地比較的少シト雖モ農家ノ自覺ニ依リ漸次其ノ步ヲ進メツツアリテ現今ニ於テハ全部開畑ニシテ果樹ノ栽培ヲナスモノ多シ

山間部ニ於テハ地勢及氣候ノ關係上耕地比較的少ク農家ノ生計ハ純農トシテハ立ツ能ハスシテ從來造林其ノ他ノ勞働ニ依リ缺ヲ補ヒツツアリシモ近時林業不振ノ結果勞銀ヲ得ルノ途少ナク益生計困難トナリタル結果純農トシテ立ツノ自覺者續出シ舊田ノ改良及開田、開畑ヲ企圖スル者著シク增加シツツアリテ本縣ノ開墾助成事業カ昭和三年度ニ於テ急ニ面積ヲ倍加シタルハ全ク之ニ依ルモノナリ

今本縣ノ耕地整理及開墾助成出願面積ヲ示セハ左ノ如シ

種目	認可總面積	同上ノ内昭和三年度分
耕地整理事業	九、四一〇・二〇〇〇町	八八二・五三二六町
開墾助成事業	二三六・九八一七	八五・一二一〇

將來ニ對スル指導奬勵方針

一、耕地擴張

本縣ニ於ケル耕地擴張見込地ハ尙七千町歩餘ヲ有シ開畑ト主トス而シテ前記ノ加ク本縣ハ農家戶數ニ對スル畑面積僅少ナルヲ以テ之カ補足ニ努メ尙地勢其ノ他事情ノ許ス限リ開田ノ奬勵ヲ行フ方針ヲ以テ或ハ農事改良實行組合ト連絡ヲ保チ其ノ實行事業ヲ指定シ或ハ移住ヲ奬勵シ或ハ灌漑又ハ飮料水トシテ地下水ノ利用ヲ助成スル等ノ施設ヲナシ補助金ノ如キモ普通耕地整理ニ比シ二倍ヲ交付シツツアリテ將來ニ於テモ縣經濟ノ許ス限リ之カ助成指導奬勵ニ努メムトス

二、耕地ノ改良

本縣耕地改良上ノ將來ニ對スル重要ナル事項ハ大和平野用水補給ナリトス大和平野ハ流域淺ク雨量少キニ不拘地味肥沃交通至便ニシテ往古ヨリ文化ノ中心地ナリシヲ以テ極度ニ耕地開發セラレ其ノ大部分ハ田地ニシテ灌漑水ノ如キモ他縣ニ於テ見ル能ハサル如キ利用方法ヲ講シ今日ニ於テハ聊カノ餘裕ナキノミナラス平均四箇年每ニ大旱害ヲ被リ其被害時ニ數百萬圓ニ達スルコトアリ故ニ縣ニ於テハ之カ救濟策トシテ吉野川流域ノ利用ヲ企圖シ昭和三年度ヨリ之カ調査ニ着手シ昭和五年度ニ於テ終了ノ豫定ナリトス而シテ本計畫實現セハ大和平野ハ用水難ヨリ免レ得ヘク從テ各種ノ改良事業勃興シ其ノ成績見ルヘキモノアルヤ言ヲ俟タサルヲ以テ縣ハ極力之カ達成ニ努力スル方針ヲ以テ進ミツツアリ

山間部ニ於ケル田ノ大部分ハ濕害田ニシテ區劃ノ改良ヲ要スルモノ又多キニ鑑ミ之カ改良ノ指導奬勵ノ方針ヲ樹テ各地ニ模範的ノ暗渠排水地區ヲ置キタルニ其ノ成績優良ナルヲ以テ將來此ノ種ノ事業續出スヘキヲ豫想シ近ク補助規程ヲ改正シ其ノ奬勵ニ當ラムトス

和歌山縣

本縣ハ他縣ニ比シ山岳多キタメ耕地ノ集團地少ナク大地急峻加フルニ交通不便ナルヲ以テ設計調査ニハ多大ノ勞費ヲ要シ大面積ノ調査ヲナシ得サルハ遺憾トスル所ナルモ一般耕地整理ハ年々四百町農業水利ノ調査ニアリテハ一千町歩ノ調査ヲナシ耕地整理ニアリテハ主トシテ溜池ノ增築山林ノ開畑ニシテ農業水利調査ニアリテハ取入口ノ改修水路改良トス

地元ニ於テモ耕地整理竝農業水利改良事業ノ有利ナルヲ自覺シ本年度ノ如キハ既ニ二千町歩ノ申請アリ

縣ニ於テモ之カ指導奬勵ニ力メ施行ヲ必要トスル個所ニハ所有者若ハ町村關係者ノ參集ヲナサシメ講話勸誘ヲナシ益々事業ノ奬勵ニ努メツツアリ

將來耕地整理及農業水利ノ改良ノ施行ヲ要スル見込面積三萬二千三百六十八町ニシテ其ノ內容左ノ

如シ

用水不足溜池ノ不完全ナルモノ	三、八六六町
交通不完全農道ノ改良ヲ要スルモノ	一六、〇九一町
耕地擴張	四、九〇二町
用排水改良ヲ要スルモノ	七、五〇九町

鳥取縣

本縣ノ耕地ハ田三萬三千四百三十七町歩畑一萬五千二百四十三町歩ニシテ內用水不足、排水不良竝區劃農道等不完全ニシテ將來之カ改良ヲ要スヘキモノハ其ノ三分ノ二即約三萬町歩ニ達スルノミナラス大山山麓ノ原野八千町歩ヲ始メトシテ砂丘地沼澤其ノ他縣下各地ニ散在スル山林原野ニシテ開墾シ得ヘキモノ約二萬五千町歩ノ廣キニ及フ

第一表　耕地改良見込地

種類		地目	面積	備考
用水補給ヲ要スルモノ		田	六、四〇〇町	
排水改良	常時排水不良ナルモノ	田	五、一〇〇	
	洪水時一時的排水不良ナルモノ	田	八、二〇〇	
農具改善ヲ要スルモノ		田	一五、〇〇〇	見込面積ニシテ且ツ前掲ノモノト重複スルモノ少ナカラス
		畑	四、〇〇〇	
區劃ノ改正ヲ要スルモノ		田	一〇、〇〇〇	
		畑	二、〇〇〇	

第二表　耕地擴張見込地

開墾田	地目變換田	計	開畑見込地	合計
九、九〇〇町	二、七〇〇町	一二、六〇〇町	一二、九〇〇町	二五、五〇〇町

而シテ本縣ハ夙ニ本事業ノ奬勵ニ意ヲ用ヒ明治三十二年以來耕地整理奬勵規程竝工事補助規程開墾地移住奬勵規程等ヲ公布シ設計調査、工事監督、事務指導等極力之カ普及發達ニ務メタル結果其ノ成績稍見ルヘキモノアルニ至リタルモ尙十分ナラサルヲ以テ大正十三年以來集團地ニ對シテハ其ノ用排水幹線ノ改良工事ヲ縣營ヲ以テ施行シ又耕地整理協會設立セシムルト共ニ縣ニ於テモ專任事務員ヲ設置シ耕地整理組合ニ於ケル殘務整理ノ進捗ヲ圖リ更ニ昭和三年度ニハ大山試驗農場ヲ設置シ大山原野ノ開發ヲ期スル等鋭意事業ノ發展ニ努メツツアリ即チ昭和四年三月末日ニ於ケル事業成績左ノ如シ

第三表　耕地整理成績

第四表　開墾助成成績

設立施行認可 地區數	設立施行認可 面積	設立施行認可 費用	工事中 地區數	工事中 面積	工事完了 地區數	工事完了 面積	換地處分認可 地區數	換地處分認可 面積	事業終了 地區數	事業終了 面積	備考
三〇三	一八、〇三四町	二一、〇八七、七六三円	一五三	一一、二七二町	一四九	六、七六三町	九五	五、三七七町	六七	二、三九八町	明治三十二年度開始

第五表　開墾地移住成績

地區數	面積	助成金	備考
一二一	二、三六四町	一、五一三、一〇四円	大正八年六月開始

戸數	奬勵金	備考
一七二戸	六一、六〇〇円	大正十年度開始

第六表　縣營用排水幹線改良事業成績

種別	箇所數	受益面積	事業費	備考
施行中	三	五、七〇七町	二、〇一〇、〇〇〇円	由良川沿岸、湖山池、野坂川沿岸、米川及新開川
調査濟	二	一、七七六	一、六五五、九〇〇	蒲生川沿岸、大井手
調査中	二	一、五〇〇	—	大路川沿岸、大口堰
未調査	五	三、八二四	—	箕蚊屋其他
計	一二	一二、八〇七	—	

以上述ヘシ如ク成績見ルニ足ルヘキモノアリト雖既耕地中改良事業ヲ施行セルハ僅ニ三分ノ一ニ過キス

又耕地ノ變遷狀況ヲ累年面積表ヨリ推算スルニ其ノ間大正七年同十二年水災アリシニ由ルヘキモ大正七年以來毎年僅ニ平均約百町歩ヲ增加シツツアルニ過キサルハ遺憾ニ堪ヘス

從來ノ趨勢ヲ以テスレハ縣下ニ於ケル約三萬町歩ノ既耕地ノ改良竝二萬五千町歩ノ開拓ヲ遂行スルハ甚タ容易ナラスト雖モ之カ遂行ハ生產增殖上極メテ緊要ノコトニ屬スルヲ以テ將來縣ハ從來ノ方策ヲ踏襲シ且縣財政ノ許ス範圍ニ於テ左記方針ニヨリ政府ノ施設ト相俟テ本事業ノ遂行ヲ期セムトス

一、集團地ニアリテハ其ノ用水及排水幹線ノ改良ヲ順次縣營ヲ以テ遂行スルコト
二、耕地整理法ニ依ラサル耕地改良事業ニモ助成ノ途ヲ講スルコト
三、土性調査ニ基キ之カ改良ヲ實施セシムルコト
四、五町歩以下ノ小面積ノ開墾ヲモ奬勵助長スルコト
五、砂丘地ノ利用方法ヲ考究シ其ノ開發ヲ圖ルコト

六、現行本縣補助規程ノ改正ヲ行ヒ開墾費等所謂地盤費ニ對シ補助ノ途ヲ開クコト

島根縣

現況 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ耕地整理法竝開墾助成法實施以來當局ノ指導奬勵ト縣民ノ自覺トニヨリ逐年其ノ普及發達ヲ來タシ昭和三年度末現在ニ於テ發起設立施行認可ヲ得タルモノ地區數一千百三面積一萬千二十一町歩ニシテ相當ノ効果ヲ收メタルト雖尚擴張見込反別一萬三千六百四十五町歩改良見込反別二萬四千三百二十一町歩ヲ存シ將來ノ計畫ニ俟ツモノ頗ル多シ今其ノ事業ノ成績ヲ示セハ次ノ如シ

一、耕地整理事業

工事完了		換地處分認可		事業終了	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
五〇〇	町 四、九一二	三八一	町 四、四一三	一九五	町 一、八一九

二、開墾助成事業（昭和三年度末現在）

地區數	耕地ノ擴張面積		
	開田	開畑	計
三〇	町 三六八	町 二二	町 三九〇

三、農業水利改良事業

名稱	支配面積	事業費
神戸川農業水利改良事業	町 七三四	円 八八、〇〇〇

四、調査設計

調査種別	面積
基本調査	町 三七、一四〇
土地利用調査	九、五五一
農業水利調査	四、二三四
設計調査	二〇、六五二

趨勢 本縣ハ地勢急峻ニシテ耕地ニ乏シク農家一戸當耕作反別僅ニ八反二畝歩ニシテ過少ナルノミナラス用水不足排水不良區劃亦不正狹少ノ耕地多キニ加ヘ輓近時勢ノ進運ニ伴ヒ道路、鐵道、工場宅地等ノ敷地トシテ潰廢スルモノ遞增シ最近十箇年間ニ於ケル年平均二百二十六町歩ノ減少ヲ示スノ情勢ニアル等耕地ノ擴張改良事業ノ施行ハ最モ緊切ノ急務ナリトス然レトモ經濟界ノ不況竝米價ノ低落等ハ斯業ノ進捗ヲ妨ケ僅ニ用排水施設竝道水路組織ノ改善及小規模ナル擴張事業ヲ行フモノアルニ過キスシテ之カ指導奬勵ニ就テハ今後一段ノ施設ヲ要スヘキモノト認ム

將來ニ對スル指導奬勵方針　昭和三年七月樹立シタル産業計畫ノ方針ニ基キ左ノ事項ヲ行ヒ指導奬勵ノ徹底ヲ期セムトス

一、設計調査、工事監督及事務指導ハ一段ノ周到ヲ期スルコト

二、本縣耕地整理協會ト連絡協調ヲ保チ事業ノ促進ヲ期スルコト

三、土地利用農業水利及土地改良ノ調査ヲ行フコト

四、耕地ノ擴張改良事業ニ對スル國及縣ノ奬勵方針ノ周知ニ努ムルコト

五、耕地ノ擴張及改良事業奬勵ニ關スル設備竝之カ補助ニ就テハ縣財政ノ許ス限リ其ノ充實ヲ期スルコト

岡山縣

現況　本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ年ヲ逐ヒ漸次發達シツツアリト雖今後ノ企畫ニ俟ツヘキモノ極メテ廣汎ニシテ現在田總面積八萬九千二百八十四町歩ノ内用水ノ補給ヲ要スルモノ二萬二千餘町歩、排水ヲ要スルモノ二萬五千餘町歩、計四萬七千餘町歩ニ及ヒ更ニ擴張見込地ハ開田ニ於テ二萬二千餘町歩開畑ニ於テ一萬千餘町歩ニ達セルノ狀況ニ在リ而シテ今左ニ斯業ノ現況ヲ示サムニ

一、耕地整理事業

昭和四年三月末迄ニ組合ノ設立又ハ施行ヲ認可シタルモノハ地區數五百七十七此面積一萬七千町四反歩ニシテ之カ進捗ノ狀況左ノ如シ

種別	地區數	面積
工事着手準備中ノモノ	二三	町 五二四・八
工事中ノモノ	二二〇	九、〇五二・九
工事完了セルモノ	二二九	四、三一五・四
組合解散又ハ事業終了セルモノ	一〇五	三、一〇七・三
計	五七七	一七、〇〇〇・四

二、開墾助成事業

昭和四年三月末迄ニ出願シタルモノハ地區數九十四此面積四千六百四町一反歩ニ達セリ

三、縣營用排水改良事業

本事業ハ三地區ニシテ之カ概要左ノ如シ

地區名	事業ノ目的	關係耕地面積	事業費豫算	附記
鹽手溜池支配地域用水改良事業	用水補給	町 五六二	円 三九〇、〇〇〇	溜池ノ增築、昭和四年三月工事終了
黑谷溜池支配地域用水改良事業	同	五七一	四七〇、八〇〇	溜池ノ新設、昭和二年四月工事着手目下施行中
昭和溜池支配地域用水改良事業	同	六一六	四五〇、〇〇〇	同上　昭和四年度ヨリ五箇年繼續事業目下工事着手準備中
計		一、七四九	一、三一〇、八〇〇	

四、土地改良事業

本事業ハ耕地整理法ニ依ラサル小規模ノ濕田排水事業ニシテ大正十年之カ奬勵費補助規則制定以來昭和二年度迄ニ施行シタル面積二千二百五十七町歩ニ及ヘリ

五、耕地水利事業

本事業ハ町村水利組合等ニ於テ施行スル溜池又ハ堰ノ新設改築事業ニシテ大正十一年之カ補助規則制定以來昭和三年度迄ニ施行シタルモノ溜池ニ於テ二百九箇所堰ニ於テ八十五箇所此關係耕地面積六千七百八十五町歩トス

大要以上ノ如クニシテ何レモ一般ニ良好ナル成績ヲ收メツツアリ

趨勢 本縣ニ於ケル斯業ノ趨勢ハ其ノ當初ニ於テハ事業成否ノ如何ヲ虞レ遲疑逡巡スル者多ク從ツテ事業ノ進捗遲々トシテ振ハサリシモ縣ノ指導奬勵ト良好ナル成績ニ依リ漸次當事者ノ自覺ヲ促シ其ノ發起ヲ見ルニ至リシモノナリ

而シテ近年ニ於ケル情勢ヲ見ルニ耕地ノ改良事業ニ在リテハ大正十三年ノ旱害以來依然トシテ緊急止ムヲ得サル水源工事ヲ主トスル事業多ク道路溝渠ノ改善區劃ノ整理等ヲ行フ事業ハ甚タ稀ナリ耕地ノ擴張事業ニ在リテモ亦小規模ノ計畫多數ヲ占メ規模大ナル事業振ハス豫テ工事施行中ニ係ル兒島灣ノ干拓ノ如キモ其ノ工程遲々トシテ進捗セサル狀況ニシテ殊ニ近來ニ於ケル新規地區ノ內容ヲ見ルニ大部分ハ開畑計畫ニ依ルモノ多シ之レ主トシテ財界ノ不況ト米價ノ低廉トニ起因セルモノト認メラル

然レ共近時平坦部ト山間部トヲ問ハス農用器具機械ノ使用發達ニ伴ヒ農業ノ經營ヲ增大セムトスルノ傾向アリ之カ爲ニ耕地ノ改良或ハ擴張事業ニモ好影響ヲ及ホシツツアリ又最近年度ニ於ケル斯種事業ニ對スル低利資金割當額ノ增加ハ經營困難地區ヲシテ復活セシメ或ハ停止ニ陷レル事業ヲシテ甦ラシメツツアルノミナラス惹テハ新規事業ノ發起ヲシテ大ニ助長セシメツツアリ殊ニ又今回ノ開墾助成法ノ改正ハ一層本事業ノ企圖ヲ促シツツアルカ故ニ從來縣案ノ豫定地ニシテ近ク實施ノ機運ニ向フヘキ見込ノモノ尠カラス即チ其ノ內規模大ナルモノヲ擧クレハ兒島郡福田村地先海面約六百町歩ノ干拓事業淺口郡寄島町地先ニ於ケル同上約百五十町歩及勝田郡方面ニ於ケル面積約百町歩ニ亘ル開墾事業等之ナリ尙先年工事着手後早々ニシテ中止スル眞庭郡蒜仙野面積五百七十七町歩ノ開墾事業モ或ハ早晩復活ニ至ルヘキカト認メラル更ニ關係耕地ノ廣汎ニ亘リ規模大ナル用排水改良事業ニ在リテハ縣營トシテ之カ實施ヲ希望スルモノ多數ニ上リ又町村水利組合等ニ於テ施行スル溜池及堰ニ關スル工事モ年ト共ニ著シク勃興シ每年度之カ補助金申請額ハ縣豫算ノ數倍ニ達シツツアルノ狀況ニ在リ

趨勢ノ大要右ノ如クナルカ故ニ本事業ノ將來ハ益々多端ナルヘキヲ信スルモノナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針 本縣ニ於テハ先ツ從來ノ奬勵施設タル調査設計ノ補助工事ノ指導監督會計事務ノ指導工事費ノ補助土工用器具ノ無償貸與及開墾地移住ノ補助等ヲシテ縣財政ノ許ス限リ一層其ノ內容ヲ充實セシムルコトトシ一面經營困難地區ニ對シ極力救濟ノ途ヲ講セムトス尙其ノ他ノ方面ニ就キテモ努メテ留意シ以テ政府ニ於ケル奬勵方針ト相俟ツテ堅實ナル事業ノ發達ヲ期セムトスルモノナリ

廣島縣

現況　本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ耕地整理法開墾助成法或ハ用排水幹線改良事業補助其ノ他ノ施設ニ依リ逐年發展ノ狀況ニ在リ今ヤ耕地整理施行認可地區數九百四箇所其ノ面積一萬七千餘町歩ニ及ヒ其ノ成績顯著ナリト雖モ其ノ多クハ經營ノ途上ニ在リ尚擴張ノ餘地ト改良ヲ要スヘキ耕地ノ面積相當廣汎ニ亘ルモノアリテ本事業ノ前途ハ頗ル遼遠ナリ縣ハ時勢ニ鑑ミ事業ノ大成ヲ期スルノ緊切ナルヲ認メ鋭意其ノ實施ヲ勸奬シ事業ノ普及發達ヲ促シツツアリ

今事業ノ實績竝將來開發シ得ヘキ見込面積等ニ付其ノ概要ヲ表示スレハ左ノ如シ

(一)　耕地整理事業成績表(年次ハ歷年ニ依ル)

年次	組合設立及施行認可 地區數	組合設立及施行認可 面積(町)	工事完了 地區數	工事完了 面積(町)	換地處分認可 地區數	換地處分認可 面積(町)	事業終了 地區數	事業終了 面積(町)
明治三十七年	13	54.9	—	—	—	—	—	—
同三十八年	13	88.1	1	11.8	—	—	—	—
同三十九年	12	43.5	6	134.7	—	—	—	—
同四十年	15	73.9	2	2.2	2	45.2	—	—
同四十一年	4	58.5	—	—	—	—	—	—
同四十二年	6	51.2	6	104.1	3	42.5	—	—
同四十三年	17	604.0	5	78.6	1	35.0	—	—
同四十四年	16	366.2	7	92.1	2	15.1	—	—
大正元年	3	385.2	6	135.4	5	77.9	1	13.9
同二年	35	996.7	8	57.8	5	73.6	—	—
同三年	27	628.0	13	266.8	6	40.9	—	—
同四年	47	1,564.7	14	174.2	6	138.4	—	—
同五年	40	1,236.7	2	355.4	4	63.6	—	—
同六年	3	305.8	3	228.3	4	44.4	—	—
同七年	7	419.3	10	201.0	7	214.6	2	50.4
同八年	2	356.6	14	226.8	13	199.1	2	133.8
同九年	13	698.6	9	233.8	14	226.5	—	—
同十年	34	753.4	15	260.7	2	317.8	3	60.7
同十一年	6	1,193.3	2	185.4	7	233.6	—	—
同十二年	24	2,106.5	10	146.6	19	211.2	5	36.3
同十三年	34	1,486.0	4	323.2	4	70.6	4	139.6
同十四年	33	1,172.6	14	446.0	17	521.9	6	136.7
昭和元年	14	445.9	10	371.9	15	757.5	—	—
同二年	41	777.3	24	214.7	3	302.4	3	336.4

昭和三年	二五	六六〇・二	六四	三三二・三	八	三〇二・八	三	一六・九
同四年(四月末日迄)	一三	五四五・六	一四	一八九・六	四	四三・九	一	九・八
計	九〇四	一七、六三二・六	三〇〇	四、六三三・四	一七八	三、六九五・五	三〇	五二八・五

(二) 開墾助成出願狀況(表年次ハ歷年ニ依ル)

年次	地區數	擴張面積 開田	擴張面積 開畑		擴張面積 計
		町	町		町
大正八年	一七	一七六・五	二六・一	—	二〇二・六
同九年	六	一〇五・七	一九・四	—	一二五・一
同十年	一六	一七九・三	一二・〇	—	一九一・三
同十一年	一三	八五・五	一五一・五	—	二三七・〇
同十二年	七	五三・六	二・〇	—	五五・六
同十三年	一五	一九八・〇	一五・〇	—	二一三・〇
同十四年	九	九八・五	八・二	—	一〇六・七
昭和元年	六	六四・一	八・四	—	七二・五
同二年	五	四二・七	一・四	—	四四・一
同三年	一	一五・二	〇・六	—	一五・八
同四年(四月末日迄)	—	—	—	—	—
計	九五	一、〇一九・一	二五四・六	—	一、二七三・七

(三) 縣營用排水幹線改良事業一覽

名稱	目的	事業	受益面積	事業費	一町歩當事業費	增收見込高	事業期間
服部池支配地域 大谷池	用水補給	溜池改築及新設	一、〇三三町	五三〇、〇〇〇円	五一三・〇六円	米 二、五三三石	自大正十五年度 至昭和四年度

(四) 耕地擴張及潰廢面積比較表(每年自一月一日至十二月三十一日事實)

年次	耕地擴張面積 田	耕地擴張面積 畑	耕地擴張面積 計	耕地潰廢面積 田	耕地潰廢面積 畑	耕地潰廢面積 計	差引增減(△印ハ減) 田	差引增減(△印ハ減) 畑	差引增減(△印ハ減) 計
	町	町	町	町	町	町	町	町	町
大正七年	一二六・四〇	一三三・八〇	二五〇・二〇	九三・三〇	八四・四〇	一七七・二〇	三三・一〇	△四九・四〇	七三・五〇
同八年	九〇・四九	七四・一四	一六四・六三	二九九・八四	一三三・三七	四三三・二一	△二〇九・三五	四八・三三	△二六八・五八
同九年	一三一・七六	一一一・三八	二四三・一四	一二二・一三	五四・八二	一七六・九五	九・六三	五六・五五	六六・一九
同十年	二六二・六三	一〇三・四九	三六六・一二	六七・四六	七三・〇四	一四〇・五〇	一九五・一六	三〇・四五	二二五・六一
同十一年	一七三・七九	一三六・一三	三〇八・九二	八四・二〇	一一九・二三	二〇三・四四	八八・七七	一七・〇〇	一〇五・七七
同十二年	一四二・〇〇	一二一・九二	二六四・九二	六三三・六三	一九九・二〇	八三三・八三	△四九一・六三	△七七・二八	△五六七・九〇
同十三年	三三三・〇〇	一一〇・一〇	四四三・一〇	一五一・九〇	一四六・一〇	二九八・〇〇	一八一・一〇	△三六・〇〇	一三五・一〇
同十四年	二九二・四九	一三一・七四	四二四・二三	一一八・四八	九三・六七	二一二・一五	一七四・〇一	三八・〇七	二一二・〇八
昭和元年	二四九・四〇	一九四・三〇	四四三・七〇	四三五・三〇	二二四・六〇	六四九・八〇	△一八五・八〇	△三〇・三〇	△二〇七・一〇
昭和二年	三三三・六〇	一一八・九〇	四四一・五〇	一七一・七〇	一一〇・六〇	二八二・三〇	一五〇・九〇	八・三〇	一五九・二〇
計	二、〇九三・五五	一、二三五・八九	三、三二九・四四	二、一六七・六五	一、二〇七・九二	三、三七五・五七	△七四・一〇	二七・九七	△四六・一三
平均	二〇九・三六	一二三・五九	三三二・九四	二一六・七七	一二〇・七九	三三七・五六	△七・四一	二・八〇	△四・六一

（五）耕地擴張改良見込地（本調査ハ大正六年施行セル生産調査ノ結果ヲ基準トシ以降ニ於ケル擴張改良實施濟ノモノ及調査漏ノモノヲ相當加除ス）

（イ）耕地ノ現在及擴張改良見込面積

縣内土地總面積	現耕地 面積	現耕地 土地總面積ニ對スル割合	耕地面積全國ノ順位	耕地擴張 見込面積	耕地擴張 將來ノ耕地面積	耕地擴張 同上ノ土地總面積ニ對スル割合	現耕地改良 耕地整理認可面積	現耕地改良 將來改良見込面積
八四〇、一五〇町	一一二、四二三町	一割三分四厘	一五	二二、五一三町	一三四、九三六町	一割六分一厘	一六、四八〇町	四〇、八九七町

（ロ）現地目別耕地擴張見込面積

開墾及開拓（山林、原野、池沼其ノ他） 田	同 畑	同 計	地目變換（畑）	新開（海面、湖海、官有水面） 田	同 畑	同 計	合計 田	合計 畑	合計 計
一一、四一八町	一〇、二二九町	二一、六四七町	二、六二一町	四一三町	四五三町	八六六町	一一、八三一町	一〇、六八二町	二二、五一三町

（ハ）目的別耕地改良見込面種

現耕地改良見込 面積	現耕地改良見込 現耕地ニ對スル割合	主トシテ排水改良 面積	主トシテ排水改良 現耕地ニ對スル割合	主トシテ用水改良 面積	主トシテ用水改良 現耕地ニ對スル割合	主トシテ區劃整理 面積	主トシテ區劃整理 現耕地ニ對スル割合
四〇、八九七町	三割六分三厘	二一、三二四町	一割八分九厘	七、四一一町	六分六厘	一二、一六二町	一割八厘

（ニ）農業水利改良ヲ要スル三百町歩以上ノ集團地ノ用排水不良狀況

種別	用水不良ナルモノ 地區數	用水不良ナルモノ 面積	排水不良ナルモノ 地區數	排水不良ナルモノ 面積	用排水不良ナルモノ 地區數	用排水不良ナルモノ 面積	計 地區數	計 面積
三百町歩以上五百町歩未滿ノ集團地	三	一、一九〇町	三	一、〇三七町	—	—町	六	二、二二七町
五百町歩以上ノ集團地	二	一、六三一	三	二、一二七	二	一、一四〇	七	四、八九八
計	五	二、八二一	六	三、一六四	二	一、一四〇	一三	七、一二五

總勢　本縣ノ耕地整理ハ其ノ當初濕田約二萬町歩ヲ乾田ト爲スノ目途ヲ以テ奬勵ニ努メタル結果暗渠排水ヲ主要工事トスルモノ多數ナリシカ其ノ後區劃ノ整理、農業水利ノ改善、農道ノ改修、地目變換、開墾及湖海ノ埋立干拓等ヲ主目的トスルモノ漸次增加シ殊ニ大正十三年八月稀有ノ旱魃ニ遭遇シ被害激甚ヲ極メ其ノ地域廣汎ニ亘リタル爲是等旱害耕地ノ補水ヲ主目的トシテ事業ヲ計畫スルモノ續出ノ狀態ニ在リ又大正八年、十二年及十四年ヨリ昭和三年ト比年相踵ク洪水ニ因リ耕地ノ荒廢シタルモノ尠カラス之等ニ對シテハ急速ニ復舊事業ノ促進ヲ圖リ且計畫ノ完璧ヲ期シ事業ノ效果ヲ永遠ニ收ムルノ趣旨ニ依リ復舊事業ハ總テ耕地整理法ニ依リ之ヲ施行シ可及的開墾助成法ノ適用ヲ受ケシム就中大正十五年ニ於ケル安藝、佐伯、安佐三郡ニ亘ル水害ト昭和三年ニ於ケル安佐、佐伯、安藝、高田、双三、山縣ノ六郡ニ亘ル水害ハ其ノ被害ノ程度深刻ナリシヲ以テ特別ノ施設ニ依リ補助計畫ヲ樹立シ前者ハ昭和二年度ヨリ二箇年繼續事業トシテ已ニ復舊事業ヲ完成シ後者ハ昭和三年度ヨリ三箇年繼續事業トシテ着々進行中ナリ

尚目下内務省ノ實施中ニ依ル芦田川改修ト相俟テ其ノ沿岸ノ用排水不良耕地ニ對スル改良計畫ヲ樹立シ治水上萬全ノ效果ヲ期スルハ地方産業ノ振興ニ必要ナル緊切ノ事業ト認メ主務省施行ノ農業水利調査ヲ申請シ既ニ福山市外二箇村（瀨戸池關係）ノ用水改良竝深安郡中津原村ヲ中心トスル排水改良ノ二箇所ハ計畫書ノ交付ヲ受ケ之カ實施ニ關シ地元關係市町村ト折衝中ニ屬シ其ノ他ノ地域ハ引續キ急速調査稟請中ナリ

耕地ノ擴張事業ニ關シテハ開墾助成法施行以來一時著シク斯業ノ進展ヲ促シタルモ施行地ノ多クハ備後北部ノ山岳重疊セル谿間ニ介在スルヲ以テ地勢上廣大ノ地域ニ亘リテ施行スルコト能ハス從テ其ノ施行面積ニ著シキ增加ヲ見ルコト能ハサルノミナラス事業ハ概ネ用水源トシテ溜池工事ヲ伴フヲ以テ自ラ工費ノ增嵩ヲ來シ偶經濟界ノ變動ニ遭遇シ或ハ工事ノ成績不良等ノ事情ニ因リ經營困難ニ陷レルモノト認メラルルモノアリ一般ニ開墾事業ニ對スル現下ノ實情ハ甚タシク不振ノ情勢ニ在ルモノト認メラル

將來ニ對スル指導奬勵方針

一、本縣ニ於ケル耕地ノ實狀ハ農業水利ノ不良ナルモノ相當廣汎ニ亘リ比年水旱ノ被害甚大ニシテ直接農作物ノ損失夥シキハ勿論其ノ復舊改良ニ莫大ノ費用ヲ要シ農家經濟ヲ極度ニ疲弊セシムルノミナラス延テハ醇朴ナル農民ヲシテ自暴自棄ニ陷ラシムル虞ナシトセス縣ノ產米反當收量カ隣接諸縣ニ比シ遜色アルヲ免レサルハ主トシテ茲ニ基因スルモノト認メラル

農業水利ノ改善ハ耕地整理等ノ施行ニ依リ漸次其ノ實ヲ擧ケツツアリト雖關係地域稍大ナルモノニ在リテハ其ノ實行容易ナラス仍テ縣ハ急速ニ縣下ニ亘リ農業水利調査ヲナシ事業ノ方法計畫ノ綱要ヲ立案シ以テ關係當業者ノ指針トナシ進テ事業實施ノ奬勵ニ關スヲ施設ヲ爲スヘク考慮中ナリ

二、現在施行シツツアル實地踏査、設計調査、工事監督、事務指導及確定測量等ノ施設ニ付能率ヲ增進シ徹底ヲ期スルハ勿論特ニ財政竝經營上ニ付周到ナル指導監督ヲ爲シ一層事業ノ緊實ナル進展充實ヲ圖ルコト

三、工事費補助、災害耕地復舊費補助、開墾地移住奬勵金ヲ交付シ企業者ノ負擔ヲ輕減セシムルコト

四、開墾及耕地整理工事ノ能率ヲ增進セシムル爲拔根機土締機ヲ備付ケ無償貸付スルコト

五、地域廣汎ニ亘リ規模大ナル農業水利改良事業ハ地元ト協力シ縣營ニ依リ之ヲ施行スルコト

六、工事完了後ノ事務ノ進捗ヲ圖ル爲昭和三年度ヨリ該事務ニ關スル一切ノ書類ハ縣ニ於テ作成シ之ヲ整理施行者ニ交付ス

山口縣

現況竝趨勢　本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ逐年勃興スルニ至リ本年三月末日現在地區總數ハ七百六十六其ノ面積二萬三千五百十九町餘歩ニ達シ内工事完了セルモノ五百八十五箇所面積一萬二千三百五十三町歩ニシテ工事中ノモノ百六十箇所面積一萬五十六町歩餘ナリ而シテ此等事業中最モ多キハ暗渠排水整理ニシテ創業當時最モ多カリシカ開墾助成法ノ實施ニ伴ヒ開墾埋立地目變換干拓等耕地ノ擴張事業增加シ本年三月末日現在開墾助成地區六十八箇所其ノ面積四千一百四十七町歩ニシテ目下出願中ノ

モノ二箇所面積百五町步本年度出願見込ノモノ十四箇所面積百二十五町步トス又縣營事業トシテ工事中ノモノ二箇所アリ其ノ一箇所ハ小郡灣干拓事業ニシテ已ニ主要工事ハ終了シ目下區劃ノ整理及附屬工作物工事中ナルモ已ニ縣內ヨリ五十戶ヲ移住セシメ共同作業場公會堂簡易水道等共同的施設ヲナシ以テ新耕地ヲ利用シツツアリ他ノ一箇所ハ井關村用水改良事業ニシテ混凝土堰堤ヲ主トシ已ニ三割餘ノ工事進行ヲナシ本年度內ニハ工事完了ノ豫定トス最近ニ於テハ農道ノ新設改修、溜池ノ築造等ニ依リ既耕地ノ改良事業最モ多ク又地下水ヲ利用シ電力灌漑ヲナシ其ノ他水害復舊ヲ主トスル事業等少カラス尙災害又ハ溜池不良等ニ依リ組合員ノ負擔多額トナリ經營困難トナレルモノ數箇所アリ之ニ對シテハ善後策ヲ樹テ實行方督勵中トス斯クノ如ク多數ノ事業中ニハ一部分ニ成績不良ノモノアリト雖一般ニハ順調ニ事業發達シ工事施行後ノ成績良好ニシテ每年二千餘町步ノ調査設計ヲ爲シ一千町步內外ヲ施行シツツアルノ狀況ナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣ニ於ケル將來開墾地目變換、埋立干拓等耕地ノ擴張見込地ハ四萬餘町步ニシテ既耕地ノ用水補給ヲ要スヘキモノ又ハ排水不良ノモノ二萬二千五百町步耕作道及水路ノ改修田區整理ヲ必要トスルモノ一萬四千三百町步ニ達スル狀況ナルヲ以テ縣ハ此等中ヨリ最モ有利確實ナルモノヨリ順次奬勵シ其ノ規模擴大ナル用排水幹線ニアリテハ縣營事業トシ其ノ他ハ組合又ハ地區ヲシテ施行セシメ調査、設計、工事監督事務指導ヲ爲スト共ニ工事費ニ對スル補助事業資金ノ斡旋開墾地移住家屋ノ補助ヲ行ヒ工事完了後ハ確定測量換地交付等一切ノ殘務整理ノ助成ヲナシ一面既耕地整理地區ノ利用增進ト經營困難ナル組合ノ救濟及設備ノ改善ヲ圖リ更ニ維持管理ノ周到耕作者ノ發奮向上ヲ圖ル等一段ノ督勵ヲ爲サムトス

德島縣

現況

耕地整理設立施行認可地區數	一三七	
同　上　面積	四、六九〇町	
同　上ノ內事業終了地區數	一五	
同　上　面積	七二九町	（昭和四年四月末調）

趨勢　數年ニ亘ル旱害地竝從來踏車灌漑ニ依ル地方ハ之カ對策トシテ電力揚水機新設溜池新設改造等ニ依ル灌漑事業著シク增加シ殊ニ最近ニ到リテハ五百町步以上ノ大地區ノ用排水事業ノ申請地數多アリ益々事業進展シ耕地擴張事業ハ地目變換開墾等增加ノ趨勢ニアリ

將來ニ對スル指導奬勵方針

一、調査設計豫定　（五〇〇町步以上ノモノ）

地區名	面積	備考
北旒用水普通水利組合	五、〇〇〇町	昭和二年度ヨリ着手目下調査中　用水改良

那賀川南岸地區	一、五〇〇	調査設計終了但事業施行ニ到ラス	同上
飯尾川地區	六〇〇	未調査	排水改良
立江川地區	五五〇	目下調査中	同上
那賀川北岸地區	二、五〇〇	一部調査終了	用排水改良
吉野川南岸地區	一、二〇〇	調査大分部終了	同上
小松島町地區	一、〇〇〇	昭和元年度ヨリ着手目下調査中	同上
板野郡川內村地區	五〇〇	目下調査中	同上
江川廢川地區	—	同上	同上
計	一三、三五〇		

二、耕地擴張見込

七、一一六町ニシテ開墾埋立干拓ニ依リ內田トナルモノ五、八〇五町畑トナルモノ一、三一一町

三、耕地改良見込

二二、二六〇町ニシテ灌漑水不足、排水不良ニ依ルモノ（一時的洪水被害ヲモ含ム）

香川縣

現況竝趨勢　本縣ノ人口ハ昭和二年末現在七十一萬餘全戶數十四萬五千餘ニシテ內農家戶數九萬九千餘住民ノ約六割九分ハ農業經營ニ依リ生計ヲ樹ツルモノニシテ人口割合ニ比シ耕地面積狹隘ナル爲耕地總面積五萬七百餘町歩ニ對シ農家一戶當僅ニ五段一畝歩ノ小面積ニ過サルノ現況ニアリ加之爾來年々人口增加ノ趨勢ニアリテ農村經濟爲ニ疲弊ヲ蒙リツツアリ

之カ對策トシテ耕地擴張改良ニ就テハ縣當局ノ夙ニ痛感セルトコロナルモ地形及水利等ノ關係上實行容易ナラス將來開發セントスル山林ハ比較的傾斜急ニシテ小規模ノ開墾豫定地多ク事業有利ナリト認ムルモノアレトモ相當多大ノ費用勞力ヲ要スルノ止ムナキ狀態ニアリ縣當局ニ於テモ是カ設計計畫ヲ樹ツルニ當リ將亦工事施行ニ付テモ相當注意ヲ怠ラス指導監督ヲナシツツアリ尙耕地改良事業トシテハ主トシテ貯水池ノ新設擴張等ニ依ル用水補給事業其ノ大部分ヲ占ムルモ何レモ事業ノ遂行上相當困難ナル狀勢ニアリ而シテ耕地整理法實施以來施行認可ヲ與ヘタル地區數ハ二百三地區總面積六千八町歩餘是カ整理費總額ハ三十五萬九千四百九十八圓ナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本件ニ關シテハ相當考慮スル處アルモ縣經濟ノ關係上到底理想的方針ヲ樹ツル能ハス從來ノ如ク調査設計確定測量、工事監督、事務指導等ノ設備ヲ徹底セシメ可成事業ノ堅實ヲ計リ尙用排水改良ノ必要ヲ認ムル地方ハ之カ基本調査ヲ爲シ事業實施ニ努メムトス

愛媛縣

現況竝趨勢　本縣ノ耕地擴張改良事業ハ主トシテ耕地整理法又ハ開墾助成法ニ依リ調査設計工事監督事業指導補助金交付等國ノ奬勵施設ト相俟テ專ラ勸奬ニ努メ或ハ用排水改良事業トシテ縣營ヲ以テ直接實施ヲナス等銳意事業ノ促進ヲ圖リタル結果現在ニ於ケル事業成績ハ耕地整理施行地區數三〇〇而

積一六、二八〇町歩内工事完了地區數一五三面積六、六六〇町歩開墾助成地區數三一面積二、〇一二町歩縣營用排水改良事業地區數二面積一、三九五町歩ナリトス本縣現在耕地面積ハ十萬九千餘町歩ヲ算シ耕地擴張面積ハ年ニ依リ消長アリト雖最近一箇年平均二百五十町歩ニ達ス然レトモ一面ニ於テ地方ノ開發ニ伴ヒ道路軌道用地建物敷地等トシテ年々耕地ノ潰廢ニ歸スルモノ尠カラス差引耕地面積ハ漸次減少ノ傾向アリテ本縣農業政策上注意スヘキ情勢ニアリ近時農村經濟不況ノ影響ヲ受ケ開墾事業ハ稍ヤ不振ノ狀況ナルモ將來耕地擴張見込地一三、五〇〇町歩ニ達スルヲ以テ開墾助成法改正ノ結果事業ノ勃興ヲ見ルニ至ルモノト思惟セラル耕地改良事業ニ在リテハ用水不足地竝排水不良地尠カラスシテ農業水利ノ改良ヲ要スルモノ八千八百町歩ニ達シ之カ改良ヲ企畫スルモノ年ト共ニ增加シ此ノ種ノ事業益々發展ノ趨勢ニアリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　農業水利調査ヲナシ農業水利改良ノ根本方策ヲ確立シ以テ事業ノ促進ヲ圖リ耕地擴張事業ニ在リテハ事業ノ成功確實ナルモノニ對シテハ努メテ其ノ實行ヲ促シ難工事ニシテ多額經費ヲ要スル等實施容易ナラサルモノニ對シテハ特ニ周密ナル調査ヲナシ事業計畫上遺漏ナキヲ期シ尙縣經濟ノ許ス限リ指導奬勵施設ノ徹底ヲ圖リ一層斯業ノ發達ヲ斯セムトス

高知縣

現況竝趨勢　本縣ハ明治三十九年耕地ノ擴張改良事業ニ關スル諸種ノ規程ヲ設ケ爾來政府ノ奬勵ト相俟チ施設ノ改善ニ努メ開墾地目變換竝耕地ノ改良ニ縣費補助ヲ支出シ着々其ノ實績ヲ收メツツアリシニ偶々大正九年八月本縣西部幡多郡ノ大風水害ハ耕地二千五百餘町歩ヲ荒廢ニ歸シ縣下產業ノ進展ニ一大頓挫ヲ來スニ至レリ之カ復舊ニ全力ヲ傾注シ設備費九萬二千五百圓補助費二十四萬四百餘圓ヲ計上シ尙事業資金トシテ國ヨリ二百三十二萬餘圓ノ貸付ヲ受ケ組合ニ轉貸シ大正十三年漸ク復舊ヲ竣ヘタルニ大正十四年九月再ヒ本縣中東部香美長岡二郡ノ沃野一千町歩ノ災害ヲ蒙リ次テ大正十五年本縣東部安藝郡ニ於テ五十一町歩昭和二年本縣中西部吾川高岡二郡ニ於テ八百餘町歩ノ災害ヲ連續的ニ蒙リ之カ復舊ニ設備費六萬九百餘圓補助費三十二萬五千九百餘圓ヲ計上シ更ニ事業資金九十九萬二千餘圓ヲ國ヨリ借受ケ組合ニ轉貸シテ復舊ヲ急キ昭和二年ノ災害ハ目下復舊事業施行中ニシテ此間災害地ノ復舊ニ沒頭セシ爲普通整理事業ノ進捗ヲ不尠阻止セラレタルモ斯ク全縣下ニ亘ル年々ノ災害復舊竝改良工事ハ一般ニ耕地整理事業ノ有益ナル點ヲ悉知セシムルノ機會ヲ與ヘタルニヨリ近時耕地整理事業計畫著シク增加シ別表ノ通耕地整理組合數五一一整理施行面積一萬三千餘町歩ニ達シ昭和四年度ニ於テハ更ニ縣費補助金ノ增額ヲナシ普通整理ノ奬勵ニ努メントス

而シテ用排水幹線改良事業トシテ曩ニ安藝郡枥ノ木堰ノ改修ヲ行ヒ六百町歩耕耘ヲ利シ昭和三年度ニ於テハ吾川郡八田堰及高岡郡日下加茂ノ兩事業ヲ採擇セラルルコトトナリ八田堰ハ既ニ工事ニ着手シ日下加茂又近ク着手ノ運ヒニ至ルヘク右事業完成後ノ享クル利益多大ナルハ信シテ疑ハサル處ナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣ニ於ケル田地面積ハ三萬七千五百九十餘町歩其產米六、七十萬石ニシテ年々十萬乃至十五萬石ヲ移入スルノ狀態ニアリ然ルニ耕地整理施行見込地ハ田畑山林原野等二萬

餘町歩ヲ有スルニヨリ既定計畫ニ基キ耕地ノ擴張改良事業ノ遂行ニ務メ他ノ施設ト相俟チテ産米ノ増殖ヲ速カナラシムヘク就中本縣ノ用排水幹線改良事業豫定地ハ水利關係極メテ不良ニシテ不毛ノ地ニ近ク之カ改良ノ曉ハ産米増收品質ノ向上ニ多大ノ效果アルヲ以テ先ツ用排水幹線改良事業ノ促進ニ努メ併セテ普通耕地整理事業ノ遂行ニ努力セントスル方針ナリ

耕地整理施行面積調　（昭和四年四月末日現在）

種別	組合數	整理前面積 民有地	整理前面積 國有地	整理前面積 計	整理後面積 民有地	整理後面積 國有地	整理後面積 計	差引増反別
		町	町	町	町	町	町	町
普通整理	二三	八、八八二	九六二	九、八四四	八、九二二	一、〇〇四	九、九二六	八二
災害復舊耕地整理	二九	三、一六九	五三二	三、七〇一	三、二二六	五五三	三、七七九	七八
計	五二	一二、〇五一	一、四九四	一三、五四五	一二、一四八	一、五五七	一三、七〇五	一六〇

内開墾助成地區調

種別	組合數	開田面積	開畑面積	合計
		町	町	町
普通整理	二一	二〇〇	三一	二三一
荒地復舊	三二	八三一	三三	八六四
計	五三	一、〇三一	六四	一、〇九五

福岡縣

一、福岡縣ニ於ケル耕地ノ改良及擴張事業ハ年ト共ニ進展シツヽアリ最近ノ狀勢ハ企業地區數千二十四其面積三萬七千餘町歩ニ達シ内工事ノ完了シタルモノ地區數八百九十七其ノ面積二萬四千八百餘町歩ニシテ事業ヲ完了シ又ハ解散シタルモノハ其内地區數三百一面積六千九十餘町歩ナリ是等ノ企業ハ大體ニ於テ秩序的進捗ヲ爲シツヽアリ又工事ノ完了シタルモノニ比シ事業ヲ完了解散シタルモノ比較的尠キハ債務ノ償還未濟ナルモノ多キニ依ル

近年電氣ヲ動力トスル灌漑事業及筑後川改修工事ニ伴ヒ沿岸耕地内ニ介在スル堀ヲ埋立ツル事業ノ企畫セラルルモノアリ又最近地下水ヲ利用シテ開田又ハ用水補給ヲ行フ事業頻リニ企圖セラレツヽアリ

二、大正八年開墾助成法施行セラレテ以來本縣ニ於ケル助成事業ハ逐年増加シ現在企業數百三十七助成承認面積三千四百餘町ニ達シ内工事竣成シタルモノ面積二千百餘町助成金ヲ交付セラレタル金額百四十一萬餘圓ニ上リ事業成績概シテ良好ナリ

而シテ此ノ種開墾助成事業ハ郷土ノ農業勞力ノ餘力ヲ以テ經營セムトスルモノ大部分ニシテ從テ其ノ規模ハ比較的小ナルモノナリ

三、本縣ノ如ク開拓普ク行ハレタル地方ニ在リテハ斯ノ如ク開墾ノ規模ノ漸次狹小トナルハ趨勢トシテ已ヲ得サル所ナルヘシ而シテ開墾助成法ノ適用サルル面積ノ制限ヲ更ニ緩ムルヲ得ハ更ニ企業進展

シ其ノ實績ヲ大ナラシムルモノアルハ逆堵スルニ難カラス

三、本縣耕地ノ擴張見込地ヲ見ルニ地目變換又ハ開墾ニ適スルモノ二萬千六百餘町新開地八千三百餘町計三萬町又既耕地ノ改良ヲ要スルモノ二萬二千四百餘町其他炭坑ノ影響ヲ受ケ不耗ニ歸シタル耕地ノ整理見込地約三千町歩アリ然ルニ本縣ノ農耕地ハ總面積約十五萬町農家戶數約十五萬ニシテ一戶ノ平均耕作地田畑計約一町歩ナルニ過キス又近年耕地ノ擴張ハ潰廢ヲ補フニ足ラス過去十一箇年平均ハ年々約四百六十四町ノ減少ヲ見更ニ人口ト食糧トノ關係ニツキ考察スルニ本縣ニ於ケル現住人口二百四十四萬二千五百十四人米ノ生産高二百三十三萬七千石ナリ之ヲ現況ニ照スニ米穀ハ年々多少ノ輸移出ヲ見ツツアリト雖年々ノ人口增加約二萬五千餘人ナル大勢ニ鑑ミルトキハ將來主要食糧ノ消費ハ遙ニ生産ヲ凌駕スルモノアルヘシ斯クノ如ク彼此考察スルトキハ食糧增殖ヲ計ルコトノ要愈急ニシテ從テ耕地ノ改良擴張ヲ策スルハ益々喫緊ナリトセサルヘカラス折柄小作爭議景氣不振等ノ影響ニ依リ企業豫期ニ反スルモノアリト雖世況轉換ノ機ニ際セハ自ラ企業ヲ見ルニ至ルヘキハ逆堵スルニ難カラス故ニ本縣ニ於ケル斯業ノ前途ハ將來ニ於テ更ニ發展スヘキ趨勢ニアルモノト見ルヲ得ヘシ

四、本縣ニ於ケル開墾事業中ニハ移住者ノ招致ヲ要スルモノアリ依テ開墾地移住ヲ奬勵スル一端トシテ移住家屋ノ建築ヲ奬勵シ奬勵金ヲ交付シツツアリ大正十四年以來奬勵金ヲ交付シタルモノ四十三戶ニシテ每年平均十戶ノ移住家屋ノ建設ヲ見ツツアリ

五、本縣ニ於ケル鑛業陷落地ハ一市八郡ニ亘リ陷落ノ休止セルモノ五百五十餘町陷落中ノモノヲ合スレハ約三千百餘町歩ニ達セリ然ルニ既往ニ於テハ是等陷落地ノ復舊ハ遲々トシテ進マス一方陷落地ハ更ニ年々其ノ面積增加シ不耗地ヲ擴大シ而モ被害者ト鑛業者トノ間ニハ種々ノ交涉問題起リ遂ニハ社會問題ニ進展セムトスル形勢ナリ此ノ耕地ノ陷落ハ數多ノ大炭田ヲ有スル本縣特有ノ事象ニシテ之カ復舊或ハ利用增進事業ノ企圖ヲ促スハ耕地ノ改良擴張ト相俟テ最喫緊適切ナル政策ナリト信ス

六、本縣ニ於テハ農業水利ノ改善ヲ行ヒ以テ土地農業上ノ利用增進ヲ計ルヘキ箇所尠カラス本年度ニ於テハ三井郡北野町外五箇村九百町歩ノ排水幹線タル陣屋川ノ水利改良費二十八萬千圓ヲ計上シ之ヲ三箇年間ニ完成セムトス其ノ他筑後川筋ニ於テハ其ノ改修工事ノ進捗ニ伴ヒ農業水利ノ變更ヲ要スルモノ尠カラス當面是等水利上ノ措置ヲ要スルモノニ付之ヲ善處スル爲昭和二年度ヨリ調査ヲ行ヒツツアリ又鞍手遠賀二郡ニ跨ル西川ノ流域西川村六箇町村ニ亘ル廣袤七千餘町歩ノ排水不良竝礦毒水被害地及三潴郡城島町外箇町村ニ亘ル山ノ井川沿岸耕地八千町ノ排水不良三井郡北野町外五箇村ニ亘ル太刀洗川沿岸地九百町ノ浸水被害地ニ對シ其水利改良及被害除却ノ目的ヲ以テ本年度ニ調査ヲ行ハムトス

七、以上ノ實況ニ對シ縣ハ昭和四年度ニ於テ縣費三十萬九千餘圓ニ企業者ノ寄附金二萬二千餘圓ヲ加ヘ以テ調査竝ニ指導監督ニ從事スル職員ヲ設置シ又ハ工事費補助及奬勵金交付等ヲ行ヒツツアリ其概要左ノ如シ

一、縣職員費　七四、三五〇圓

一、農業水利調査費　一三、三〇六圓
一、陷落地整理費　四、二七二圓
一、排水改良事業費本年度支出額　九三、〇〇〇圓
一、耕地整理費補助　一二三、三四二圓
一、開墾地移住家屋建築費補助　二、〇〇〇圓
計　三〇九、二七〇圓

而シテ將來ニ於テモ是等ノ督勵指導助成ヲ行フハ勿論特ニ農業水利調査竝鑛業被害耕地調査ニ關シテハ專從職員ノ施設ヲ增シ以テ事業ノ進展ヲ促スノ外企業ノ趨勢ニ伴ヒ機宜ノ施設ヲ爲サムトス

佐賀縣

現況　本縣ニ於ケル耕地ノ面積ハ昭和二年末現在ニ於テ七萬二千八百餘町歩ニシテ農家一戸當平均約一町七畝歩ニシテ敢テ過少ナリトハ謂ヒ難キモ元來本縣ハ米麥ヲ以テ主要物產トセル關係上耕地整理事業進展ノ如何ハ直ニ縣產業上ニモ至大ノ關係ヲ有スルカ故ニ耕地ノ改良擴張ヲ計リ以テ土地ノ農業上ノ利用價値ヲ增進シ農業經營ノ基礎ヲ經濟的ニ樹立スルハ刻下ニ於ケル喫緊ノ要務ナリトス然レハ之カ發達進展ヲ圖ラムカ爲ニハ如何ニシテ指導奬勵ニ努ムルヤニ付銳意研究努力ヲ續ケタル結果明治三十二年耕地整理法實施以來既ニ事業ノ認可ヲナシタルモノ四百六地區此ノ施行面積一萬四千百十三町ニ達ス又大正八年開墾助成法實施以來之カ適用ヲ受ケタル地區數八十四其ノ開田面積二千七百七

十七町歩開畑面積百三十七町歩ニ及ヒ其ノ成績ノ稍見ルヘキモノアリト雖未タ決シテ滿足スヘキ狀態ニアラス縣下ヲ通シ灌漑水不足ニシテ改良ヲ要スヘキモノ八千百餘町歩排水不良ニシテ改良ヲ要スルモノ六千百餘町歩竝開墾見込面積一萬五千餘町歩ニ達スル狀態ニ在リ

斯クノ如キ狀態ナルヲ以テ惡水被害地帶ニシテ耕地五百町歩ヲ支配スル區域ニ對シテハ用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ用排水幹線ノ改良事業ヲ施行シテ之カ改良ヲ期スヘク殊ニ縣下ヲ通シ溜池ノ新築ニ依ル開田又ハ用水補給ヲ爲サムトスル事業ノ多キニ鑑ミ本年度ニ於テ溜池集水步合調査ヲ爲シ以テ溜池集水率ノ正確ヲ期シ溜池計劃上ニ付誤ナカラシメントス尚耕地ノ擴張改良計劃ノ基礎トナルヘキ農業水利調査ヲ實施スル等銳意之カ指導奬勵ニ努メツツアリ

工事完了ノ事務ハ頗ル繁雜ナレハ事業者ヲシテ逡巡セシムル傾向アルヲ以テ之ヲ指導ニツキ銳意促進ニ努ムルト共ニ耕地協會ニ對シ指導ノ幇助ヲナシタル爲目下工事完了地區數百八十三此ノ面積四千三百三十五町歩ノ中換地處分濟ノモノ百七十七地區此ノ面積三千六百五十八町歩ニ達スルニ足レリ

趨勢　耕地整理事業タルヤ多額ノ費用ヲ要スルト共ニ周到ナル財政計劃ノ下ニ事業ノ遂行ヲ期スルコトハ論ヲ俟タサル所ニシテ金融界ノ盛衰ニ依リ之カ消長ヲ來スモノナレハ近時財界ノ不振ハ動モスレハ企畫上一頓座ヲナセルモノ無キニ非ラスト雖縣ノ指導ト奬勵トハ耕地ヲ改良シテ農業經營方法ノ改善ヲナシ耕地ヲ擴張シテ農產ノ增加ヲ圖ルハ刻下ノ急務トスル所ヲ自覺セシメ古田ノ暗渠排水ノ整理ニ溜池ノ新設又ハ地下水ノ利用ニ依ル開田又ハ用水ノ補給ヲ爲スモノ漸次多キヲ加フルニ至レリ殊ニ晚近公有水面ノ干拓ヲ企圖スルモノ多ク最近組合設立ノ認可ヲナシタルモノニシテ既ニ工事中ニ屬

スルモノ七百餘町歩ニ達スル現況ニシテ今後財界轉換ノ機ニ際會センカ企業勃興シ事業ノ進展ヲ來スヘキ趨勢ニ在リ

將來ニ對スル指導奬勵方針 以上述ヘタル現況及趨勢ヨリ見ルニ本縣ハ適當ナル水源ヲ求メテ開墾地目變換竝埋立干拓事業ノ奬勵水害ノ豫防又ハ旱害ノ設備計畫ヲ樹立スルヲ以テ必須ノ急務トスルカ故ニ從來ノ奬勵施設タル調査設計工事ノ指導監督工事費ノ補助及開墾地移住家屋建築費ノ補助等既定方針ニ基キ縣財政ノ許ス限リ一層之カ内容ヲ充實スルハ勿論本縣最近ノ實狀ニ照シ特ニ左記事項ニ付テハ之カ指導奬勵ノ徹底ヲ期セムトス

一、陸稻栽培ニ適宜給水スルコト及水稻乾田式栽培ヲ奬勵シ用水節約ヲ計リ稻作面積ヲ擴張スルコト

二、整理地ノ共同耕作土地ノ利用經營ニ就キ各關係方面ト連絡ヲ採リ以テ指導奬勵ニ努ムルコト

二、濕田改良區劃整理ニ付特ニ力ヲ盡シ之カ奬勵ヲ爲スコト

四、耕地協會ヲ助成活動セシメテ殘務整理ノ進捗ヲ計ルコト

五、優良組合及事業功勞者ヲ針地協會ヲシテ表彰セシメ以テ事業奬勵ニ勉ムルコト

長崎縣

現況竝趨勢 本縣耕地擴張事業ハ逐年增加ノ趨勢ヲ示シ本年三月末現在ニ於ケル開墾助成事業地ハ七十九箇所其ノ面積開田八百七十九町餘歩開畑百七十三町歩合計一千五十三町餘ニシテ前年ニ比シ十一箇所約百八十六町歩ノ增加ヲ見タリ元來本縣耕地整理事業ノ主要工事トシテハ溜池新設又ハ增築ヲ伴フ畑地ノ開田其ノ大部分ヲ占ム然シテ昨年ノ如キハ降雨激甚ニシテ河川汎濫ニヨル水害ヲ蒙リタルモノ不尠之カ復舊ヲ要スルモノ稍多キヲ見タリ斯ノ如クニシテ比較的多額ノ費用ヲ要スルモ本縣田地ノ總面積ハ三萬三千九百町歩ニシテ之ヲ農家戸數十萬八千五百戸ニ對比スレハ一戸平均僅ニ三反餘歩ニ過キス斯クテハ年々移入セラルルモノ二十萬石ノ多額ニ達シ耕地擴張ノ急務ナルヲ認メラル又開墾助成法ニ依ラサル五町歩以下ノ開田及開畑事業尠シトセス又縣下畑ノ總面積ハ五萬六千七百餘歩ナリ一戸當平均五反歩ニシテ田地ニ比スレハ稍緩和サレタリト雖最近果樹蔬菜園藝ノ發展陸稻ノ栽培稍多キヲ加ヘ畑地ノ利用向上ト共ニ開畑相當ニ行ハルルニ至レリ次ニ改良方面ノ事業トシテハ從來暗渠排水整理最多ナリシモ最近溜池築造竝機械揚水（主トシテ地下水利用）ニヨル用水ノ補給竝開田事業多キヲ加フルニ至レリ

今本年三月末現在ニ於ケル耕地事業ノ地區及面積ヲ示セハ次ノ如シ

認可		工事中		工事完了	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
三七四	七、二五六、六八〇六町	一八五	四、八三六、四八一四町	一六一	二、〇九五、二〇〇〇町

換地處分認可		事業終了		附記
地區數	面積	地區數	面積	
一三四	一、二五二、七一二一町	六七	七二〇、一八二九町	

即チ右表中ニハ昭和二年九月風水害地區二十二面積二千百餘町歩ヲ含ミ之カ復舊完成ハ明五年三月ナリ

認可地區數ニ對シ工事完了以後手續尙進捗充分ナラサルモ先年十月縣耕地協會ヲ創立シタルヲ以テ之カ指導ヲ爲シ直接協會ノ事業トシテ促進ノ緒ニアリ

要スルニ本縣下耕地ノ擴張改良事業ハ各地區ノ面積大ナラスト雖如上ノ各種事業相銜テ起リ縣現在ノ設備ニテハ當業者ノ希望ヲ充分ナラシムル能ハサルノ現狀ニアリ幸ヒ先年來事業資金ハ適當ニ割當ラレタルヲ以テ事業ノ財政狀態ハ相當緩和サレタリト雖動モスレハ貸出遲延ノ爲尙遺憾ノ點多シ

尙將來耕地ノ擴張及改良ヲ要スヘキ見込面積ハ二萬一千八百三十五町歩ニシテ此ノ中確實ニシテ緊要ナルモノ尠カラス本年度ヨリ新ニ制定シタル農業水利施設ノ運用如何ト相俟テ更ニ事業ノ進展ヲ觀得ヘキ趨勢ナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　奬勵方針ハ前年ト大體ニ於テ大差ナキモ本縣ハ前述ノ如ク地理的ニ自然用水ニ惠マレサル結果溜池ノ築造ヲ以テ唯一ノ水源トセルモ地勢上地下水ニ望ヲ致シ本年新ニ農業水利開發ノ目的ヲ以テ奬勵規程ヲ設ケ此方面ニ方ヲ致サントス尙離島開發ノ爲對島支廳ニ專任技術者ヲ增置シ同島及壹岐管內ノ指導奬勵ニ當ラシム

而シテ溜池竝地下水利用施設ノ如キ之等特種ノ工事ニ對シテハ特ニ設計監督ヲ周到ニシ工事ノ完成ヲ期セントス又事務方面ニ在リテ耕地協會ト協力シ事務ノ簡捗ヲ計リ殊ニ從來停頓セル工事完了後ノ事務ニ付テハ特ニ協會ヲ督勵シ促進セシメントス

尙造成セル耕地ノ利用經營ニ付テハ各種農事奬勵機關ト連絡ヲ取リ且移住家屋建築奬勵ヲ爲シ一層ノ徹底ヲ期セントス

熊本縣

現況竝趨勢　本縣民有地ノ總面積ハ最近ノ統計ニ依レハ三十二萬四百二十六町六反歩ニシテ其ノ利用ノ狀決左ノ如シ

地目	面積	割合
田	七五、六〇六・九町	〇・二三六
畑	一六〇、三一六・八	〇・三三二
山林	七〇、五八〇・三	〇・二二〇
原野	五七、五三四・二	〇・一八〇
宅地其他	一〇、三八八・四	〇・〇三二
合計	三二〇、四二六・六	一・〇〇〇

右表ニ示スカ如ク畑ノ三割三分二厘ニ比シ田ハ二割三分六厘ニシテ農業經營上不利ノ狀態ニアリ而シテ農家總戶數ハ二十二萬千八百八十六戶ニシテ一戶當平均耕作反別ハ田三反四畝畑四反八畝合計八反二畝ニシテ全國平均田五反六畝畑五反三畝合計一町九畝ニ比シ平均二反七畝減少セリ而シテ一面本縣下耕地ノ改廢狀況ヲ調査スルニ大正七年ヨリ昭和元年ニ至ル九箇年ノ平均ニ依レハ一箇年ニ耕地

ノ擴張セラルルモノ二百二十三町九反潰廢セラルモノ二百九町一反步ニシテ差引一箇年十四町八反步ヲ增加スルニ過キス而シテ米ノ反當收量ハ大正六年ヨリ昭和元年ニ至ル十箇年平均ニ依レハ一石九斗一升六合ニシテ尙生產量增加ノ餘地多々アルヲ認メラル本縣產米ノ增收ヲ計リ以テ食糧人口問題ノ一助タラシムルニ(一)農事改良(二)現耕地改良(三)耕地擴張ノ三者ニ俟タサルヘカラス農事ノ改良即チ肥培ノ方法耕種法ノ改善等一日モ之ヲ忽ニスヘカラサルハ勿論ナレトモ既耕地ノ改良竝耕地ノ擴張ヲ計ルハ最モ有効ナル方策ナリトス

本縣下耕地整理施行見込地ハ五萬町步ヲ算シ尙開墾見込地三萬町步ヲ有ス近時農業勞力ノ節約竝土地利用增進ノ目的ヲ以テ耕地整理事業ハ年ヲ逐フテ增加シ昭和三年現在ニ於テ其ノ地區數五百〇三、面積一萬八千九百二十一町步其ノ豫算總額千八百十二萬餘圓ヲ計上セリ内工事完了セルモノ三百五十五地區一萬四百五十二町換地處分濟ノモノ三百四十九地區一萬三百四十三町事業終了セルモノ百六十四地區面積三千四百八十町步トス

開墾事業ハ開墾助成法發布以來頓ニ事業發展シ施行面積三千六百町步ニ達セリ然リト雖モ本縣下開墾豫定地ハ前述セシカ如ク三萬町步ヲ有スルカ故ニ事業ノ前途尙洋々タルモノアリ

本縣下ニ於ケル開墾及耕地改良事業ノ主要ナル障害ト目スヘキハ水利關係極メテ復雜ナルニ歸スヘク水利權者ノ多キコト他府縣ニ比類ナキニヨリテ之ヲ見ルモ其ノ一般ヲ察知スヘク水利問題ノ紛爭年ト共ニ甚タシク一地區ノ事業ヲ計畫セムトスルヤ四隣雷同何等理由ナクシテ之カ阻止ニ狂奔スル比々皆然リ之本縣下ニ於ケル耕地整理事業ニ關スル最大ノ障害ト見ルヘキナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣耕地ノ缺陷ノ最大ナルモノハ用惡水利組織ノ不完全ニ歸スヘク之カ改善ハ即チ耕地改良ノ一半ノ目的ヲ達シ更ニ耕地整理施行ノ機運ヲ釀成スルモノト認ムル所ニシテ以上ノ主旨ニ依リ左記事項ノ施設ヲ最モ緊急事ト思料ス

一、農業水利ノ調査ヲ爲シ改良ノ基礎案ヲ確立スルコト

二、農業水利系統ノ維持管理ニツキ指導助成施設ヲナスコト

三、一般農事及水利事業ニ從事スル技術員ノ農業土木ニ關スル智識ヲ向上セシムル爲適當ナル施設ヲナシ尙農業學校ニ對シ農業土木ヲ主要科目ニ加ヘ實際問題ヲ基礎トシテ教授ヲ爲スコト

四、開墾、耕地整理事業ニ對スル用水使用許可ニツキテハ事實用水既得權者ニ損害ヲ與ヘサル限リ理由ナキ故障ニ拘束セラレス速ニ適當ナル處置ヲナスコト

大分縣

現況　本縣耕地面積ハ九萬七千八百町步ニシテ之カ開發ハ幾多ノ努力ト犧牲費ヲ費シタルニ不拘地形峻險ニシテ進捗ヲ阻害セラルル事尠カラス縣下總面積ニ比シ僅カニ一、五六％ニ過キス一面本縣既成田ノ狀況ヨリ耕作上不尠不便ノ狀況ニアル外山間部排水不良地多ク耕地ノ開發改善ヲ要スルモノ極メテ多シ

而シテ本縣ニ於ケル耕地改良及擴張事業ノ開設セラレタル以來其ノ事業ノ狀況ヲ見ルニ大體ニ於テ順調ナル發達ヲ遂ケタル事ヲ認ムヘキモノアリ

昭和三年十二月末ニ於テ左表ノ如シ

設立認可			工事完了		換地處分濟		事業終了	
地區數	總面積	事業費	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
三〇四	町 一三、二六三・七七〇九	町 三、〇四、九八〇・一九	一八五	町 四、七二八・一一三九	一七六	町 四、三三三・八四三	二九	町 五〇一・五二〇九

内開墾助成地區ノ狀況ヲ見ルニ左表ノ如シ

現在助成金交付中ノモノ		昭和三年四月迄ニ終了スルモノ		目下本省ニ出願中ノモノ		目下縣廳迄出願中ノモノ及近々出願スヘキモノ		總計	
地區數	面積	地區數	面穂	地區數	面穂	地區數	面積	地區數	面積
四三	町 二、二七四・五三九	三七	町 五五七・一五一八	六	町 八六・二〇三	一一	町 五四三・九三三三	九七	町 三、五三一・九四二一

趨勢並將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣ニ於テ開墾事業ハ幾多先人ノ獻身的努力ニ依リ驚クヘキ難事業モ遂ニ其ノ勢成ヲ見重大ナル發達ヲ遂ケタルモノナルカ今尚古來傳統ノ精神ヲ失ハス開墾助成法開設以來急激ニ事業ノ勃興ヲ見各地其ノ企業セラルルモノ多キモ河川ノ水源缺乏ノタメ水源計畫ニ尠カラス困難ヲ覺エツツアリ今後此種ノ事業ノ發達ハ主トシテ溜池ノ築造及古人ノ以テ不可能トシテ殘サレタル地域ヲ豊富ナル資金ト進歩シタル技術ニ依リ開發ヲ期スル外ナシト認メ特ニ此ノ方面ニ努力ヲ進メントスルモノナルカ殊ニ後者ニ達シテハ用排水幹線國營ノ適用ニ期待スル最モ大ナルモノアリ

普通整理事業ニ就テハ從來一部排水地區ヲ除キテハ殆ント閑却セラレタル狀況ナリシカ昨年度ヨリ普通整理工事補助金ノ交付ヲナシ之カ奬勵ニ特ニ留意スル所アリタルニ漸次事業勃興ノ氣運ニ向ヒタリ本年度ニ於テハ更ニ補助金ヲ增額シ既成田ノ改良ニ努力スル所アラントス

本縣ニ於ケル河川ノ水利關係ハ漸ク急迫シ各地點ニ於テ種々ナル紛爭ヲ來スヲ以テ昭和二年度ヨリ豫算ノ新設ヲナシ各水利系統ヲ調査シ其ノ水利權ノ整理調和ヲ圖ルト共ニ新水源ノ捻出ニ資シタルカ今後ハ進ンテ各水利系統ノ内部的調査ヲ爲シ一般的ニ水利改良事業ノ基本ヲ確立シ相當大面積ニ關係アルモノニ就テハ國庫補助ノ本ニ縣營ニ於テ施行シ小面積ノモノニ對シテハ縣財政ノ狀況ヲ見テ相當助成ノ施設ヲナシ逐次改善ノ歩ヲ進メントス

排水問題ハ地形ノ關係上比較的尠キモ山間部ノ排水不良地ニ於テ暗渠排水ヲ必要トスル地區極メテ多キニ拘ラス從來此ノ種ノ改良事業ハ極メテ不振ノ狀況ニアリタルカ今後暗渠排水ニ對シ國庫補助ノ開始ヲ見タルハ此種事業ニ重大ナル刺戟ヲ與ヘ相當ナル成績ヲ擧ケ得ル見込ナリ

宮崎縣

現況並趨勢　本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ明治三十五年耕地整理ノ始メテ行ハレタル以來本年四月末日迄ノ實施狀勢ハ左ノ如キモノアリ

事業進行ノ狀況	地區數	整理前面積	整理後面積	整理費用
組合設立施行認可	五〇〇	町 一八、九五二	町 二〇、六二五	円 六、三八五、七六二
工事完了	三一五	一〇、四七二	一一、九九八	一、九七三、六九一
換地處分濟	二七二	九、〇二六	九、六七一	一、〇二八、八九九
事業完了	一一二	三、二二〇	三、五七六	六一三、六三九

又大正八年以降本年四月末日迄開墾助成ヲ出願シ指令ヲ得タルモノ左ノ如シ

種目	地區數	面積	事業費豫算總額	助成金交付見込額	助成金交付濟金額
開田	八〇	町 二、七六二	円 四、三二〇、七四七	円 一、五七九、〇〇五	円 六五八、六〇七
開畑	一六	五一八	三〇〇、三七二	八五、二八七	一六、〇五二
荒地復舊	二一	五三三	六四七、八九〇	一八七、九八二	一三一、二七六
灌漑工事	一〇	—	三〇〇、六三八	六七、六六八	六〇、五一二
計	一二七	三、八一四	五、五六九、六四九	一、九一九、九四三	八六六、四四九

助成出願中ニシテ未タ指令ヲ得サルモノ左ノ如シ

種目	地區數	面積	事業費總豫算額	助成金交付見込額
開田	九	町 二〇五	円 四五七、六二一	円 三〇四、二二三
開畑	四	一二六	四五、五二三	一四、六二三
荒地復舊	四	五二	八五、七〇四	三一、二八五
計	一七	三八四	五八八、八四八	三五〇、一三二

本縣ニ於テハ當初專ラ耕地ノ改良ニ屬スルモノ多カリシカ開墾助成法ノ實施以來耕地ノ擴張ヲ行フモノ頗ル多ク最近開畑ノ著シク增加セルヲ見タリ尙大五十五年及昭和二年ノ大旱魃ニヨリ灌漑設備ノ改善ヲ目的トスルモノ大ニ增加シ井堰ノ改造、新設竝揚水機ノ設置等各所ニ行ハレ最近十年來每年ノ整理施行面積三四百町歩ナリシモノ昭和二年ニ於テハ八百九十四町歩、昭和三年一千八百四十三町歩ニ達シ本年ニ入リ認可セシモノ既ニ二百十七町歩ニ及モ明治末期ヨリ大正初期ニ於ケル盛況ヲ再現スルニ至レリ

縣營開田事業中二原及高木原ノ兩地區ハ昭和三年度ニ於テ用水路ヲ各耕地整理組合ニ引繼キ全ク所期ノ目的ヲ達シテ完結シ薩摩原ノ一地區ハ豫定ノ成績ヲ擧得サルヲ以テ三分ノ一ハ田トシ他ハ畑トシテ之カ利用增進ノ途ヲ講シツツアリ

畑地開墾ニツキ「トラクトル」ノ使用ハ遂年其ノ功程ヲ高メ使用希望者相亞キ一臺ノ機械ニテハ到底其ノ需メニ應シ難キ狀況ニアルヲ以テ更ニ一臺ノ貸與ヲ申請シ尙一臺ノ購入ヲ計畫シツツアリ

開墾地移住者ハ益々其ノ數ヲ加ヘ特ニ縣外ヨリノ照會視察者等常ニ絕ヘス大正九年度ヨリ昭和二年

度迄ニ家屋建築奬勵金ヲ交付セルモノ四百二十九戸ニ達シ外來者共ノ三分ノ二ヲ占メ成績優良ナリ昭和二、三兩年度ニ於ケル奬勵金交付申請數ハ毎年二百戸内外ニシテ交付ヲ受ケタルモノハ百戸宛ニ過キス共同建造物ノ奬勵金ヲ交付セラレタルモノ既ニ十三ヲ算シ公會堂、共同作業場等益々利用セラレテ其ノ成績ヲ擧ケ本年度ニ於テハ簡易上水道、舊教禮拜堂等ノ建設ヲ見ル豫定ナリ

昭和二、三年度ニ於ケル地方貸付資金ノ增額供給ハ新事業ニ對シテハ勿論或ハ旱水害地ノ復興ニ或ハ經營困難ニ陷レル組合ノ救濟及ヒ著シク事業ノ進展ヲ促セリ

將來ニ對スル指導奬勵ノ方針　指導奬勵ノ方針ハ從來ト大差ナク大要左ノ方法ヲ採ラントス

一、調査、設計及工事監督ニ對シテハ從來ヨリモ一層周到ナル力ヲ用ヒ計畫ニ違算ナキヲ期シ工事ノ萬全ヲ圖ラントス

二、組合事務ノ監督ニ關シテハ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ諸般手續ノ指導ハ耕地協會ト聯絡ヲ取リ懇切且迅速ニ處理セントス

三、耕地ノ改良ニ就テハ特ニ灌漑排水設備ノ改善ニ重キヲ置キ尙農業道路ノ完成ニツキ力ヲ用ヒントス

四、耕地ノ擴張ニ就テハ開田開畑竝ヒ奬メ農業經營ノ安定ヲ圖ラントス

五、開墾其ノ他ノ工事ニ對スル機械器具ノ利用ニ就テハ益々力ヲ用ヒ漸次縣ニ之ヲ備ヘテ必要ニ應シ農業者ニ貸與使用セシメ之ヲ助成セントス

六、整理施行地就中開墾地ノ利用經營ニ就テハ縣農務課及農事試驗場等ト連絡ヲ取リ經營指導地、試作地、委託試驗地等ヲ設ケ尙移住部落ニ對シテハ移住者ノ組合ヲ設ケシメ農業經營ノ改善ヲ圖リ新農村ノ建設ニ努メントス

七、開墾地移住者ノ招致ハ縣ノ内外ヲ問ハス住宅及共同建造物ニ對スル奬勵金ノ交付ヲ一層增加スルト共ニ移住部落ノ健全ナル發達ニ力ヲ注キ基本金ノ造成ニ努メシメ尙特ニ低利資金ヲ供給シテ自作農創設ノ便ヲ圖ラントス

鹿兒島縣

本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ耕地整理法實施以來四月末迄其ノ認可ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

事業創設以來認可濟	二五、三一二町	地區數	八四三
工事完了	一五、五六五	同	七〇四
換地處分濟	一五、九二一	同	六六八
地價配賦濟	一四、七〇一	同	六二七
登記濟	一四、九八六	同	六三四
事業完了	一〇、〇三一	同	四二二

備考　工事完了面積ヨリ換地處分面積多キハ換地處分ハ確定面積ヲ計記セシニヨル

大正八年開墾助成法發布以來其ノ承認ヲ受ケタルモノ及出願中ノモノ左ノ如シ

認可ヲ受ケタルモノ	三、六八二町	地區數	五一

出願中ノモノ　一二〇　同　八

縣營事業トシ施行中ノモノ左ノ如シ

事業	面積	助成年限
谷山町和田干拓事業	六〇・八町	自大正十二年度 至昭和五年度
米ノ津町埋立事業	三二・四	自大正十二年度 至昭和三年度
東國分村 小新田荒地復舊事業	四九・九	自大正十四年度 至昭和四年度
牛根村二川開墾事業	一一・八	自昭和二年度 至同五年度

今後耕地整理法ニ依リ整理ヲ要スルモノ左ノ如シ

一、古田改良見込地　二〇、七〇一町

内譯

(一)用水不足地　四、六八〇町

(二)平時排水不良地　六、三〇〇

(三)一時排水不良地　二、八〇〇

(四)普通整理地　四、一三一

(五)土管排水ニ仕換　二、七九〇

二、開墾及地目變換見込地　二〇、五〇四

内譯

(一)埋立干拓　一、二〇〇町

(二)開墾地目變換　一九、三〇四

(三)畑地整理見込地　三九、九八七

(四)用排水幹線見込地　四、六〇〇　伊佐郡湯之尾堰外五箇所

從來ハ主トシテ暗渠排水ヲ行フ地區多カリシカ次テ隧道導水工事ニ依ル開田事業行ハレ又近年旱害ニ加フルニ水害ヲ受ケ溜池ノ復舊增設揚水機ノ設置災害救濟事業等續出セルヲ以テ農務係ト共ニ之カ調査ヲ續行セシメ普通補助以外特別ニ夫々災害補助ヲナシ尙水利組合給水組合等ノ活動ヲ促スハ勿論昨年度ヨリハ特ニ水利調査費ヲ設ケ縣下河川中急施ヲ要スルモノヨリ選定シ各水系毎ニ調査項目ニヨリ繼續調査ニ着手セリ

沖繩縣

現況竝趨勢

一、耕地擴張事業

本縣主要農作物ハ甘蔗甘藷ナルカ故ニ耕地ハ畑トシテ利用スルモノ多ク從來小區域ノ開墾ハ農閑期ノ餘力相應ニ施行シツツアルヲ以テ今ヤ殆ント餘地ヲ存セサルニ至リシモ本島山間部及海岸各離島等ニ大部分ヲ占ムル園地ノ開墾ニ就テハ逐年事業勃興シ大正八年開墾助成法實施以來昭和四年三月末日迄ノ出願狀況左ノ如シ

開墾助成事業出願狀況調

年度別	地區數	施行面積 開田	開畑	計
自大正八年度至昭和元年度	一九	七二・四町	二、一九九・一町	二、二七一・五町
昭和二年度	三	—	四一・六	四一・六
昭和三年度	一一	二二・九	二二一・四	二四四・三
計	三三	九五・三	二、四六二・一	二、五五七・四

本縣ニ於ケル開墾適地ハ大正七年末調査ニ依リ現今農營上直ニ有利ト認ムヘキ面積二萬九千三百五十餘町歩ニシテ之カ利用別見込面積ハ左表ニ掲クル如ク尙將來開墾シ得ヘキ見込地九千百五十町歩餘アリ

耕地擴張見込地面積調　（大正七年末調査）

所有別	種別	擴張見込面積 田トナルモノ	町トナルモノ	計	附記
國有林野	開墾開拓	七七九町	七、一九二町	七、九七一町	原地目ハ山林原野池沼トス以下同斷
	新開	—	—	—	原地目ハ海面トス以下同斷
	計	七七九	七、一九二	七、九七一	
官有地、公有地、私有地	開墾開拓	六、〇六一	一五、一五〇	二一、二一一	官有地（田 三、三五八町 畑 四、一九九町）
	新開	一七〇	—	一七〇	公有地（田 二、五四二町 畑 一〇、四九六町）
	計	六、二三一	一五、一五〇	二一、三八一	私有地（田 三三一町 畑 四五五町）
合計	開墾開拓	六、八四〇	二二、三四二	二九、一八二	國土面積ノ一割二分六厘ニ相當ス
	新開	一七〇	—	一九〇	
	計	七、〇一〇	二二、三四二	二九、三五二	

備考　官有地公有地私有地ニシテ五町歩以上ノ集團開墾見込地百十一箇所面積二萬千三百八十一町歩ニシテ五百町歩以上ノ集團地七箇所面積一萬千百十八町歩ナリ

即チ之カ開拓ノ曉ハ昭和元年末現在耕地面積六萬三千六百五十餘町歩ニ對比シ四割六分強ノ耕地ヲ擴張シ得ヘシ然ルニ王藩政時代ニ於テハ農民一般ニ土地ノ私有ヲ許サレサリシ制度ノ缺陷ト耕作ノ自由ヲ拘束セラレタル結果掠奪農業ニ傾キ自給自足ニ安ンシタルヲ以テ開墾ノ必要ニ逼マラレサリシハ斯業ノ進捗ヲ阻害シタル主因ニシテ地租條例實施後ハ土地所有權ノ獲得ニ依リ土地愛護ノ念ヲ惹起シ爾來時代ノ推移ニ伴ヒ文物進ミ交通開ケ人口増殖ニシ耕種方法亦集約ニ趨キ開墾ヲ行フ者次第ニ多キヲ加ヘタリ

本縣耕地ノ擴張事業ニシテ最モ有望ト認ムヘキハ先島群島ニ大部分ヲ占ムル林野ノ開墾ト沖繩本島ニ介在セル公有水面ノ埋立干拓ニシテ就中石垣島西表島ハ廣袤四萬八千五百餘町歩ナルニ國有及公有ノ林野池沼ニシテ河川沿岸及海岸ニ存在スル傾斜二十度以下ノ開墾適地ハ大正三年基礎調査施行ノ結果一萬六千有餘町歩ノ多キヲ算シ其ノ利用別面積ハ左ノ如シ

	總面積	地目	國有地 田トナルモノ	國有地 畑トナルモノ	公有地 田トナルモノ	公有地 畑トナルモノ	合計
石垣島	二六、〇四九町	山林原野	—町	—町	八〇町	五、八七四町	五、九五四町
西表島	二二、四五七	山林、原野、池沼	七二八	七、八五一	二	一、八五四	一〇、四三五
		計	七二八	七、八五一	八二	七、七二八	一六、三八九

備考　百町歩以上ノ集團地十八箇所此面積一萬二千八百餘町歩ナリ

然シテ以上ノ可耕地ハ地勢概ネ緩斜シタル粗生林又ハ原野ニシテ地味豐饒ナリト雖一部小規模ノ開墾ヲ企業スル外何等施業計畫ヲ見ス往時風土病ノ爲移住困難ノ地アリシト雖モ縣衛生事業トシテ防遏成績頓ニ擧リ今ヤ撲滅ノ日遠カラサルヲ信ス同地方ハ近年事業著シク進展シ公有地ニ對シテハ永小作權設定ノ途ヲ開クト共ニ賃貸料ノ低下ヲ計リ國有林野ニ關シテハ其ノ筋ニ於テ借地ヲ許可スル等漸ク本地方開發ノ曙光ヲ見ルニ至リシモ本郡ハ其ノ面積四一方里三、人口三萬四千餘人ニシテ一方里人口僅ニ八百三十人ニ過キス是キ本縣一方里當平均人口三千六百二十人ニ比スレハ約二割三分ニ相當シ人口稀薄ナルヲ以テ大正十年度以降開墾移住奬勵費ヲ設置シテ移殖民ニ據リ開墾企業ヲ容易ナラシメムトシ昭和三年度迄ニ九十五戸ヲ建築シタリ沖繩本島ノ沿海ハ入江ニ富ミ新紀珊瑚礁沖積層等ヨリ成リ海底ハ盛ンニ隆起シ加フルニ陸地ハ地勢急峻ニシテ裸地多キヲ以テ豪雨ノ際流去スル土砂ハ悉ク海岸ニ沈積スル爲埋立干拓ノ適地頗ル多ク近時規模稍々大ナル事業ヲ企畫シ之カ實施ニ腐心スル者アルニ至リシハ前述ノ如キ人口過剩ニシテ食糧缺乏ヲ招來シツツアル現狀ニ鑑ミ有利ナルハ言ヲ俟タサル所ニシテ特ニ造田計畫ハ毎年縣產五萬石ヲ出テス輸移入超過二十三萬石此價額五百十八萬圓ヲ算スル悲況ニ照シ食糧需給ノ緩和ニ貢獻スル所多カラムトスル趨勢ナリ今本年度ノ出願見込地ヲ左ニ揭クヘシ

開墾助成事業出願豫定地調

出願豫定地	地區數	施行面積 開田	施行面積 開畑	施行面積 計	移住家屋建築豫定戸數
	八	五五八・五町	三九九・五町	九五八・〇町	二五戸

二、耕地改良事業

既耕地ノ改良事業ハ大正五年初メテ整理工事ニ着手以來其ノ施行地區ハ水利交通及耕作等宜シキヲ得テ顯著ナル成績ヲ擧ケ本事業ノ有利ナルハ年ヲ逐フテ認識セラルルニ至レリ縣ハ曩ニ耕地整理奬勵規程及同補助規程ヲ公布シ事業勸奬ニ努メタルニ其ノ間歲ニ隆退アリト雖年ト倶ニ進ミ昭和三年末ノ成績左ノ如シ

耕地整理事業狀況調　（昭和三年末調査）

年度別	認可濟 地區數	認可濟 面積	認可濟 整理費	工事完了 地區數	工事完了 面積	換地處分濟 地區數	換地處分濟 面積
自大正五年 至昭和元年末	四二	一、四四五・〇町	六八〇、三九五円	一八	三六八・〇町	一一	三〇二・〇町

昭和二年中	七	七六・三	四七、八七〇	―	―	―	―
昭和三年中	八	一、一〇〇・八	三三一、三一四	―	―	―	―
計	五六	二、六二二・一	一、〇五九、五七九	一八	三六八・〇	一一	三〇二・〇

縣内耕地面積ハ昭和元年末調査ニ依レハ六萬三千六百餘町歩ニシテ國土面積ノ二割七分强ニシテ其ノ内容左ノ如シ

田				畑	計
一毛作田	二毛作田	休閑田	計		
五、一六七・六町	二、一三九、八町	四三三・六町	七、七四一・〇町	五五、九一四・六町	六三、六五五・六町

備考　農家戸數八五、八八一戸ニシテ農家一戸當耕作面積ハ田九畝畑六反五畝歩計七反四畝歩ナリ

本縣ハ大小六十有餘ノ島嶼ヨリ成リ高岳峻嶺ノ聳ユルモノナク長河大川ナキヲ以テ水利ノ便ヲ缺ケル地方多ク然シテ前項記載ノ土地制度ノ缺陷ト氣候風土乃至地理的關係ニ因リ耕地ハ年々農民ノ占有スル掠奪農業ニ依リテ地力損耗シ加フルニ歲ト倶ニ愛林思想廢頽シ水源涵養ヲ閑却セラレタル結果往年山河治マラス盛夏ノ候五旬ニ亘リ旱天續續スルコト稀ナラサルヲ以テ累年旱魃ニ基因スル各種農産物ノ被害甚大ニシテ農民生活ノ安定ヲ失シタルハ既耕地ノ整理改善事業ノ進捗ヲ阻害シタル素因ナラサルヘカラス

由來本縣ハ海内屈指ノ多雨地ニシテ七月乃至十月ヲ除キ降雨ノ分布佳良ナルモ水田ハ丘陵ノ間又ハ海岸ニ近ク介在シ確實ナル水源ヲ有セサルモノ多ク土質概ネ粘重ニシテ地下水位高キカ故ニ水利狀態不良ニシテ用水不足ナルモノ三千二百七十九町歩平時排水不良ナルモノ千百町歩ヲ算シ田面積ノ五割七分弱ハ利用全カラサル現況ニ在リ

全耕地ノ約八割八分ヲ占ムル畑地ハ主要作物タル甘蔗甘藷ノ栽培ニ適應シ土壤粘重ニシテ相當保水力アリト雖表土淺ク下層ハ何レモ礫土又ハ珊瑚礁ニシテ沿岸低夷ノ地帶ハ沖積層新紀珊瑚礁等ノ乾燥地ナルヲ以テ旬日ノ晴天ニモ忽チ旱害ヲ蒙ルコト累年ノ災厄ニシテ在圃作物ハ固ヨリ飲用雜用水ノ涸渴ニ依ル被害ノ程度深刻ニシテ縣民經濟生活ニ一大脅威ト益々農村ノ疲弊ヲ招クニ臻レリ思フニ農業ノ衰退ハ縣政ニ及ホス影響甚大ニシテ之ヲ諸種ノ點ヨリ觀察スルニ一日ノ偸安ハ百年ノ計ヲ誤リ遂ニ收拾シ能ハサルヲ惧ルサレハ現下ノ狀態ニ應シ旱害耕地ノ匡救ハ灌漑施設ニ據リテ食糧充實ト產糖增殖ニ善處スルノ對策ヲ確立スルハ焦眉ノ要務ナリト雖モ水源ハ主トシテ溜池又ハ湧水利用ノ方法ニ據ルヘキモノ多キヲ以テ之カ施行ニハ多額ノ費用ヲ要シ目下農村經濟ハ困憊其ノ極ニ達シ自力ニ依ル旱害匡救ハ負擔過重ニシテ到底不可能ナルニ依リ昭和三年度ヨリ特ニ糖業改良ノ目的ヲ以テ灌漑設備奬勵費トシテ多額ノ國庫補助金ヲ交付セラルルニ至リ水源工事費竝其ノ附帶工事費ト用地買收費ニ對シ全額迄ノ補助金ヲ交付シ灌漑事業ノ助長促進ヲ計ラムトス

本灌漑事業ハ昭和三年度ヨリ昭和七年度迄五箇年間ヲ第一期ト定メ縣下全般ニ亘リ被害地ヲ選定シ三千二百町歩ノ基本調査ヲ行ヒ內千六百町歩ノ灌漑設備ヲ實施セムトスルニ當リ最モ合理的ニシテ經濟的ナラサレハ單獨ニ施行スルモ其ノ效用全カラサル場合多キニ鑑ミ本事業遂行ニハ防風林造成

道路ノ改善及一部土地ノ區劃整理竝土地ノ交換分合ヲ併セ行フニ非レハ豫期ノ目的ヲ貫徹シ能ハサル現狀ナリ本施設ノ公布セラルルヤ續々實改ヲ要望シ目下事業着手中ノモノ二地區アリ灌漑豫定面積五百十二町歩餘ニシテ改良工事中ナルニ拘ラス顯著ナル效果ヲ擧クルヲ得タリ尙近々測量設計ヲ終了シ組合設立準備中ノモノ七地區整理施行面積千二百三十八町餘歩ニシテ毎年ノ灌漑豫定面積二百四十六町歩ヲ算スル盛況ナリ

將來ニ對スル指導奬勵方針　本縣耕地ノ擴張及改良事業ハ近年著シク隆盛ニ赴キタルモ漸ク其ノ緒ニ就キタルニ過キス本縣ヲシテ疲弊困憊ノ窮地ヲ脫セムカ爲農業ノ振興ヲ計リテ更生セシムルノ途多々アリト雖農業ノ基本的施設タルヘキ耕地擴張ト既耕地ノ整理改善ヲ行ヒ耕地利用ノ程度ヲ更正シ農民生活ノ安定ヲ圖ルハ喫緊ノ要務ニシテ今ヤ本縣ハ產業各般ノ施設宜シキヲ得テ救濟ノ實績ヲ擧ケ新興沖繩ヲ建設セムトスル黎明期ニ際シ斯業ニ對シテモ一段ノ勸奬ニ努メスムハ縣勢ノ發揚ヲ期シ難キニ顧ミ將來ニ對スル指導獎勵ニハ從來執リツツアル方針ヲ踏襲スヘキハ勿論進ムテ事業ノ促進ヲ企圖セムカ爲左ノ方針ニ據ラムトス

一、耕地擴張事業ニ關シテハ集團未墾地ノ基本調査ヲ速成シ其ノ計畫ヲ公表スルト共ニ國有公有ニ屬スル開墾適地ハ貸付又ハ拂下手續ヲ可能ナラシメ開墾地經營ニ必要ナル移殖民ノ誘致斡旋ニ努メ事業資金ノ供給ト縣補助金增額ヲ計リ事業遂行上蹉跌ナカラシメムトス

二、耕地改良事業ニ關シテハ灌漑排水施設ノ適否及之ニ伴フ耕地ノ整理改善ノ要否地方經濟狀況地方民ノ要望ヲ精査考究シ事業ノ有利且成工ノ見込的確ニシテ他ノ模範トナルヘキ地方ヨリ縣ニ於テ調査設計工事監督及事務指導ヲ爲シ奬勵實施セムトス

工事ハ總テ農閑期ヲ利用シ地方經濟狀態ニ依リテ夫役現品ノ賦課ヲ定メ而シテ夫役現品ニ相當スル補助金ハ之ヲ積立テ補助金ヲ受ケ得サル事業費ニ充當セシムル方針ヲ以テ可成事業資金ノ借入ヲ節約シ以上ノ財務計確ニ依ルモ資金借入ヲ必要トスルモノニ對シテハ低利資金ヲ融通シ之カ償却ハ工事施行ニ依リテ得ヘキ利益金ヲ年賦償還金ニ充當セシメ以テ將來ノ改害防備ヲ計ルト共ニ耕種栽培法ノ改良指導ト相俟テ農業上ノ利用增進ニ依リ救濟セムトス

地方提出事項

第一　用排水主要工事國營ニ關スル件

（本件ハ提出地方ノ說明アリタル後本省及地方ヨリ之ニ對スル意見希望等ヲ陳ヘ審議セリ）

千葉縣提出

（一）用排水主要工事國營實施ニ際シテハ關係者ニ過重ナル負擔ヲ命セサルコト

（二）用排水主要工事ヲ極度ニ制限セサルコト

（三）用排水主要工事實施上各種ノ權利ノ補償買收等ハ容易ニ行ハルル樣適當ナル方法ヲ設ケラルヘキコト

（四）用排水主要工事ノ國營費ヲ增額シ既ニ調査セルモノニ對シテハ既定豫算ヲ以テ速カニ一部工事

ヲ開始スルコト

宮崎縣提出

用排水主要工事國營費ヲ増額シ豫定事業ノ進行ヲ促進セラレタキコト

第二 大規模開墾計畫ニ關スル件

茨城縣提出

大規模開墾事業ヲ全國ニ渉リ普遍的ニ施行セラルルヲ適當ト認ムルカ故ニ其ノ國營ノモノニ付テハ實行豫算ヲ増加セラレ亦府縣ニ於テ施行スルモノニ對シテハ其ノ調査費竝事業費ニ對シ五割以上七割ノ國庫補助ヲ交付セラレタキコト

千葉縣提出

(一) 大規模開墾地區ハ速カニ計畫調査ヲ開始スルコト

(二) 大規模開墾計畫調査ニ着手セル場合ハ急速ニ之カ計畫ヲ完了セシムル樣適切ナル方法ヲ講セラルヘキコト

岡山縣提出

大規模開墾計畫ノ調査ハ各府縣ノ豫定地ニ付可及的速ニ實施セラレタキコト

福岡縣提出

(一) 大規模開墾ハ之ヲ國營トスルコト

(二) 團地ノ面積ヲ百町歩以上トスルコト

(三) 大規模開墾計畫ハ各府縣ニ普ク及ホスコト

(四) 府縣カ經營スル場合ハ事業費ノ五割以上ヲ國庫ヨリ補助スルコト

(五) 事業監督ノ爲國費職員ヲ配置スルコト

(六) 大規模開墾事業ニ水利上ノ優先權ヲ與フルコト

第三 開墾助成ニ關スル件

山形縣提出

開墾助成工事期間及助成期間ノ延長 助成事業ノ進捗ニ伴ヒ開墾助成取扱順序ニ定メラレタル工事期間内ニ於テ實施シ得ル見込箇所ヲ得ルニ漸次容易ナラサルノミナラス現ニ助成期間延長ヲ出願スルモノ續出スルノ傾向アリ而シテ工事期間ノ延長ヲ承認セラルルモ助成加算期間ニ對スル恩惠ナキハ遺憾ナリ故ニ此際工事ノ標準年度及助成加算期間ヲ延長セラレ度

茨城縣提出

(一) 開墾助成地區ニシテ事業遂行上困難ニ陷リタル地區ニ對シテハ特別ノ取扱ヲナスコトニ決定ノ趣本年三月十一日附農第三四七七號ヲ以テ農務局長ヨリ御通牒ノ次第モ有之候ニ付爾來本縣ニ於テハ專ラ調査立案中ニ屬スルモ右ハ殘工事ニ對シテノミ援助セラルルカト思惟セラルルモ望ニ工事濟ノモノニシテ其ノ土地ヨリ生スル收益ヲ以テ年賦償還ノ途相立タサル組合ニ對シテ何等カ援助ノ方

法ヲ講セラレタキコト

（二）公有水面埋立干拓及國有林野貸下地又ハ豫約開墾地等他官廳ノ免許、許可、認可ヲ受ケタル土地ヲ開墾施行スル場合ニ於テ其ノ工事施行期間免許期限ト助成工事ト一致セサル場合ト雖モ助成承認ノ詮議相成タキコト

千葉縣提出

大規模耕地整理組合内ニ於ケル五町歩以上ノ部分的開墾地區ニ對シテハ獨立セル事業ト認メ助成スルコト

神奈川縣提出

事業因難ニシテ府縣營ヲ以テ行フヲ適當トスル開墾事業中ノ主要工事ニ對シテハ高率ノ助成金交付ノ途ヲ啓クコト

理由　規模大ニシテ從テ事業費多額ヲ要シ且又技術上至難ナル開墾事業ニ在リテハ之ヲ組合事業トシテ行フ場合經營ノ任ニ當ル有力ナル人物ヲ缺クコト多ク爲ニ困難ニ遭遇スル場合事業ノ頓挫ヲ來ス例乏シカラス又組合ニ於テハ信用乏シキヲ以テ資金融通上遺憾ノ點尠カラス如斯ハ府縣ハ府縣事業トシテ之ヲ行フコト極メテ確實ニシテ安全ナル方法ナリト思料セラルルモ斯ル困難ナルモノニ對シテ現行助成率ハ未タ充分ナラサルノ憾アリ依テ更ニ高率ナル助成ノ途ヲ啓ク必要アリト思考ス

富山縣提出

（一）開墾助成法施行規則改正ノ件

同規則第一條ノ施行面積五町歩以上トアルヲ一町歩以上ニ低下シテ廣ク恩典ニ浴セシメ且ツ取扱順序第十項ノ工事年限ヲ相當延長シテ事業ノ施行ヲ容易ナラシムル樣改正アラムコトヲ望ム

（二）開墾助成事業ニ關シ助成非助成ヲ併セ行フ場合ニ於ケル取扱ニ關スル件

助成區域内ニ於ケル工事費ノ全部ヲ助成ト認メラルル樣改正アラムコトヲ望ム（大正九年四月農第四七〇〇號通牒第一項參照）

長野縣提出

開墾助成地區面積五町歩ヲ三町歩ニ低下セラレタキコト

理由　五町歩ノ開墾ハ小面積ナルカ如キモ本縣ノ如キ山丘重疊ノ地勢ニ在リテハ廣大ナル區域ニ亘ル施行ハ至難ナリ寧ロ五町歩未滿ノ地區ヲ奬勵スルコトハ實際上効果多シ

静岡縣提出

開墾助成法第六條ニ基キ五十町歩未滿ノ開墾ニツイテハ大臣ノ權限ノ一部（助成金交付ノ認定權）ヲ地方長官ニ委任スル樣同法施行規則改正ヲ望ム

鳥取縣提出

開墾助成法ニ依リ助成ヲ受クル事業中不測ノ障碍等止ムヲ得サル事由ニ依リ事業ノ遂行困難ニ陷リタルモノニ對スル特別取扱ハ府縣ニ於テ特別補助ヲ爲スモノニ限ラレ居ルモ縣費補助ナキ場合ト雖特別ノ取扱アリタキコト

島根縣提出

（一）開墾助成法施行規則第一條中「施行面積五町歩以上」トアルヲ「施行面積一町歩以上」ト改正スルコト

（二）開墾助成取扱順序第十號工事期間標準表ニ規定スル工事期間ハ事業ノ施行ニ際シ其ノ期間短キヲ以テ相當延長スルコト

岡山縣提出

開墾助成面積ノ制限ヲ今少シ低下セラレタキコト

廣島縣提出

開墾助成法ニ依リ助成セラルヘキ事業ハ工事後田又ハ畑トナルヘキ面積五町歩以上ノ集團地ニ限定セラレアルモ本縣ノ如ク山岳重疊ノ地勢ニ在リテハ一團地五町歩以上ノ區域ニ亘リテ施行スルコトヲ得ヘキ適地少ナク却テ五町歩未滿ノ地域ニ於ケル開墾事業ヲ奬勵スルニ於テハ其ノ成績ヲ擧クルコトヲ得ヘキ狀態ニアルヲ以テ助成法適用ノ最少面積ヲ一町歩迄低下スル樣助成法ヲ改正セラレムコトヲ望ム

德島縣提出

（一）本縣ハ地形上五町歩以上ノ集團地極メテ少キヲ以テ三町以上ニ改正セラレタシ

（二）國庫ヲ以テ配置セラルル開墾及耕地整理監督技術官ヲ增員セラレタシ

香川縣提出

開墾助成法ニ依ル助成地區ヲ三町歩以上ト改正セラレタシ

理由　本縣ノ如キ小規模ノ開墾ニ對シテハ恩典ニ浴スルモノ少ナキヲ以テ右改正セラレタシ

福岡縣提出

（一）開墾助成面積ヲ三町歩ニ低下スルコト

（二）開墾監督官ヲ地方廳ニ增置シ十町歩未滿ノ助成事務ヲ地方廳ニ委任スルコト

理由　開墾助成地區ノ增加ニ伴ヒ之カ監督査定ノ事務一層輻輳スルニ至レリ此ノ際更ニ企業ヲ促進シ國策ノ健全ナル進展ヲ計ラムトセハ更ニ監督ニ指導ニ一歩ヲ進ムルト同時ニ事務ノ簡捷ヲ計リ能率ノ增進ヲ計ラサルヘカラス故ニ監督指導ニ從事スル監督官ヲ增置スルト共ニ十町歩未滿ノ事業ノ助成事務ハ之ヲ地方廳ニ委任シ事務ノ簡捷ヲ計ラムトス

宮崎縣提出

（一）開墾助成特別取扱ニ關シ縣費補助ト助成金トノ關係ニ付指示相成度コト

（二）助成金請求ニ對シ農林省ニ於テ査定セラレタル場合ハ其ノ事項ヲ示達セラレタキコト若シ全部ニ對シ示達困難ナラハ著シク査定セラレタル事項ニ付示達セラレタキコト

（三）開墾助成特別取扱ニ於テ既ニ助成期間ノ終了セル地區ト雖モ開田工事等ノ殘存セルモノニ對シテハ之カ適用ノ途ヲ開カレタキコト

第四　土地利用計畫ニ關スル件

千葉縣提出

(一) 土地利用計畫ハ一層細密ナル計畫ヲ爲スコト

(二) 土地利用計畫終了セル場合ハ調査主任ヲ派遣シ關係者ニ對シ計畫ノ詳細ヲ説明セラルヘキコト

第五　開墾地移住及經營ニ關スル件

山形縣提出

開墾地移住奬勵金ノ交付ヲ受クル府縣ハ大正十五年五月農第五五四三號開墾地移住奬勵ニ關スル通牒中第四項ニ基キ必要ナル書類ヲ添付シ農林大臣ニ補助金交付ノ申請書ヲ提出シ認可ヲ受ケ更ニ第五項ニ依リ補助金交付ノ指令ノ認可ヲ受クル事ト相成リ居ルモ斯クテハ手續ハ繁雜ニシテ且補助金交付ノ敏速ヲ期シ難キヲ以テ第五項ノ事項ヲ適當ニ改正シ知事ニ於テ決定交付シ得ラルル様改正セラレ度

千葉縣提出

(一) 開墾地移住者保護ノ方法ヲ講スルコト

(二) 開墾地經營設備費ニ對シ補助スルコト

(三) 開墾地移住者ニシテ自作農ノ目的ヲ以テ開墾地ヲ購入セントセル場合ハ自作農創設資金貸付ノ優先權ヲ認メラルル様交渉セラルヘキコト

富山縣提出

開墾地移住家屋奬勵金交付ノ指令ニ關スル件大正十五年五月農第五五四三號通牒第五項ヲ削除セラレ其ノ手續ヲ簡捷ナラシムル様改正アラムコトヲ望ム

長野縣提出

(一) 開墾地經營ニ關スル指導機關ヲ農林省ニ設置セラレ尚之カ經營費ニ對シ補助ノ途ヲ講セラレタキコト

理由　開墾地ニ於ケル適否作物栽培方法其ノ他經營上ニ對スル指導ハ事業成否ニ重大ナル關係アリ然ルニ之カ專門ノ指導機關ナキハ甚タ遺憾ニ付政府ニ於テハ速カニ之カ指導機關ヲ設置スルト共ニ之カ企業者ノ經營ニ要スル經費ニ對シテハ相當ノ補助金ヲ交付スルノ途ヲ講セラレタシ

(二) 中央ニ開墾地移住者紹介機關ヲ設置セラレタキコト

理由　開墾地ノ維持經營上移住者ヲ招致スルコト緊要ナルモ之カ優良ナル移住者ヲ得ルコト極メテ至難ニ付中央ニ之カ移住紹介ノ機關ヲ設ケ各縣ト連絡ヲ執リ紹介セハ相當效果アラム

(三) 開墾地移住事業資金供給ノ途ヲ講セラレタキコト

理由　開墾事業ノ進展ニ伴ヒ益々開墾地ノ移住奬勵ノ必要ヲ認メラレ居ル今日之カ移住家屋及共同建造物ノ建築費ニ對シ低利ナル資金供給ノ途無キハ奬勵上甚タ遺憾ニ付速カニ供給ノ途ヲ講セラレタシ

奈良縣提出

開墾地ニ建築スル共同建造物ハ移住者ノ利用ニ供スルモノニ限ラレ居ルモ斯クテハ其ノ範圍狹クシテ土地利用上遺憾ノ點尠カラス故ニ開墾地ノ利用ヲ目的トスル場合ニ於テハ移住者ノ使用スルト否トニ關セス奬勵金ヲ交付セラレムコトヲ望ム

佐賀縣提出

本省ニ於テ稻作灌漑法ト培養方法トノ試驗ヲセラレムコトヲ望ム

理由　陸稻ニ給水セハ米ノ品質收量共水稻ト大差ナキカ如シ又乾式稻作ニ於テ四日乃至七日ニ一度位ノ浸潤灌漑ヲナスモ在來式瀦溜灌漑ノ稻作ト收量大差ナク用水量ハ三分ノ一或ハ六分ノ一ニテ足リ陸稻及乾田式稻作ハ多年ノ連作ヲ厭ムト言フモ施肥ノ如何ニヨリ連作可ナリト言フ故ニ灌漑ノ方法分量施肥ノ關係等本省ニ於テ試驗セラレ之カ結果ニ付發表セラレタシ

宮崎縣提出

（一）共同建造物ニ對スル政府ノ補助金ヲ增加シ縣費負擔ナキモノニ對シテモ補助アリタキコト

（二）共同建造物ノ敷地其ノ他共同ノ用ニ供スル土地（墓地等ノ如シ）ノ購入費ニ對シテモ補助アリタキコト

（三）開墾移住地ニ於ケル自作農創定ニ付特ニ縣又ハ町村ニ對シ低利資金ヲ供給セラレタキコト

（四）開墾經營ニ關シ國ニ於テ試驗地ヲ設ケラルルカ又ハ縣ニ於テ之ヲ設置スル場合相當國庫補助アリタキコト

第六　用排水幹線改良事業ニ關スル件

山形縣提出

（一）用排水改良事業補助ハ受益面積五百町歩以上ニ限定セラレアルモ地方ノ實情ヨリ見テ容易ニ計畫實施ヲ得サルノ狀態ニアリ故ニ右三百町歩以上ニ改正セラレ度

（二）用排水幹線事業施行部分ニシテ不可抗力ノ爲災害ヲ受ケタル場合ハ其ノ復舊費ニ對シ補助ノ途ヲ講セラレ度

（三）用排水幹線改良事業ニシテ耕地整理組合ニ於テ施行スルモノニシテ支配面積百町歩以上ノ場合府縣カ之ニ補助スル時國庫補助金交付セラレ度

千葉縣提出

（一）用排水幹線改良事業費地元負擔ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ地元町村ノ負擔金ヲ町村債ニ求ムル場合ノ町村債許可權ヲ知事ニ委任セラルル樣勅令第二〇一號市制町村制施行令ノ改正方ヲ其ノ筋ニ交涉セラルヘキコト

（二）實施中ニ於ケル用排水幹線改良業ノ災害復舊工事費ニ對シテハ五割以上ノ補助ノ途ヲ講セラルヘキコト

富山縣提出

（一）用排水幹線改良事業費補助額增加ノ件

本改良事業ハ耕地ノ改良上最モ緊切ナルモノニシテ其ノ計畫ヲナスモノ極メテ多キニ拘ラス國庫補助額ノ關係上採擇洩トナリ事業ノ着手ヲ見ルニ至ラサルモノ少カラサルハ寔ニ遺憾トスル所ナリ政府ニ於カレテハ明年度ヨリ國庫補助ノ豫算額ヲ增加シ廣ク事業ヲ起シ汎ク其ノ恩典ニ浴セシメラレムコトヲ望ム

(二) 用排水幹線改良事業ノ認定ニ關スル件

用排水幹線改良事業ノ認定ニ關シテハ適當ニ其ノ規定ヲ定メラレムコトヲ望ム

長野縣提出

用排水幹線改良事業補助要項第二項ヲ二百町歩ニ低下シ尚同事業ヲ水利組合又ハ耕地整理組合ニ於テ實施セルモノニ對シ同樣ノ國庫補助金交付セラルル樣改メラレタシ

理由　用排水ノ幹線改良事業ノ普及獎勵ヲ期スル爲支配面積ヲ低下スルト共ニ府縣營ニ依ラサル改良事業ニ對シテモ府縣營同樣國庫補助金ノ交付ヲ得ムトスルモノナリ

奈良縣提出

農業用水改良事業ニシテ支配區域廣汎且規模大ナルモノハ其ノ主要工事ヲ之ヲ民間又ハ縣ノ事業トシテ實行スルハ頗ル困難ナリトス故ニ斯ノ如キハ國自ラ用排水ノ主工事ヲ施行シ耕地擴張事業ト相俟テ食糧增殖ノ方策ヲ樹テラレムコトヲ望ム

島根縣提出

用排水改良事業補助要項第二號中「耕地五百町歩以上」トアルヲ「耕地百町歩以上」ト改正スルコト

廣島縣提出

用排水幹線改良事業補助要項ニ受益面積五百町歩以上ト限ラレアルモ本縣ノ狀態ハ五百町歩以上ノ地區ハ其ノ數極メテ少ク二百町歩以上ヲ支配スル用排水幹線ノ改良ヲ要スルモノ相當多數ナルヲ以テ其ノ改良促進ノ爲右面積ヲ二百町歩迄低下セラレムコトヲ望ム

徳島縣提出

用排水改良事業補助要項ニ依ル受益面積五百町歩以上ノ支配面積ヲ二百町歩ニ改正セラレタシ

縣營事業ヲ國營事業ニ改正セラレタシ

香川縣提出

用排水幹線改良事業國庫補助ハ受益面積五百町以上トアルヲ三百町以上ト改正セラレタシ

理由　本事業ハ大府縣ニ利益多ク小縣ニ於テハ利益少キヲ以テ利益均等ヲ缺クモノナルヲ以テ右改正セラレタシ

福岡縣提出

(一) 支配面積ヲ低下スルコト

(二) 公共團體、公共組合等カ行フ事業ニ對シ國庫補助ノ途ヲ開クコト

佐賀縣提出

用排水幹線改良事業國庫補助ハ受益面積ヲ三百町歩以上トシ耕地整理組合水利組合其ノ他ノ團體ニテ施行スル場合モ同樣國庫補助アラムコトヲ望ム

宮崎縣提出

用排水幹線改良事業ノ制限面積ヲ二百町歩以上ニ改メラレタキコト

第七　農業水利改良計畫ニ關スル件

千葉縣提出
農業水利改良計畫調査ノ速進ヲ圖ル爲適切ナル方法ヲ講セラルルコト
廣島縣提出
農業水利改良計畫ニ付テハ府縣ノ申請ニ對シ其ノ調査ヲ主務省ニ於テ施行セラレツツアルモ尚一層地方ノ要望ニ沿フ様其ノ調査施設ヲ充實セラレンコトヲ望ム
徳島縣提出
土地利用調査ト同様ニ調査班ヲ組織シ本事業ヲ進展セシメラレタシ

第八　耕地整理ニ關スル件

茨城縣提出
現行耕地整理法第七十九條ハ組合員ニシテ第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金錢又ハ延滯利息若ハ過怠金ヲ滯納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘキ規定ナルモ之ヲ耕地整理組合ニ於テ之カ處分ヲ爲スコトヲ得ル様改正セラレタキコト
但シ此ノ場合ハ一組合ハ二箇町村ニ渉ル場合トカ或ハ知事ノ認可ヲ得タル場合等ノ條件附ナルモ差支ナキモノトス
栃木縣提出
耕地整理地區內ニ介在スル未處分荒蕪地其ノ他耕地整理法第十一條第一項ニ該當セサル國有地ノ無償交付竝地方長官ニ於テ之カ處分ヲ爲シ得ル様農林省ヨリ大藏省ニ交渉セラレタキコト
理由　斯業奬勵上無償交付セラレ度ク又事務ノ進捗ヲ圖ルヘク之カ處分ヲ地方長官ニ於テ爲シ得ル様セラレ度キニ由ル
千葉縣提出
耕地整理事業ノ餘地尠カラス斯業ノ促進ヲ期スル爲國庫補助ヲ增加スルコト
靜岡縣提出
耕地整理登記令第八條ノ二ノ代位登記ハ共同施行地區ニモ適用シ得ル様法規ノ改正ヲ望ム
理由　共同施行ト雖殆ト耕地整理組合ト其ノ事業ノ性質同一ナレハ登錄稅ノ免除ハ當然ト認ムルニ因ル
奈良縣提出
耕地整理登記令第八ノ二ニ依ル代位登記ハ單ニ耕地整理組合ノミニ限ラレ居ルモ共同施行モ事業ノ性質上組合ト異ナル事ナキヲ以テ之ニ對シテモ代位登記ヲ認メラルル様法規ニ明示セラレムコトヲ望ム
鳥取縣提出
耕地整理及土地改良奬勵規則ニ依ル補助金ハ毎年度豫算ノ範圍內ニ於テ交付セラルル結果其ノ補助金ハ一定セサルノミナラス年々低下スル傾向アリ事業遂行上遺憾トスル處ナリ故ニ右補助金ヲ增額スルト共ニ可成其ノ補助率ヲ定メラレタキコト
島根縣提出

（一）耕地整理及土地改良奬勵費規則ニ基キ道廳府縣ニ對シ交付セラルル補助金ハ過少ナルヲ以テ將來相當增加スルコト

（二）道廳府縣ニ於テ工事用器具機械ヲ設備スル場合其ノ設備費ニ對シ相當補助スルコト

廣島縣提出

（一）耕地整理及土地改良奬勵費規則ニ依ル國庫補助ノ增額ヲ望ム

窮迫セル縣經濟ヲ以テシテハ充分ノ施設ヲ爲スコト能ハス事業奬勵上遺憾ノ點尠カラサルヲ以テ國庫補助ヲ增額セラレ尚一層耕地整理事業ノ進展ヲ期セラレンコトヲ望ム

（二）內訓第十一項ノ各工事費五千圓トアルヲ一萬圓ト改正セラレ事務簡捷ヲ計ラレムコトヲ望ム

德島縣提出

（一）縣費豫算ニ對スル耕地整理及土地改良奬勵費規則ニ依ル補助金ハ少額ニ過キルヲ以テ十分ノ二以上ニ增額セラレンコトヲ望ム

（二）現時耕地改良事業ヲ促進セシムル爲開墾助成法ニ依ル助成金ト同額ノ補助制度ヲ設ケラレタシ

香川縣提出

（一）地方費ノ負擔ヲ輕減セシムル爲地方職員ヲ相當國庫支辨トセラレタシ

（二）耕地整理及土地改良奬勵費規則ニ依リ道廳府縣ニ對シ交付セラルル補助金ハ每年減額交付セラルルノ感アリ將來ハ相當增加補助セラレタシ

第九　暗渠排水奬勵ニ關スル件

千葉縣提出

（一）暗渠排水ハ施行者及反別ニ制限ヲ設ケサルコト

（二）暗渠排水補助費ハ府縣ニ交付シ府縣ニ於テ事業者ニ補助スルコト

（三）府縣ニ晴渠排水奬勵技術員ヲ設置スル場合ハ暗渠排水補助ト同率ノ補助ヲ爲スコト

島根縣提出

暗渠排水工事施行者ニ對シ助成ノ途ヲ講スルコト

長崎縣提出

暗渠排水工事ニ對シ國庫補助ノ途ヲ開カルルニ當リテハ補助金交付ノ取扱事務ヲ地方ニ委任スルコト

理由　暗渠排水工事ノ如キハ極メテ小面積ノモノニモ利益ヲ均霑セシムルト一面事務ノ簡捗ヲ計ル爲ナリ但縣ノ奬勵規程ノ範圍ニハ面積ヲ限定スルコト

第十　事業資金ニ關スル件

山形縣提出

耕地擴張及農業水利改良事業資金ノ調達ハ頗ル困憊ヲ來シ事業促進上遺憾ナリトス故ニ地方ニ於テ要望スル金額ノ低利資金ヲ配給セラルル樣セラレ度

茨城縣提出

低利資金ノ供給ハ近年漸次增加セラレタル如クナルモ未タ其ノ割合少ナク企業者ハ不得止高利ノ資金ヲ借入レ事業費ニ充用セサルヲ得サルノ狀況ニシテ斯業發展上支障アルノミナラス整理後ニ於テハ經費負擔ノ過重ヲ來タスノ虞アルヲ以テ將來ハ新事業所要額ニ對シ全部供給シ得ル樣增額供給セラレタキコト

千葉縣提出

（一）耕地整理組合財政的經營困難ノモノニ對シテハ低利資金ノ借替竝償還年限ノ更新又ハ延長五十年迄認メラルル樣交涉セラレタキコト

（二）開墾助成事業資金ノ据置期間ヲ五箇年ニ延長セラレタキコト

富山縣提出

舊債借替ノ場合償還期限ハ組合地區財務ノ狀況ニ依リ相當延長スルコトヲ得ル樣改メラレ度シ尙資金借入ニ際シテハ組合長以下組合役員ノ個人保證ハ之ヲ省略シ得ル樣改正アラムコトヲ望ム

理由　舊債借替ニ際シテハ償還年限ヲ延長シ得サル取扱ノ規定ナルモ組合地區ノ財務ノ狀況ニヨリ之ヲ相當延長セシメテ負擔ノ緩和ヲ計ルコトハ最モ必要ナリト認メラル

又事業ノ設計豫算適當ニシテ確實ニ成功ノ見込アリ且分賦徵收ノ方法亦正確ニシテ回收ノ見込何等懸念スルヲ要セサルモノニ對シテハ手續ノ簡捷ト圓滑ナル取扱ヲ期スル上ニ於テ組合長以下組合役員ノ個人保證ハ之ヲ省略シテ妨ナキモノト認メタルニ由ル

島根縣提出

（一）事業資金貸付ノ利率ヲ年四分八厘トスルコト

（二）事業資金ハ耕地整理ニ關スル事業費竝其ノ舊債ノ償還資金ニ貸付クル外開墾地移住家屋及共同建造物ノ建築費等ニ對シテモ貸付ノ途ヲ講スルコト

廣島縣提出

耕地整理事業資金ノ利率ヲ自作農獎勵資金又ハ內務省所管ノ低利資金ノ利率ト同樣低下セラレムコトヲ望ム

香川縣提出

從來本資金ヲ本省ヨリ配當ヲ受クルハ大體十一月以降ナルヲ以テ之カ整理施行者ニ現金ノ授受ヲ終ルハ年度末若ハ夫レ以降トナリ事業資金ノ需要期ヲ失シ爲ニ一時高利債ノ借入ヲ爲スノ止ムナキニ至ル狀態ニ付晩クモ六月頃迄ニ配當決定セラレタシ

第十一　農用機械ノ利用奬勵ニ關スル件

茨城縣提出

單ニ農用機械ニ限ラス尙一般土工用特殊機械ニ付テモ同樣農林省ニ於テ相當設備ノ上之ヲ貸付クルノ途ヲ講セラレタキコト

千葉縣提出

(二) 農用機械ヲ增加設備シ之ヲ無償貸付スルコト

(三) 農用機械ノ實演ヲ爲スコト

第十二　其ノ他ノ事項

秋田縣提出

(一) 耕地ノ擴張改良事業ニシテ災害等ノ爲經營困難ニ陷レル地區救濟ノ方法ヲ講セラレタキコト

理由　災害等不測ノ事故ニ遭遇シ負擔荷重ノ爲經營困難ニ陷レル開墾及耕地整理地區ニ對シ相當救濟ノ方法ヲ講スルニアラサレハ斯業ノ奬勵上著シキ支障アルカ如シ故ニ政府ニ於テハ相當豫算ヲ計上シテ之等ノ地區ヲ徹底的ニ救濟スル方法ヲ講スルコト斯業ノ促進上最モ緊急ナルヲ認ム

(二) 耕地ノ擴張事業ノ施行ニ對シ用排水幹線改良事業ト同樣ノ恩典ヲ與フル途ヲ啓カレタメコト

理由　大規模ノ耕地ノ擴張事業ハ國營又ハ縣營ニ俟ツニアラサレハ其ノ遂行困難ナルコト之ヲ事實ニ徵シテ明瞭ナルカ如シ故ニ縣營ヲ適當ナリト認メラルル地區ニ對シ用排水幹線改良事業ト同樣ノ恩典ヲ與ヘラルルコト斯業ノ促進上緊要ナルヲ認ム

(三) 農業水利ノ保護助長ニ關スル特別ノ施設方法ヲ講セラレタキコト

理由　耕地擴張及改良事業ノ消長ハ主トシテ農業水利圓滑ナル調和ヲ得ルト否トニ重大ノ關係アルヤ明ナリ而シテ現今農業水利ハ漸次圓滑ナル調和ヲ缺カムトスル傾向ナルヲ認メラルルヲ以テ之ヲ保護助長シテ當業者ノ不安ヲ除キ併セテ斯業ヲ促進セシムル必要上此際有力ナル調査機關ヲ設置シテ之等ノ調査研究ニ當ラシメ適當ノ施設方法ヲ講スルコト最緊要ナリト認ム

栃木縣提出

開墾助成法ノ恩典ニ浴セサル五町歩未滿ノ耕地擴張（開墾、開田、荒地復舊等）ニ對スル府縣補助金ニ對シ國庫補助金ヲ增額セラレタシ

理由　五町歩未滿ノ耕地擴張事業ニ對シテハ開墾助成法ノ恩典ニ浴セサルヲ以テ本縣ハ補助規程ヲ設ケ豫算ノ範圍內ニ於テ工事費ノ二割以內ノ補助金ヲ交付シツツアリ比年企業ノ增加ヲ見ツツアルモ縣財政ハ補助豫算ノ增額ヲ許サス從テ補助率ハ漸減セラレ實際交付率ハ一割ヲ出セサルノ狀況ニシテ奬勵上支障尠カラサルノミナラス現在「耕地整理及土地改良奬勵費規則」ニ依リ國庫補助金ヲ交付セラレツツアルモ僅少ニシテ以テ斯業ノ發展ヲ期スルニ足ラサルニ由ル

千葉縣提出

(一) 大規模開墾計畫、開墾助成、用排水幹線改良事業ノ事務激甚シタル府縣ニ對シテハ之カ監督費ノ增額配當ヲ望ム

長野縣提出

(二) メートル法實施準備ヲ整ヘ速カニ發表セラレタキコト

開墾監督旅費增額セラレタキコト

理由　開墾監督旅費ハ年々減額配當ノ爲助成事業監督上支障アルニ因リ相當增額セラレタキコト

靜岡縣提出

國有財産法ニ依ル雜種財産ヲ耕地整理法及開墾助成法ニ依リ開拓スル場合ニ於テ埋立ニ等シキ勞費ヲ要スルモノニ在リテハ無償ニテ拂下ヲ成シ得ル樣ニ致シタシ

理由 公有水面埋立法第一條ニ依ル埋立ハ同法施行令第十七條ニ依リ土地ノ農業上ノ利用增進ノ目的ヲ以テ爲ス場合ハ免許料ヲ徴セサルコトヲ規定シアリ彼我對比シ有償ヲ以テスルハ不徹底ト認ムルニ依ル

岡山縣提出

耕地整理法ニ依ラサル土地改良事業ニ對スル府縣補助費ニ對シ國庫補助ノ途ヲ開カレタキコト

昭和四年六月廿六日印刷
昭和四年六月廿九日發行

農林省農務局

東京市京橋區岡崎町二丁目三十番地
印刷者 石井精一郎

東京市京橋區岡崎町二丁目三十番地
印刷所 安信舍印刷所

昭和四年六月廿六日印刷
昭和四年六月廿九日發行

農林省農務局

印刷者　石井精一郎
東京市京橋區湊町二丁目三十番地

印刷所　文信舍印刷所
東京市京橋區湊町二丁目三十番地

終